

まちづくり市民アンケート 報 告 書

平成 19 年（2007 年）10 月
横 須 賀 市

は じ め に

急速に変化する社会経済状況への対応や、長く続いた景気低迷の影響から財政状況が悪化する一方で、少子高齢化の進展、災害や市民生活への不安の増大、環境問題の拡大など、さまざまな課題への対応が求められており、地方自治体をとりまく環境は、年々その厳しさを増しています。

このような状況下においても、地方自治体は、地方分権の推進のもと「自己決定」と「自己責任」に基づき、最小の経費で最大の効果を発揮し、市民本位の行財政運営を行っていく必要があります。また、市民と行政が目的を共有し、ともに手を取り合ってまちづくりを進めることも不可欠です。

今年度も市民ニーズに合った質の高い行政サービスを提供するため、市民 2,000 人を対象に「まちづくり市民アンケート」を実施し、報告書としてまとめました。

本調査にご協力いただきました皆さまに厚くお礼申し上げます。

平成 19 年（2007 年）10 月

横須賀市企画調整部

報 告 書 の 見 方

●報告書の中の集計表は、以下のよう処理している。

- ①回答率（％）は、小数点以下第 2 位を四捨五入したため、合計が 100％とならない場合がある。
- ②「回答数」は有効回答数から「無回答」を差し引いた数である。

目 次

I	調査目的および実施方法等	1
1	調査目的	1
2	調査項目	1
3	調査対象および回収数	1
4	実施方法	1
5	実施時期	2
6	調査の企画・分析	2
II	まちづくり市民アンケートと横須賀市基本計画の関係	3
III	調査結果の概要	7
IV	集計結果	9
1	生活周辺環境の評価／施策への評価	9
2	施策の優先度	41
3	住み良さの総合評価	59
4	現在の定住意向	63
5	横須賀市コールセンターの認知度等	72
6	横須賀市が変わったと感じる点	75
7	基本的な属性	78
	調査票	81

I 調査目的および実施方法等

1 調査目的

- (1) 市民からみた生活環境や市政施策への満足度を把握し、総合計画の進行管理および次期基本計画の策定に活用する。
- (2) 「国際海の手文化都市」の実現に向けて、市政に対する市民ニーズや施策の優先度を把握し、新たな施策の企画・立案に活用する。
- (3) 横須賀市コールセンターの認知度、利用状況、ニーズを把握し、取り組みの改善に活用する。

2 調査項目

問1 生活周辺環境の評価／施策への評価	＜基本的な属性＞
問2 施策の優先度	F 1 性別
問3 住み良さの総合評価	F 2 年齢
問4 現在の定住意向	F 3 居住地域
問5 横須賀市コールセンターの認知度等	F 4 職業
問6 横須賀市が変わったと感じる点	F 5 世帯の状況
	F 6 市内居住年数
	F 7 住居形態

3 調査対象および回収数

調査対象：横須賀市に在住の15歳以上（4月末日現在）の市民2,000人
（住民基本台帳から無作為抽出）

回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
656件	32.8%	656件	32.8%

4 実施方法

郵送による発送・回収

5 実施時期

平成 19 年（2007 年）6 月 8 日 ～ 7 月 3 日

6 調査の企画・分析

横須賀市都市政策研究所

II まちづくり市民アンケートと横須賀市基本計画の関係

市民アンケートの調査項目のうち、問1及び問2のアンケート項目は基本計画の政策（大柱）及び施策（小柱）に対応している。各政策・施策と設問の対応は以下の通りである。

※基本計画書【第5章】「まちづくりの推進姿勢」は便宜上、下記の通り、読み替えている。

□1「市民協働によるまちづくりの推進」・ → 大柱6

□2「効率的な都市経営の推進」・ ・ ・ ・ ・ → 大柱7

□3「地方分権と広域連携の推進」・ ・ ・ ・ ・ → 大柱8

※設問番号1～75のうち、9、23、32、43、66、71、74、75の8つの設問は、基本計画の大柱に対応し、
＜総合評価＞として調査を行っている。

※以下の小柱には設問設定をしていない。

1-4-3「首都圏新空港の可能性に向けた検討」、2-9-1「可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約・統合の要請」、2-9-2「返還施設の早期転用」、5-7-6「基地の整備」、5-7-7「便利な交通システムの整備」

図表（II）1-1 調査項目と基本計画の項目の対応関係

基本計画の項目			対応するアンケート項目							
大柱	中・小柱	政策・施策の名称	設問番号	設問内容	以前と比べて			現在の状況		
					良くなった	変わらない	悪くなった	良い	ふつう	悪い
1 いきいきとした交流が 広がるまち	1-1	全国や世界への情報発信に向けたあらゆるメディアの積極的活用	1	マスコミやインターネットで見かける横須賀に関する情報量の多さ	55.5%	42.7%	1.8%	19.6%	73.6%	6.9%
	2-1	国際交流や他の都市との交流などの活発さ	2	国際交流や他の都市との交流などの活発さ	22.1%	75.7%	2.2%	15.2%	71.5%	13.3%
	3-1	交流の場づくり	3	市外の人を連れて来たいような場所やイベントの多さ	37.3%	57.9%	4.8%	19.9%	62.0%	18.1%
	3-2	交流の機会づくり								
	4-1	海上交通の検討と施設整備	4	フェリーや旅客船の利用のしやすさ	22.2%	75.5%	2.3%	17.4%	71.2%	11.4%
	4-2	新たな物流拠点の形成と港湾機能の高度化	5	港を利用した貨物輸送の活発さ	15.2%	77.4%	7.4%	7.5%	77.9%	14.6%
	5-1	広域幹線道路網の整備促進	6	市内外を結ぶ主要道路の便利さ	47.6%	46.9%	5.5%	27.4%	50.3%	22.4%
	5-2	公共交通の機能強化	7	電車やバスなどの公共交通機関の便利さ	27.1%	65.5%	7.4%	22.7%	53.5%	23.7%
	5-3	総合的な交通政策の推進								
	6-1	双方向の情報通信ネットワークの形成	8	インターネットなどの情報通信サービスの利用のしやすさ	45.2%	52.0%	2.7%	20.5%	70.1%	9.3%
	1	いきいきとした交流が広がるまち	9	いきいきとした交流が広がるまち <総合評価>	32.9%	65.3%	1.8%	14.3%	76.4%	9.3%

基本計画の項目			対応するアンケート項目							
大柱	中・小柱	政策・施策の名称	設問番号	設問内容	以前と比べて			現在の状況		
					良くなった	変わらない	悪くなった	良い	ふつう	悪い
2 海と緑を生かした活気あふれるまち	1－1	生活に潤いをもたらす自然環境の保全	10	きれいな海や山などが残っている様子	12.8%	34.9%	52.3%	19.4%	37.0%	43.6%
	2－1	自然環境の積極的再生・創造	11	自然環境がもたらす生活の潤い	9.8%	52.1%	38.1%	13.6%	51.5%	34.9%
	3－1	自然豊かな公園の整備	12	自然豊かな公園に恵まれている様子	21.3%	57.9%	20.8%	21.9%	50.8%	27.3%
	4－1	自然共生型産業としての農漁業の振興	13	新鮮で安全な地元農水産物の手に入れやすさ	22.6%	62.8%	14.6%	24.1%	57.9%	18.0%
	5－1	高等教育機関、研究開発機関の集積	14	高等教育・研究開発が盛んに行われている様子	26.1%	63.3%	10.6%	17.0%	67.2%	15.8%
	5－2	成長が期待できる産業の誘致	15	新しい産業が盛んになっている様子	6.1%	65.6%	28.2%	3.8%	56.0%	40.2%
	5－3	起業家支援								
	6－1	既存産業の高度化・転換支援	16	中小製造業やサービス業などが活性化した様子	7.0%	47.0%	46.0%	4.2%	43.9%	51.9%
	6－2	異業種交流の促進								
	6－3	流通機能の強化								
	7－1	高齢者、障害者、女性等の就業支援 勤労者福祉の充実	17	高齢者にとっての働きやすさ	5.6%	53.8%	40.6%	2.9%	39.4%	57.7%
			18	障害者にとっての働きやすさ	10.0%	61.6%	28.4%	4.2%	49.7%	46.2%
	7－2		19	女性にとっての働きやすさ	13.3%	66.3%	20.5%	6.0%	59.4%	34.7%
	8－1	中心市街地の都市機能高度化	20	中心市街地（横須賀中央駅・汐入駅）周辺のにぎわい	28.5%	47.1%	24.5%	19.2%	53.2%	27.6%
	8－2	地域拠点の形成	21	その他主要駅（追浜駅・衣笠駅・久里浜駅）周辺のにぎわい	14.8%	53.7%	31.5%	10.6%	51.0%	38.3%
	8－3	商店街の振興	22	商店街での買い物の便利さ	17.6%	50.0%	32.4%	15.0%	46.5%	38.6%
	8－4	市街地高度利用の誘導		設問20、21、22の平均値を活用	-	-	-	-	-	-
	2	海と緑を生かした活気あふれるまち	23	海と緑を生かした活気あふれるまち <総合評価>	11.6%	61.8%	26.6%	6.6%	60.1%	33.3%
3 個性が豊かな人と文化が育つまち	1－1	子どもの個性や創造性を伸ばす保育、教育の充実	24	子どもが健やかに育つための地域の環境	16.3%	54.7%	29.0%	12.3%	55.9%	31.9%
	1－2	子どもが心豊かで健やかに育つ地域環境の形成								
	2－1	多様な学習ニーズに対応できる場と機会の充実	25	生涯を通じて学習するための環境	25.3%	65.4%	9.3%	14.4%	66.7%	18.9%
	2－2	地縁にとらわれない交流と連帯の支援	26	スポーツや文化活動による地域を越えた交流の機会	16.0%	77.0%	7.0%	11.8%	70.1%	18.1%
	3－1	高等教育機関、研究開発機関、企業等の連携による人づくり	27	地元大学や企業の協力によって提供される学習の機会	22.1%	71.5%	6.5%	11.9%	63.0%	25.2%
	4－1	地域文化の掘り起こし、継承、振興	28	歴史にゆかりのある行事などの活発さ	27.5%	67.0%	5.5%	22.3%	63.1%	14.6%
	4－2	歴史的文化遺産の保存・再生・活用	29	歴史的文化財の保存や活用の状況	17.5%	73.3%	9.2%	13.6%	68.2%	18.2%
	5－1	交流による新しい文化の創造	30	芸術文化に親しむことのできる環境	32.8%	60.7%	6.5%	22.5%	61.1%	16.5%
	6－1	美しい都市景観づくり	31	都市景観の美しさ	22.5%	50.1%	27.5%	16.5%	52.8%	30.7%
	3	個性豊かな人と文化が育つまち	32	個性豊かな人と文化が育つまち <総合評価>	20.2%	70.3%	9.5%	11.1%	68.7%	20.2%

基本計画の項目			対応するアンケート項目							
大柱	中・小柱	政策・施策の名称	設問番号	設問内容	以前と比べて			現在の状況		
					良くなった	変わらない	悪くなった	良い	ふつう	悪い
4 健康でやさしい心のふれあうまち	1-1	平和を愛する社会の形成	33	戦争や平和に関する市民意識の高さ	12.3%	64.1%	23.6%	10.4%	59.2%	30.4%
	1-2	人権を大切にする社会の形成	35	すべての人の人権が尊重される社会環境	9.6%	73.6%	16.9%	6.5%	67.8%	25.7%
	1-3	男女共同参画社会の形成	34	男女が共に活躍できる社会環境	16.8%	73.8%	9.3%	10.9%	70.4%	18.7%
	2-1	すべての人々が安心して利用できる施設づくり	36	すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	35.7%	52.1%	12.1%	13.0%	53.4%	33.6%
	2-2	すべての人々が社会参加できる機会づくり								
	3-1	総合的な地域福祉システムの確立	37	高齢者のための福祉環境	33.0%	51.1%	15.9%	15.4%	49.4%	35.2%
	3-2	地域福祉サービスの質の向上								
	4-1	総合的な地域福祉サービスを支える人づくり	38	障害者のための福祉環境	26.5%	59.8%	13.7%	11.8%	53.2%	35.1%
	4-2	総合的な地域福祉サービスを支える場づくり								
	5-1	地域医療のしくみの確立	39	病気のときに安心して医療サービスが受けられる環境	17.7%	60.2%	22.1%	12.0%	50.8%	37.3%
	5-2	心身の健康維持と健康づくりの推進	40	健康づくりに取り組みやすい環境	21.3%	69.6%	9.1%	13.1%	69.6%	17.3%
	6-1	共生のコミュニティ形成への支援	41	地域活動を行うために必要な施設の状況	22.1%	68.0%	9.9%	15.4%	63.6%	21.0%
	6-2	世代間交流の推進	42	高齢者と若い世代の交流の活発さ	7.2%	68.4%	24.4%	3.6%	54.1%	42.3%
	4	健康でやさしい心のふれあうまち	43	健康でやさしい心のふれあうまち <総合評価>	13.9%	74.0%	12.1%	6.5%	66.3%	27.2%
5 安全で快適に暮らせるまち	1-1	避難路やライフラインの強化・多重化	44	災害のときに大きな不安を感じることはない環境	13.8%	69.9%	16.3%	8.2%	56.3%	35.5%
	1-2	都市施設などの耐災性の向上								
	1-3	オープンスペースの確保など市街地の防災対策								
	2-1	地すべり・がけ崩れ対策	45	がけ崩れや地すべりが起きる不安を感じることのない環境	18.2%	61.4%	20.5%	12.3%	48.1%	39.6%
	2-2	水害対策	46	水害が起きる不安を感じることはない環境	18.7%	70.4%	10.9%	15.9%	61.1%	23.0%
	3-1	防災などの谷戸地域対策	47	谷戸地域（がけに囲まれた地域）で安心して暮らせる状況	11.4%	70.7%	17.9%	5.7%	57.0%	37.2%
	4-1	防災体制の整備・拡充	49	防災・避難・救援・復旧体制が整っている状況	16.2%	73.9%	9.9%	10.2%	63.0%	26.9%
	4-2	救援・救護・復旧体制の整備								
	4-3	避難場所の確保								
	4-4	自主防災活動の充実、防災意識の啓発	48	家庭や地域における防災意識の高さ	21.9%	68.9%	9.2%	11.2%	63.4%	25.3%
	5-1	消防体制の充実	50	しっかりとした消防体制がある環境	20.4%	73.2%	6.3%	17.4%	69.6%	13.1%
	5-2	救急体制の充実	51	しっかりとした救急体制がある環境	18.5%	73.2%	8.3%	14.5%	67.1%	18.4%
	5-3	救助体制の充実		設問50、51の平均値を活用	—	—	—	—	—	—
	6-1	環境保全対策	52	騒音・振動・大気汚染・悪臭などの公害に悩まされることのない環境	12.1%	63.8%	24.1%	12.8%	56.0%	31.3%
	6-2	防犯対策	53	犯罪に対する不安を身近に感じることはない環境	8.5%	45.9%	45.6%	5.5%	45.0%	49.5%
	6-3	交通安全対策	54	交通事故の危険を感じることはない環境	5.9%	57.7%	36.4%	3.5%	50.7%	45.8%
	6-4	消費者保護対策	55	消費生活のトラブルへの対応状況	6.5%	75.6%	17.9%	4.4%	73.8%	21.8%
	6-5	食品・環境衛生対策	56	食品や動物の衛生状況に不安を感じることはない環境	10.3%	70.9%	18.8%	7.5%	70.7%	21.8%
	6-6	保健・環境に関する試験検査体制の充実								

基本計画の項目			対応するアンケート項目							
大柱	中・小柱	政策・施策の名称	設問番号	設問内容	以前と比べて			現在の状況		
					良くなった	変わらない	悪くなった	良い	ふつう	悪い
5 安全で快適に暮らせるまち	7ー1	上水道整備	57	安心して水道水が利用できる状況	22.8%	69.3%	7.9%	34.1%	56.2%	9.7%
	7ー2	下水道整備	58	下水道が整備されている状況	39.0%	58.1%	2.9%	39.1%	55.2%	5.7%
	7ー3	道路整備	59	身近な道路の安全や快適さ	21.9%	58.6%	19.5%	14.9%	53.7%	31.4%
	7ー4	公園整備	60	子どもが遊べる公園や広場などの環境	19.0%	55.6%	25.4%	13.4%	50.7%	35.9%
	7ー5	河川整備	61	安全で美しい河川の状況	12.7%	58.2%	29.1%	7.3%	49.2%	43.5%
	8ー1	多様なニーズに対応した良質な住宅づくり	62	だれもが住みやすい住環境	12.7%	66.6%	20.7%	9.9%	65.1%	25.1%
	9ー1	ごみ処理対策	63	ごみ処理の状況	35.9%	47.9%	16.2%	26.4%	52.9%	20.7%
	9ー2	し尿処理対策	64	清潔で利用しやすい公衆トイレの整備状況	27.1%	56.6%	16.2%	15.8%	51.7%	32.5%
	10ー1	クリーンエネルギーの活用	65	太陽光発電などクリーンエネルギーの普及状況	14.7%	74.7%	10.7%	4.8%	65.0%	30.2%
	5	安全で快適に暮らせるまち	66	安全で快適に暮らせるまち <総合評価>	16.8%	67.5%	15.7%	9.4%	64.8%	25.8%
6 まちづくりの推進	1ー1	情報公開・情報提供の充実	67	市の情報公開状況	35.2%	60.7%	4.1%	18.9%	68.7%	12.4%
	1ー2	個人情報保護の充実								
	2ー1	広聴活動の充実	68	市に意見を述べたり、相談したりする機会の充実度	20.7%	73.0%	6.3%	11.2%	64.9%	23.9%
	2ー2	市民相談の充実								
	3ー1	市民のまちづくり活動の促進支援	69	ボランティアなどの市民活動がしやすい環境	26.8%	68.8%	4.3%	15.1%	73.0%	11.8%
	3ー2	市民合意による行政運営の推進	70	市のまちづくりに参加・参画する場や機会の充実度	22.7%	70.6%	6.7%	10.3%	71.0%	18.7%
	6	市民協働によるまちづくりの推進	71	市民協働によるまちづくりの推進 <総合評価>	23.4%	73.3%	3.3%	11.3%	74.9%	13.8%
7 経営的な進都市	1ー1	機能的で簡素な組織づくり	73	行政サービスの利用のしやすさ	32.7%	59.2%	8.1%	21.2%	60.8%	18.1%
	1ー2	政策立案機能の強化								
	1ー3	機能的で簡素な組織づくり								
	1ー4	市民に身近な行政システムの充実	72	市職員の市民に対する接客姿勢	30.3%	59.8%	9.9%	21.6%	59.4%	19.0%
	7	効率的な都市経営の推進	74	効率的な都市経営の推進 <総合評価>	28.0%	63.8%	8.2%	19.9%	62.9%	17.2%
8 の と 推 進 地 方 連 携 権	8	地方分権と広域連携の推進	75	地方分権と広域連携の推進状況 <総合評価>	10.9%	80.8%	8.4%	6.4%	78.6%	15.0%

III 調査結果の概要

1 生活周辺環境の評価／施策への評価（問1）

○ 以前と比べて

- ＊ 「良くなった」とされる項目は、情報発信、交通、生活環境に関する項目が安定的に高い評価を得ている。また、交流の場や機会づくり、バリアフリーへの評価が高まっている。（P10）
- ＊ 「悪くなった」とされる項目は、自然環境、産業活性化や雇用環境、安全面から見た生活環境に関する内容が上位となっている。（P11）

○ 現在の状況

- ＊ 「良い」とされる項目は、生活環境に関する項目が上位となっている。また、芸術・文化に関する項目が昨年度より高い評価を得ている。（P17）
- ＊ 「悪い」とされる項目は、産業活性化や雇用環境、安全面から見た生活環境に関する内容が上位となっている。（P18）

○ 施策の大柱における総合評価（P29）

- ＊ 「いきいきとした交流がひろがるまち」「効率的な都市経営の推進」は「以前よりも良くなり満足している（Ⅰ）」に位置している。
- ＊ 一方「海と緑を生かした活気あふれるまち」は、「以前と比べて」「現在の状況」ともに指標値が改善せず、昨年度に引き続き「以前より悪くなり満足できない（Ⅳ）」に位置している。
- ＊ 上記以外の5項目は、全て「以前より良くなったが満足できない（Ⅲ）」に位置している。「市民協働によるまちづくりの推進」は、「現在の状況」の数値がやや悪化し、「以前よりも良くなり満足している（Ⅰ）」から「以前より良くなったが満足できない（Ⅲ）」に変わっている。

2 施策の優先度（問2）

- ＊ 前回調査に引き続き「きれいな海や山などを残していくこと」「子どもが健やかに育つ地域の環境を充実させること」「病気のときに安心して医療サービスが受けられるようにすること」の優先度は、大柱ごとのグループの中で突出して高くなっている。
- ＊ その他の大柱では「電車やバスなどの公共交通機関を便利にすること」「犯罪に対する不安を身近に感じることをない環境にすること」「市に意見を述べたり、相談したりする機会を充実させること」「行政サービスをより利用しやすくすること」の優先度が高くなっている。（P41）

3 住み良さの総合評価（問3）

- ＊ 約85%の人が「住み良い」「まあ住み良い」と感じており、前回調査から大きな変化はなく、高い割合を維持している。
- ＊ 「住み良い」「住みにくい」と感じている人の割合は、両者ともやや減少している。(P59)

4 現在の定住意向（問4）

- ＊ 9割近くの人が市内に住み続けたいとしており、前回調査よりその割合は大きくなっている。
- ＊ 一方、市外に転居したいとする人の割合は低下している。(P63)

5 横須賀市コールセンターの認知度等（問5）

- ＊ コールセンターについて「知っていた」とした人の割合は約25%となっている。
- ＊ コールセンターの利用意向については、約75%の人が「利用したい」と回答している。(P72)

6 横須賀市が変わったと感じる点（問6）

- ＊ 「行政の姿勢」に関する意見が多く、続いて「自然環境」「交通」に関する意見も多く見られた。(P75)

IV 集計結果

1 生活周辺環境の評価／施策への評価（問1）

回答用紙のA欄（以前と比べて）、B欄（現在の状況）それぞれの項目について、あてはまるところに1つずつ○をつけてください。

注）A欄の「以前と比べて」は、4～5年前、それ以降に横須賀市に住んだ方は転入当時と比べて、お答えください。

問1 回答用紙イメージ（一部抜粋）

グループ	項 目		A欄			B欄		
			以前と比べて			現在の状況		
			良くなった	変わらない	悪くなった	良い	ふつう	悪い
1 いきいきとした交流が 広がるまち	1	マスコミやインターネットで見かける横須賀に関する情報量の多さ						
	2	国際交流や他の都市との交流などの活発さ						
	3	市外の人を連れて来たいような場所やイベントの多さ						
	4	フェリーや旅客船の利用のしやすさ						
	5	港を利用した貨物輸送の活発さ						
	6	市内外を結ぶ主要道路の便利さ						
	7	電車やバスなどの公共交通機関の便利さ						
	8	インターネットなどの情報通信サービスの利用のしやすさ						
	9	1～8の項目を総合的に見た評価						

(1) 以前と比べた生活周辺環境評価

「良くなった」とされる項目は、情報発信、交通、生活環境に関する項目が安定的に高い評価を得ている。また、交流の場や機会づくり、バリアフリーへの評価が高まっている。

上位 10 位までの項目から以下のような傾向がうかがえる。

- ・ 第 1 位「マスコミやインターネットで見かける横須賀に関する情報量の多さ」、第 2 位「市内外を結ぶ主要道路の便利さ」、第 3 位「インターネットなどの情報通信サービスの利用のしやすさ」、第 4 位「下水道が整備されている状況」は、前回調査と変わっておらず、安定して高い評価となっている。
- ・ 第 5 位「市外の人を連れて来たくするような場所やイベントの多さ」（昨年度第 7 位）は、前回調査から順位を上げ、評価が高くなっている。
- ・ 第 6 位「ごみ処理の状況」（昨年度第 9 位）、第 7 位「すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況」（同第 10 位）は、前回調査から順位を上げている。
- ・ 第 8 位「市の情報公開の状況」（昨年度第 6 位）、第 9 位「高齢者のための福祉環境」（同第 5 位）については、前回調査から順位を下けているものの、安定して高い評価を得ている。
- ・ 今回新たに上位 10 位以内に入ったものは、第 10 位「芸術文化に親しむことのできる環境」となっている。

図表 (IV) 1-1 以前と比べて良くなった項目 上位 10 項目

順位		以前と比べて「良くなった」項目	割合	18年度
第1位	→	マスコミやインターネットで見かける横須賀に関する情報量の多さ	55.5%	第1位
第2位	→	市内外を結ぶ主要道路の便利さ	47.6%	第2位
第3位	→	インターネットなどの情報通信サービスの利用のしやすさ	45.2%	第3位
第4位	→	下水道が整備されている状況	39.0%	第4位
第5位	↑	市外の人を連れて来たくするような場所やイベントの多さ	37.3%	第7位
第6位	↑	ごみ処理の状況	35.9%	第9位
第7位	↑	すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	35.7%	第10位
第8位	↓	市の情報公開の状況	35.2%	第6位
第9位	↓	高齢者のための福祉環境	33.0%	第5位
第10位	↑	芸術文化に親しむことのできる環境	32.8%	10位以下

「悪くなった」とされる項目は、自然環境、産業活性化や雇用環境、安全面から見た生活環境に関する内容が上位となっている。

上位 10 位までの項目から以下のような傾向がうかがえる。

- ・ 第 1 位は「きれいな海や山などが残っている様子」となり、昨年度の 2 位から順位を上げた。第 5 位には「自然環境がもたらす生活の潤い」（昨年度 6 位）が入っており、自然環境に関する項目が不満の上位となっている。
- ・ 第 2 位は、前回調査第 4 位から順位を上げ「中小製造業やサービス業などが活性化した様子」となった。第 4 位「高齢者にとっての働きやすさ」（昨年度 3 位）も安定して上位となっており、産業活性化や雇用環境に関する不満が、引き続き高くなっている。
- ・ 第 3 位は、前回第 1 位からは順位を下げたものの「犯罪に対する不安を身近に感じることはない環境」であり、引き続き上位となっている。第 6 位「交通事故の危険を感じることはない環境」（昨年度 5 位）も上位となっているほか、第 9 位にも「安全で美しい河川の状況」（同 10 位以下）が入っており、安全面からの生活環境に関する項目に関する不満が、引き続き高くなっている。
- ・ 第 8 位「その他主要駅（追浜駅・衣笠駅・久里浜駅）周辺のにぎわい」（昨年度第 8 位）、第 10 位「子どもが健やかに育つための地域の環境」（昨年度第 7 位）は、前回調査に引き続き 10 位以内となっている。
- ・ そのほか、新たに上位 10 項目に入ったものは、第 7 位「商店街での買い物の便利さ」となっている。

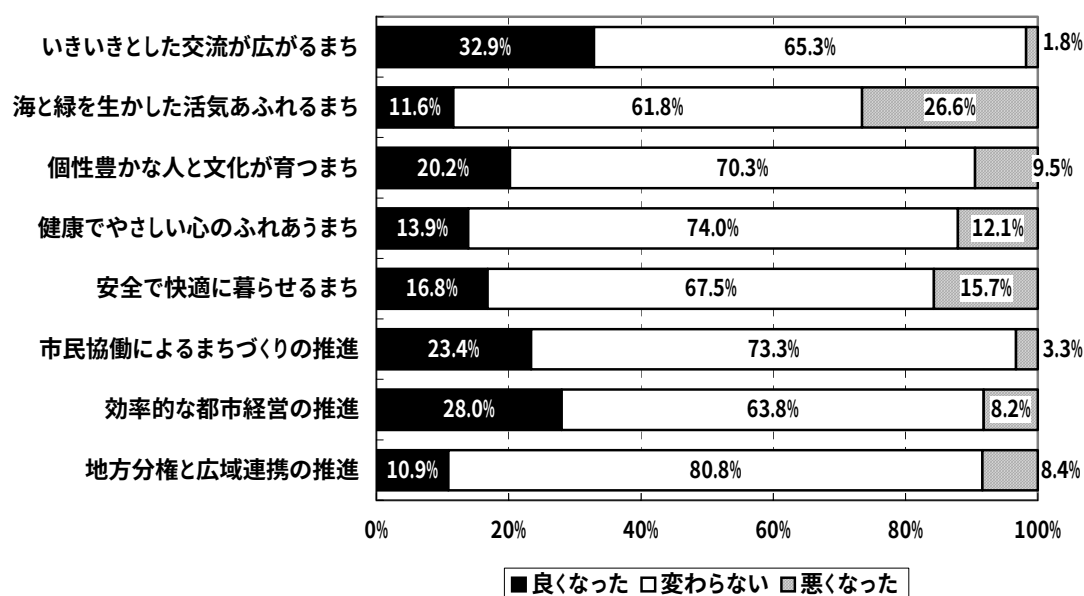
図表（IV）1-2 以前と比べて悪くなった項目 上位 10 項目

順位		以前と比べて「悪くなった」項目	割合	18年度
第1位	↑	きれいな海や山などが残っている様子	52.3%	第2位
第2位	↑	中小製造業やサービス業などが活性化した様子	46.0%	第4位
第3位	↓	犯罪に対する不安を身近に感じることはない環境	45.6%	第1位
第4位	↓	高齢者にとっての働きやすさ	40.6%	第3位
第5位	↑	自然環境がもたらす生活の潤い	38.1%	第6位
第6位	↓	交通事故の危険を感じることはない環境	36.4%	第5位
第7位	↑	商店街での買い物の便利さ	32.4%	10位以下
第8位	→	その他主要駅（追浜駅・衣笠駅・久里浜駅）周辺のにぎわい	31.5%	第8位
第9位	↑	安全で美しい河川の状況	29.1%	10位以下
第10位	↓	子どもが健やかに育つための地域の環境	29.0%	第7位

総合評価に関して「良くなった」という評価割合が最も高い項目は「いきいきとした交流が広がるまち（32.9%）」である。このほか「効率的な都市経営の推進（28.0%）」「市民協働によるまちづくりの推進（23.4%）」「個性豊かな人と文化が育つまち（20.2%）」が 20%台となっている。

一方「悪くなった」という評価割合が最も高い項目は、昨年度調査と同様「海と緑を生かした活気あふれるまち（26.6%）」であり、昨年度回答率（17.6%）と比較しても、9.0 ポイント悪くなっている。

図表（IV） 1-3 以前との比較 総合評価



図表 (IV) 1-4 以前との比較 (問 1 A 欄)

<以前と比べて>		回答数 (人)	良くなった	変わらない	悪くなった	無回答 (人)
I いきいきとした交流が広がるまち	1 マスコミやインターネットで見かける横須賀に関する情報の多さ	546	55.5%	42.7%	1.8%	110
	2 国際交流や他の都市との交流などの活発さ	506	22.1%	75.7%	2.2%	150
	3 市外の人を連れて来たいような場所やイベントの多さ	563	37.3%	57.9%	4.8%	93
	4 フェリーや旅客船の利用のしやすさ	531	22.2%	75.5%	2.3%	125
	5 港を利用した貨物輸送の活発さ	421	15.2%	77.4%	7.4%	235
	6 市内外を結ぶ主要道路の便利さ	582	47.6%	46.9%	5.5%	74
	7 電車やバスなどの公共交通機関の便利さ	606	27.1%	65.5%	7.4%	50
	8 インターネットなどの情報通信サービスの利用のしやすさ	473	45.2%	52.0%	2.7%	183
	9 いきいきとした交流が広がるまち<総合評価>	504	32.9%	65.3%	1.8%	152
II 海と緑を生かした活気あふれるまち	10 きれいな海や山などが残っている様子	610	12.8%	34.9%	52.3%	46
	11 自然環境がもたらす生活の潤い	591	9.8%	52.1%	38.1%	65
	12 自然豊かな公園に恵まれている様子	591	21.3%	57.9%	20.8%	65
	13 新鮮で安全な地元農水産物の手に入れやすさ	589	22.6%	62.8%	14.6%	67
	14 高等教育・研究開発が盛んに行われている様子	518	26.1%	63.3%	10.6%	138
	15 新しい産業が盛んになっている様子	521	6.1%	65.6%	28.2%	135
	16 中小製造業やサービス業などが活性化した様子	530	7.0%	47.0%	46.0%	126
	17 高齢者にとっての働きやすさ	517	5.6%	53.8%	40.6%	139
	18 障害者にとっての働きやすさ	450	10.0%	61.6%	28.4%	206
	19 女性にとっての働きやすさ	498	13.3%	66.3%	20.5%	158
	20 中心市街地 (横須賀中央駅・汐入駅) 周辺のにぎわい	601	28.5%	47.1%	24.5%	55
	21 その他主要駅 (追浜駅・衣笠駅・久里浜駅) 周辺のにぎわい	575	14.8%	53.7%	31.5%	81
	22 商店街での買い物の便利さ	596	17.6%	50.0%	32.4%	60
	23 海と緑を生かした活気あふれるまち<総合評価>	552	11.6%	61.8%	26.6%	104

<以前と比べて>			回答数 (人)	良くなった	変わらない	悪くなった	無回答 (人)
III 個性豊かな人と文化が育つまち	24	子どもが健やかに育つための地域の環境	569	16.3%	54.7%	29.0%	87
	25	生涯を通じて学習するための環境	558	25.3%	65.4%	9.3%	98
	26	スポーツや文化活動による地域を越えた交流の機会	501	16.0%	77.0%	7.0%	155
	27	地元大学や企業の協力によって提供される学習の機会	480	22.1%	71.5%	6.5%	176
	28	歴史にゆかりのある行事などの活発さ	542	27.5%	67.0%	5.5%	114
	29	歴史的文化財の保存や活用の状況	510	17.5%	73.3%	9.2%	146
	30	芸術文化に親しむことのできる環境	540	32.8%	60.7%	6.5%	116
	31	都市景観の美しさ	579	22.5%	50.1%	27.5%	77
	32	個性豊かな人と文化が育つまち<総合評価>	516	20.2%	70.3%	9.5%	140
IV 健康でやさしい心のふれあうまち	33	戦争や平和に関する市民意識の高さ	560	12.3%	64.1%	23.6%	96
	34	男女が共に活躍できる社会環境	535	16.8%	73.8%	9.3%	121
	35	すべての人の人権が尊重される社会環境	534	9.6%	73.6%	16.9%	122
	36	すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	560	35.7%	52.1%	12.1%	96
	37	高齢者のための福祉環境	554	33.0%	51.1%	15.9%	102
	38	障害者のための福祉環境	498	26.5%	59.8%	13.7%	158
	39	病気のときに安心して医療サービスが受けられる環境	588	17.7%	60.2%	22.1%	68
	40	健康づくりに取り組みやすい環境	560	21.3%	69.6%	9.1%	96
	41	地域活動を行うために必要な施設の状況	543	22.1%	68.0%	9.9%	113
	42	高齢者と若い世代の交流の活発さ	525	7.2%	68.4%	24.4%	131
	43	健康でやさしい心のふれあうまち<総合評価>	531	13.9%	74.0%	12.1%	125

＜以前と比べて＞			回答数 (人)	良くなった	変わらない	悪くなった	無回答 (人)
V 安全で快適に暮らせるまち	44	災害のときに大きな不安を感じることはない環境	578	13.8%	69.9%	16.3%	78
	45	がけ崩れや地すべりが起きる不安を感じることはない環境	567	18.2%	61.4%	20.5%	89
	46	水害が起きる不安を感じることはない環境	567	18.7%	70.4%	10.9%	89
	47	谷戸地域（がけに囲まれた地域）で安心して暮らせる状況	498	11.4%	70.7%	17.9%	158
	48	家庭や地域における防災意識の高さ	576	21.9%	68.9%	9.2%	80
	49	防災・避難・救援・復旧体制が整っている状況	537	16.2%	73.9%	9.9%	119
	50	しっかりとした消防体制がある環境	553	20.4%	73.2%	6.3%	103
	51	しっかりとした救急体制がある環境	552	18.5%	73.2%	8.3%	104
	52	騒音・振動・大気汚染・悪臭などの公害に悩まされることのない環境	577	12.1%	63.8%	24.1%	79
	53	犯罪に対する不安を身近に感じることはない環境	597	8.5%	45.9%	45.6%	59
	54	交通事故の危険を感じることはない環境	594	5.9%	57.7%	36.4%	62
	55	消費生活のトラブルへの対応状況	520	6.5%	75.6%	17.9%	136
	56	食品や動物の衛生状況に不安を感じることはない環境	553	10.3%	70.9%	18.8%	103
	57	安心して水道水が利用できる状況	596	22.8%	69.3%	7.9%	60
	58	下水道が整備されている状況	590	39.0%	58.1%	2.9%	66
	59	身近な道路の安全や快適さ	585	21.9%	58.6%	19.5%	71
	60	子どもが遊べる公園や広場などの環境	574	19.0%	55.6%	25.4%	82
	61	安全で美しい河川の状況	560	12.7%	58.2%	29.1%	96
	62	だれもが住みやすい住環境	574	12.7%	66.6%	20.7%	82
	63	ごみ処理の状況	591	35.9%	47.9%	16.2%	65
	64	清潔で利用しやすい公衆トイレの整備状況	549	27.1%	56.6%	16.2%	107
	65	太陽光発電などクリーンエネルギーの普及状況	450	14.7%	74.7%	10.7%	206
	66	安全で快適に暮らせるまち＜総合評価＞	535	16.8%	67.5%	15.7%	121

<以前と比べて>			回答数 (人)	良くなった	変わらない	悪くなった	無回答 (人)
VI 市民協働によるまちづくりの推進	67	市の情報公開状況	532	35.2%	60.7%	4.1%	124
	68	市に意見を述べたり、相談したりする機会の充実度	522	20.7%	73.0%	6.3%	134
	69	ボランティアなどの市民活動がしやすい環境	507	26.8%	68.8%	4.3%	149
	70	市のまちづくりに参加・参画する場や機会の充実度	493	22.7%	70.6%	6.7%	163
	71	市民協働によるまちづくりの推進<総合評価>	487	23.4%	73.3%	3.3%	169
VII 効果的な都市経営の推進	72	市職員の市民に対する接客姿勢	567	30.3%	59.8%	9.9%	89
	73	行政サービスの利用のしやすさ	569	32.7%	59.2%	8.1%	87
	74	効率的な都市経営の推進<総合評価>	522	28.0%	63.8%	8.2%	134
VIII 地域連携の推進と広域連携	75	地方分権と広域連携の推進状況<総合評価>	359	10.9%	80.8%	8.4%	297

(2) 現在の生活周辺環境評価

現在の状況が「良い」とされる項目は、生活環境に関する項目が上位となっている。また、芸術・文化に関する項目が昨年度より高い評価を得ている。

上位 10 位までの項目から以下のような傾向がうかがえる。

- ・ 第 1 位「下水道が整備されている状況」（昨年度第 1 位）、第 2 位「安心して水道水が利用できる状況」（同第 2 位）、第 4 位「ごみ処理の状況」（同第 6 位）となっており、生活環境に関する項目は、引き続き高い評価を得ている。
- ・ 第 3 位「市内外を結ぶ主要道路の便利さ」（昨年度第 4 位）、第 6 位「電車やバスなどの公共交通機関の便利さ」（同第 8 位）が順位を上げており、交通に関する項目に対する評価が高まっている。
- ・ 第 5 位「新鮮で安全な地元農水産物の手に入れやすさ」（昨年度第 3 位）、第 9 位「自然豊かな公園に恵まれている様子」（同第 9 位）は、昨年度より順位を下げたものの、引き続き高い評価を得ている。
- ・ 第 7 位「芸術文化に親しむことのできる環境」、第 8 位「歴史にゆかりのある行事などの活発さ」、第 10 位「市職員の市民に対する接客姿勢」は、今回新たに上位 10 位以内に入り、評価が高まっている。
- ・ これらに替わって「行政サービスの利用のしやすさ」（昨年度第 7 位）、「市外の人を連れて来たくするような場所やイベントの多さ」（同第 9 位）、「インターネットなどの情報通信サービスの利用のしやすさ」（同第 10 位）はそれぞれ 11 位以下に順位を下げている。

図表 (IV) 1-5 現在の状況が「良い」と回答された項目 上位 10 項目

順位		現在の状況が「良い」項目	割合	18年度
第1位	→	下水道が整備されている状況	39.1%	第1位
第2位	→	安心して水道水が利用できる状況	34.1%	第2位
第3位	↑	市内外を結ぶ主要道路の便利さ	27.4%	第4位
第4位	↑	ごみ処理の状況	26.4%	第6位
第5位	↓	新鮮で安全な地元農水産物の手に入れやすさ	24.1%	第3位
第6位	↑	電車やバスなどの公共交通機関の便利さ	22.7%	第8位
第7位	↑	芸術文化に親しむことのできる環境	22.5%	10位以下
第8位	↑	歴史にゆかりのある行事などの活発さ	22.3%	10位以下
第9位	↓	自然豊かな公園に恵まれている様子	21.9%	第5位
第10位	↑	市職員の市民に対する接客姿勢	21.6%	10位以下

現在の状況が「悪い」とされる項目は、産業活性化や雇用環境、安全面から見た生活環境に関する内容が上位となっている。

上位 10 位までの項目から以下のような傾向がうかがえる。

- ・ 第 1 位「高齢者にとっての働きやすさ」（昨年度第 1 位）、第 2 位「中小製造業やサービス業などが活性化した様子」（同第 4 位）、第 4 位「障害者にとっての働きやすさ」（同第 6 位）、第 9 位「新しい産業が盛んになっている様子」（同 10 位以下）となっており、前回調査に引き続き、産業活性化や雇用環境に関する不満が高くなっている。
- ・ 第 3 位「犯罪に対する不安を身近に感じることはない環境」（昨年度第 2 位）、第 5 位「交通事故の危険を感じることはない環境」（同第 5 位）、第 7 位「安全で美しい河川の状態」（同 10 位以下）、第 10 位「がけ崩れや地すべりが起きる不安を感じることはない環境」（同第 7 位）と、安全面から見た生活環境に関する項目についても、引き続き上位となっている。
- ・ 第 8 位「高齢者と若い世代の交流の活発さ」（昨年度第 3 位）は、前回調査より順位を下げているものの、上位に入っている。また、前回調査で 10 位以下だった「きれいな海や山などが残っている様子」が第 6 位となった。

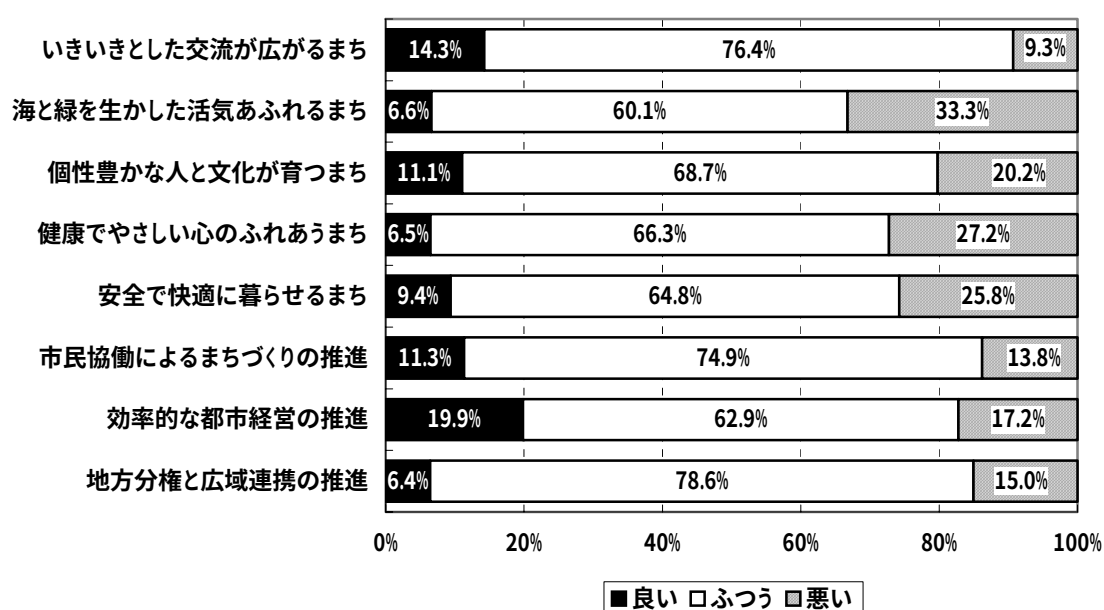
図表 (IV) 1-6 現在の状況が「悪い」と回答された項目 上位 10 項目

順位		現在の状況が「悪い」項目	割合	18年度
第1位	→	高齢者にとっての働きやすさ	57.7%	第1位
第2位	↑	中小製造業やサービス業などが活性化した様子	51.9%	第4位
第3位	↓	犯罪に対する不安を身近に感じることはない環境	49.5%	第2位
第4位	↑	障害者にとっての働きやすさ	46.2%	第6位
第5位	→	交通事故の危険を感じることはない環境	45.8%	第5位
第6位	↑	きれいな海や山などが残っている様子	43.6%	10位以下
第7位	↑	安全で美しい河川の状態	43.5%	10位以下
第8位	↓	高齢者と若い世代の交流の活発さ	42.3%	第3位
第9位	↑	新しい産業が盛んになっている様子	40.2%	10位以下
第10位	↓	がけ崩れや地すべりが起きる不安を感じることはない環境	39.6%	第7位

現在の状況の総合評価に関して「良い」という評価割合が最も高い項目は、「効率的な都市経営の推進（19.9%）」で、「いきいきとした交流が広がるまち（14.3%）」「市民協働によるまちづくりの推進（11.3%）」「個性豊かな人と文化が育つまち（11.1%）」が 10% 台で続いている。

一方で、「悪い」という評価割合が高い項目は「海と緑を生かした活気あふれるまち（33.3%）」で、前回調査から 8.7 ポイント悪化している。これに「健康でやさしい心のふれあうまち（27.2%）」「安全で快適に暮らせるまち（25.8%）」が続いている。

図表（Ⅳ） 1-7 現在の状況 総合評価



図表 (IV) 1-8 現在の状況 (問1 B欄)

<現在の状況>			回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答 (人)
Ⅰ いきいきとした 交流が広がるまち	1	マスコミやインターネットで見かける横須賀に関する情報の多さ	552	19.6%	73.6%	6.9%	104
	2	国際交流や他の都市との交流などの活発さ	513	15.2%	71.5%	13.3%	143
	3	市外の人を連れて来たいくなるような場所やイベントの多さ	569	19.9%	62.0%	18.1%	87
	4	フェリーや旅客船の利用のしやすさ	535	17.4%	71.2%	11.4%	121
	5	港を利用した貨物輸送の活発さ	425	7.5%	77.9%	14.6%	231
	6	市内外を結ぶ主要道路の便利さ	585	27.4%	50.3%	22.4%	71
	7	電車やバスなどの公共交通機関の便利さ	611	22.7%	53.5%	23.7%	45
	8	インターネットなどの情報通信サービスの利用のしやすさ	482	20.5%	70.1%	9.3%	174
	9	いきいきとした交流が広がるまち<総合評価>	505	14.3%	76.4%	9.3%	151
Ⅱ 海と緑を生かした 活気あふれるまち	10	きれいな海や山などが残っている様子	613	19.4%	37.0%	43.6%	43
	11	自然環境がもたらす生活の潤い	596	13.6%	51.5%	34.9%	60
	12	自然豊かな公園に恵まれている様子	590	21.9%	50.8%	27.3%	66
	13	新鮮で安全な地元農水産物の手に入れやすさ	589	24.1%	57.9%	18.0%	67
	14	高等教育・研究開発が盛んに行われている様子	519	17.0%	67.2%	15.8%	137
	15	新しい産業が盛んになっている様子	523	3.8%	56.0%	40.2%	133
	16	中小製造業やサービス業などが活性化した様子	528	4.2%	43.9%	51.9%	128
	17	高齢者にとっての働きやすさ	523	2.9%	39.4%	57.7%	133
	18	障害者にとっての働きやすさ	457	4.2%	49.7%	46.2%	199
	19	女性にとっての働きやすさ	502	6.0%	59.4%	34.7%	154
	20	中心市街地(横須賀中央駅・汐入駅)周辺のにぎわい	594	19.2%	53.2%	27.6%	62
	21	その他主要駅(追浜駅・衣笠駅・久里浜駅)周辺のにぎわい	574	10.6%	51.0%	38.3%	82
	22	商店街での買い物の便利さ	594	15.0%	46.5%	38.6%	62
	23	海と緑を生かした活気あふれるまち<総合評価>	559	6.6%	60.1%	33.3%	97

＜現在の状況＞			回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答 (人)
III 個性豊かな人と文化が育つまち	24	子どもが健やかに育つための地域の環境	571	12.3%	55.9%	31.9%	85
	25	生涯を通じて学習するための環境	561	14.4%	66.7%	18.9%	95
	26	スポーツや文化活動による地域を越えた交流の機会	508	11.8%	70.1%	18.1%	148
	27	地元大学や企業の協力によって提供される学習の機会	489	11.9%	63.0%	25.2%	167
	28	歴史にゆかりのある行事などの活発さ	542	22.3%	63.1%	14.6%	114
	29	歴史的文化財の保存や活用の状況	516	13.6%	68.2%	18.2%	140
	30	芸術文化に親しむことのできる環境	547	22.5%	61.1%	16.5%	109
	31	都市景観の美しさ	589	16.5%	52.8%	30.7%	67
	32	個性豊かな人と文化が育つまち＜総合評価＞	524	11.1%	68.7%	20.2%	132
IV 健康でやさしい心のふれあうまち	33	戦争や平和に関する市民意識の高さ	559	10.4%	59.2%	30.4%	97
	34	男女が共に活躍できる社会環境	540	10.9%	70.4%	18.7%	116
	35	すべての人の人権が尊重される社会環境	537	6.5%	67.8%	25.7%	119
	36	すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況	562	13.0%	53.4%	33.6%	94
	37	高齢者のための福祉環境	559	15.4%	49.4%	35.2%	97
	38	障害者のための福祉環境	502	11.8%	53.2%	35.1%	154
	39	病気のときに安心して医療サービスが受けられる環境	593	12.0%	50.8%	37.3%	63
	40	健康づくりに取り組みやすい環境	565	13.1%	69.6%	17.3%	91
	41	地域活動を行うために必要な施設の状況	552	15.4%	63.6%	21.0%	104
	42	高齢者と若い世代の交流の活発さ	532	3.6%	54.1%	42.3%	124
	43	健康でやさしい心のふれあうまち＜総合評価＞	540	6.5%	66.3%	27.2%	116

<現在の状況>		回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答 (人)
V 安全で快適に暮らせるまち	44 災害のときに大きな不安を感じることはない環境	588	8.2%	56.3%	35.5%	68
	45 がけ崩れや地すべりが起きる不安を感じることはない環境	576	12.3%	48.1%	39.6%	80
	46 水害が起きる不安を感じることはない環境	573	15.9%	61.1%	23.0%	83
	47 谷戸地域(がけに囲まれた地域)で安心して暮らせる状況	505	5.7%	57.0%	37.2%	151
	48 家庭や地域における防災意識の高さ	580	11.2%	63.4%	25.3%	76
	49 防災・避難・救援・復旧体制が整っている状況	540	10.2%	63.0%	26.9%	116
	50 しっかりとした消防体制がある環境	559	17.4%	69.6%	13.1%	97
	51 しっかりとした救急体制がある環境	560	14.5%	67.1%	18.4%	96
	52 騒音・振動・大気汚染・悪臭などの公害に悩まされることのない環境	588	12.8%	56.0%	31.3%	68
	53 犯罪に対する不安を身近に感じることはない環境	598	5.5%	45.0%	49.5%	58
	54 交通事故の危険を感じることはない環境	592	3.5%	50.7%	45.8%	64
	55 消費生活のトラブルへの対応状況	522	4.4%	73.8%	21.8%	134
	56 食品や動物の衛生状況に不安を感じることはない環境	559	7.5%	70.7%	21.8%	97
	57 安心して水道水が利用できる状況	596	34.1%	56.2%	9.7%	60
	58 下水道が整備されている状況	594	39.1%	55.2%	5.7%	62
	59 身近な道路の安全や快適さ	590	14.9%	53.7%	31.4%	66
	60 子どもが遊べる公園や広場などの環境	576	13.4%	50.7%	35.9%	80
	61 安全で美しい河川の状況	559	7.3%	49.2%	43.5%	97
	62 だれもが住みやすい住環境	578	9.9%	65.1%	25.1%	78
	63 ごみ処理の状況	595	26.4%	52.9%	20.7%	61
	64 清潔で利用しやすい公衆トイレの整備状況	551	15.8%	51.7%	32.5%	105
	65 太陽光発電などクリーンエネルギーの普及状況	454	4.8%	65.0%	30.2%	202
	66 安全で快適に暮らせるまち<総合評価>	543	9.4%	64.8%	25.8%	113

＜現在の状況＞			回答数 (人)	良い	ふつう	悪い	無回答 (人)
VI まちづくりの推進	67	市の情報公開状況	540	18.9%	68.7%	12.4%	116
	68	市に意見を述べたり、相談したりする機会の充実度	527	11.2%	64.9%	23.9%	129
	69	ボランティアなどの市民活動がしやすい環境	515	15.1%	73.0%	11.8%	141
	70	市のまちづくりに参加・参画する場や機会の充実度	504	10.3%	71.0%	18.7%	152
	71	市民協働によるまちづくりの推進＜総合評価＞	494	11.3%	74.9%	13.8%	162
VII 効率的な都市経営の推進	72	市職員の市民に対する接客姿勢	579	21.6%	59.4%	19.0%	77
	73	行政サービスの利用のしやすさ	576	21.2%	60.8%	18.1%	80
	74	効率的な都市経営の推進＜総合評価＞	534	19.9%	62.9%	17.2%	122
VIII 域地方連携の推進	75	地方分権と広域連携の推進状況＜総合評価＞	359	6.4%	78.6%	15.0%	297

(3) 施策の対象となる層の回答の状況（クロス集計結果）

今回の設問のうち、すべての市民が自分自身の問題として回答することが難しいと想定される内容に関して、対象となる層と回答者全体を比較した。

対象とした設問は、以下の通りである。

図表（IV）1-9 対象とした設問

番号	設 問	比較対象
17	高齢者にとっての働きやすさ	年齢（65 歳以上）
19	女性にとっての働きやすさ	性別（女性）
24	子どもが健やかに育つ地域の環境	世帯の状況（0～14 歳の子どもがいる）
34	男女が共に活躍できる社会環境	性別（女性） 年齢（全部）
37	高齢者のための福祉環境	年齢（65 歳以上） 世帯の状況（65 歳以上の高齢者がいる）
42	高齢者と若い世代の交流の活発さ	年齢（全部）
60	子どもが遊べる公園や広場などの環境	世帯の状況（0～14 歳の子どもがいる）

① 高齢者にとっての働きやすさ

「以前と比べて」についてみると、65～69 歳で「悪くなった」とする回答割合が 55.1% であり、回答者全体と比べて高くなっている。65～69 歳では「良くなった」とする回答割合も、回答者全体と比べてやや高くなっている。

「現在の状況」を見ても、65～69 歳は「良い」「悪い」とする回答割合とも回答者全体と比べて高くなっている。

図表（IV）1-10 高齢者にとっての働きやすさ

	以前と比べて				現在の状況			
	回答数 (人)	良くなった	変わらない	悪くなった	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い
回答者全体	517	5.6%	53.8%	40.6%	523	2.9%	39.4%	57.7%
65～69歳	49	6.1%	38.8%	55.1%	50	6.0%	34.0%	60.0%
70～74歳	45	2.2%	57.8%	40.0%	46	2.2%	41.3%	56.5%
75歳以上	29	3.4%	58.6%	37.9%	30	0.0%	43.3%	56.7%

② 女性にとっての働きやすさ

「以前と比べて」「現在の状況」ともに、回答者全体と比べて女性の方が「悪くなった」「悪い」とする回答割合がやや高い。

図表（Ⅳ）1-11 女性にとっての働きやすさ

	以前と比べて				現在の状況			
	回答数 (人)	良くなった	変わら ない	悪くなった	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い
回答者全体	498	13.3%	66.3%	20.5%	502	6.0%	59.4%	34.7%
男性	202	14.9%	65.3%	19.8%	201	6.0%	62.2%	31.8%
女性	272	11.8%	67.3%	21.0%	276	5.8%	56.9%	37.3%
不明	24	16.7%	62.5%	20.8%	25	8.0%	64.0%	28.0%

③ 子どもが健やかに育つ地域の環境

「以前と比べて」「現在の状況」ともに、回答者全体と比べて0～14歳の子どもがいる世帯の方が「良くなった」「良い」とする割合が低く、「悪くなった」「悪い」とする回答割合が高い。

図表（Ⅳ）1-12 子どもが健やかに育つ地域の環境

	以前と比べて				現在の状況			
	回答数 (人)	良くなった	変わらない	悪くなった	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い
回答者全体	569	16.3%	54.7%	29.0%	571	12.3%	55.9%	31.9%
0歳～14歳の子どもが いる	63	12.7%	50.8%	36.5%	63	9.5%	44.4%	46.0%

④ 男女がともに活躍できる社会環境

性別（図表 1-13）を見ると、回答者全体と比べて女性の方が「良くなった」「良い」とする割合が低く、「悪くなった」「悪い」とする回答割合が高い。

年齢別（図表 1-14）では、世代による傾向は見えないが、「以前と比べて」の「良くなった」の割合を年齢別に比較すると、65～69歳、15～19歳が高く、「悪くなった」とする割合は、35～39歳、50～54歳、40～44歳が高い。

また「現在の状況」では、「以前と比べて」と同様に「良い」の割合は、65～69歳、15～19歳が高く、「悪い」の割合は40～44歳、30～34歳、35～39歳が高い。

図表 (IV) 1-13 男女が共に活躍できる社会環境①

	以前と比べて				現在の状況			
	回答数 (人)	良くなった	変わら ない	悪くなった	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い
回答者全体	535	16.8%	73.8%	9.3%	540	10.9%	70.4%	18.7%
男性	231	22.1%	68.8%	9.1%	228	14.9%	70.6%	14.5%
女性	279	12.9%	77.4%	9.7%	285	8.1%	70.5%	21.4%
不明	25	12.0%	80.0%	8.0%	27	7.4%	66.7%	25.9%

図表 (IV) 1-14 男女が共に活躍できる社会環境②

	以前と比べて				現在の状況			
	回答数 (人)	良くなった	変わらない	悪くなった	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い
回答者全体	535	16.8%	73.8%	9.3%	540	10.9%	70.4%	18.7%
15～19歳	25	28.0%	64.0%	8.0%	24	20.8%	70.8%	8.3%
20～24歳	29	13.8%	86.2%	0.0%	29	10.3%	75.9%	13.8%
25～29歳	26	15.4%	73.1%	11.5%	26	3.8%	76.9%	19.2%
30～34歳	35	11.4%	82.9%	5.7%	37	2.7%	70.3%	27.0%
35～39歳	40	7.5%	75.0%	17.5%	40	7.5%	70.0%	22.5%
40～44歳	49	16.3%	71.4%	12.2%	50	6.0%	66.0%	28.0%
45～49歳	38	18.4%	73.7%	7.9%	38	10.5%	71.1%	18.4%
50～54歳	35	14.3%	71.4%	14.3%	36	8.3%	72.2%	19.4%
55～59歳	55	10.9%	81.8%	7.3%	57	8.8%	75.4%	15.8%
60～64歳	49	22.4%	69.4%	8.2%	49	14.3%	71.4%	14.3%
65～69歳	51	31.4%	60.8%	7.8%	50	26.0%	62.0%	12.0%
70～74歳	47	14.9%	74.5%	10.6%	46	13.0%	69.6%	17.4%
75歳以上	30	16.7%	73.3%	10.0%	30	10.0%	70.0%	20.0%
不明	26	11.5%	80.8%	7.7%	28	7.1%	67.9%	25.0%

⑤ 高齢者のための福祉環境

「以前と比べて」の「良くなった」の割合を年齢別に比較すると、65～69 歳が高く、「悪くなった」は75 歳以上が高い。また「現在の状況」の年齢別の比較では、65～69 歳で「良い」とする割合が高く「悪い」とする割合が低いのに対し、75 歳以上、70～74 歳で「良い」とする割合が低く、75 歳以上で「悪い」とする割合が高い。

図表 (IV) 1-15 高齢者のための福祉環境①

	以前と比べて				現在の状況			
	回答数 (人)	良くなった	変わら ない	悪くなった	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い
回答者全体	554	33.0%	51.1%	15.9%	559	15.4%	49.4%	35.2%
65～69歳	56	37.5%	51.8%	10.7%	58	25.9%	46.6%	27.6%
70～74歳	51	29.4%	58.8%	11.8%	52	11.5%	63.5%	25.0%
75歳以上	33	18.2%	57.6%	24.2%	32	9.4%	50.0%	40.6%

「以前と比べて」「現在の状況」とともに、回答者全体と比べて 65 歳以上の高齢者がいる世帯の方が「良くなった」「良い」とする割合がやや低く、「悪くなった」「悪い」とする回答割合がやや高い。

図表 (IV) 1-16 高齢者のための福祉環境②

	以前と比べて				現在の状況			
	回答数 (人)	良くなった	変わらない	悪くなった	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い
回答者全体	554	33.0%	51.1%	15.9%	559	15.4%	49.4%	35.2%
65歳以上の高齢者がいる	324	31.2%	51.5%	17.3%	322	13.7%	47.8%	38.5%

⑥ 高齢者と若い世代の交流の活発さ

「以前と比べて」の「良くなった」とする割合を年齢別に比較すると、20～24 歳、70～74 歳、75 歳以上が高い。一方「悪くなった」は、30～34 歳、40～44 歳、15～19 歳、55～59 歳、25～29 歳で割合が高くなっている。

「現在の状況」では、「良い」の割合を比較すると、15～19 歳、60～64 歳が高く、40～44 歳、30～34 歳、25～29 歳、55～59 歳で「悪い」とする回答割合が高い。

図表 (IV) 1-17 高齢者と若い世代の交流の活発さ

	以前と比べて				現在の状況			
	回答数 (人)	良くなった	変わらない	悪くなった	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い
回答者全体	525	7.2%	68.4%	24.4%	532	3.6%	54.1%	42.3%
15～19歳	25	4.0%	68.0%	28.0%	25	16.0%	44.0%	40.0%
20～24歳	27	11.1%	70.4%	18.5%	27	3.7%	59.3%	37.0%
25～29歳	26	3.8%	69.2%	26.9%	26	0.0%	50.0%	50.0%
30～34歳	35	5.7%	62.9%	31.4%	35	2.9%	42.9%	54.3%
35～39歳	41	7.3%	68.3%	24.4%	41	0.0%	63.4%	36.6%
40～44歳	50	6.0%	66.0%	28.0%	49	4.1%	36.7%	59.2%
45～49歳	35	2.9%	77.1%	20.0%	36	0.0%	63.9%	36.1%
50～54歳	35	8.6%	68.6%	22.9%	36	2.8%	61.1%	36.1%
55～59歳	54	5.6%	66.7%	27.8%	56	1.8%	50.0%	48.2%
60～64歳	50	8.0%	70.0%	22.0%	49	6.1%	63.3%	30.6%
65～69歳	47	8.5%	74.5%	17.0%	48	4.2%	62.5%	33.3%
70～74歳	46	10.9%	65.2%	23.9%	47	4.3%	57.4%	38.3%
75歳以上	29	10.3%	69.0%	20.7%	31	3.2%	58.1%	38.7%
不明	25	8.0%	60.0%	32.0%	26	3.8%	38.5%	57.7%

⑦ 子どもが遊べる公園や広場などの環境

「以前と比べて」「現在の状況」とともに、回答者全体と比べて0～14歳の子どもがいる世帯の方が「良くなった」「良い」とする割合が低く、「悪くなった」「悪い」とする回答割合が高い。

図表（IV）1-18 子どもが遊べる公園や広場などの環境

	以前と比べて				現在の状況			
	回答数 (人)	良くなった	変わらない	悪くなった	回答数 (人)	良い	ふつう	悪い
回答者全体	574	19.0%	55.6%	25.4%	576	13.4%	50.7%	35.9%
0歳～14歳の子どもが いる	62	11.3%	53.2%	35.5%	63	9.5%	39.7%	50.8%

(4) 総合評価

個別の施策の評価に加えて、総合評価（基本計画の大柱）を調査項目にして、評価の対象とした。

なお、総合評価の各項目は、以下の通り、数値化して評価を試みた。

<数値化の方法>

以前との比較については、「良くなった」1点、「変わらない」0点、「悪くなった」－1点とし、現在の状況については、「良い」1点、「ふつう」0点、「悪い」－1点として、各回答数を乗じた数値の合計を、総回答数で除して数値化している。

また、評価にあたっては、「以前よりも良くなり満足している（Ⅰ）」「以前より悪くなったが現状は満足している（Ⅱ）」「以前よりは良くなったが満足できない（Ⅲ）」「以前より悪くなり満足できない（Ⅳ）」に分類して行った。

図表（Ⅳ） 1－19 総合評価の分類類型

以前よりも良くなり満足している（Ⅰ）	以前との比較評価	プラス（＋）
	現在の評価	プラス（＋）
以前より悪くなったが現状は満足している（Ⅱ）	以前との比較評価	マイナス（－）
	現在の評価	プラス（＋）
以前よりは良くなったが満足できない（Ⅲ）	以前との比較評価	プラス（＋）
	現在の評価	マイナス（－）
以前より悪くなり、満足できない（Ⅳ）	以前との比較評価	マイナス（－）
	現在の評価	マイナス（－）

① 総合評価に関する評価結果

総合評価の8項目のうち「以前よりも良くなり満足している（Ⅰ）」に位置づけられた項目は「いきいきとした交流がひろがるまち」「効率的な都市経営の推進」である。

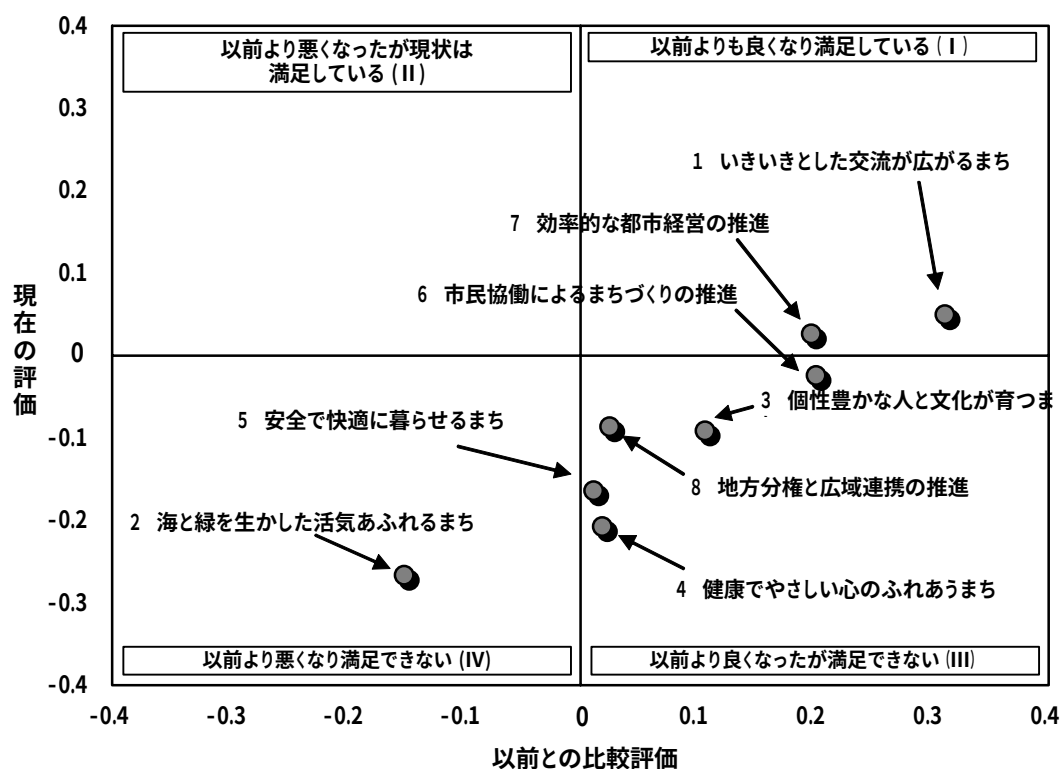
一方「海と緑を生かした活気あふれるまち」は、「以前と比べて」「現在の状況」とともに指標値がさらに悪化し、昨年度に引き続き「以前より悪くなり満足できない（Ⅳ）」に位置している。

上記以外の5項目は、全て「以前より良くなったが満足できない（Ⅲ）」に位置している。「市民協働によるまちづくりの推進」は、「現在の状況」の数値が前回調査よりやや悪化し、「以前よりも良くなり満足している（Ⅰ）」から「以前より良くなったが満足できない（Ⅲ）」に変わっている。その他の項目についても、指標値は悪化傾向にある。

図表 (IV) 1-20 総合評価に関する評価結果

総合評価の項目	今回調査 (平成19年度)			前回調査 (平成18年度)		
	以前と比べて	現在の状況	分類	以前と比べて	現在の状況	分類
1 いきいきとした交流が広がるまち	0.31	0.05	I	0.29	0.08	I
2 海と緑を生かした活気あふれるまち	-0.15	-0.27	IV	-0.04	-0.13	IV
3 個性豊かな人と文化が育つまち	0.11	-0.09	III	0.14	-0.03	III
4 健康でやさしい心のふれあうまち	0.02	-0.21	III	0.05	-0.18	III
5 安全で快適に暮らせるまち	0.01	-0.16	III	0.01	-0.15	III
6 市民協働によるまちづくりの推進	0.20	-0.02	III	0.23	0.02	I
7 効率的な都市経営の推進	0.20	0.03	I	0.22	0.07	I
8 地方分権と広域連携の推進	0.03	-0.09	III	0.06	-0.06	III

図表 (IV) 1-21 総合評価項目の散布図



② 総合評価と構成する個別評価結果の比較

それぞれの総合評価と個別の評価結果を比較した結果は以下のとおりである。

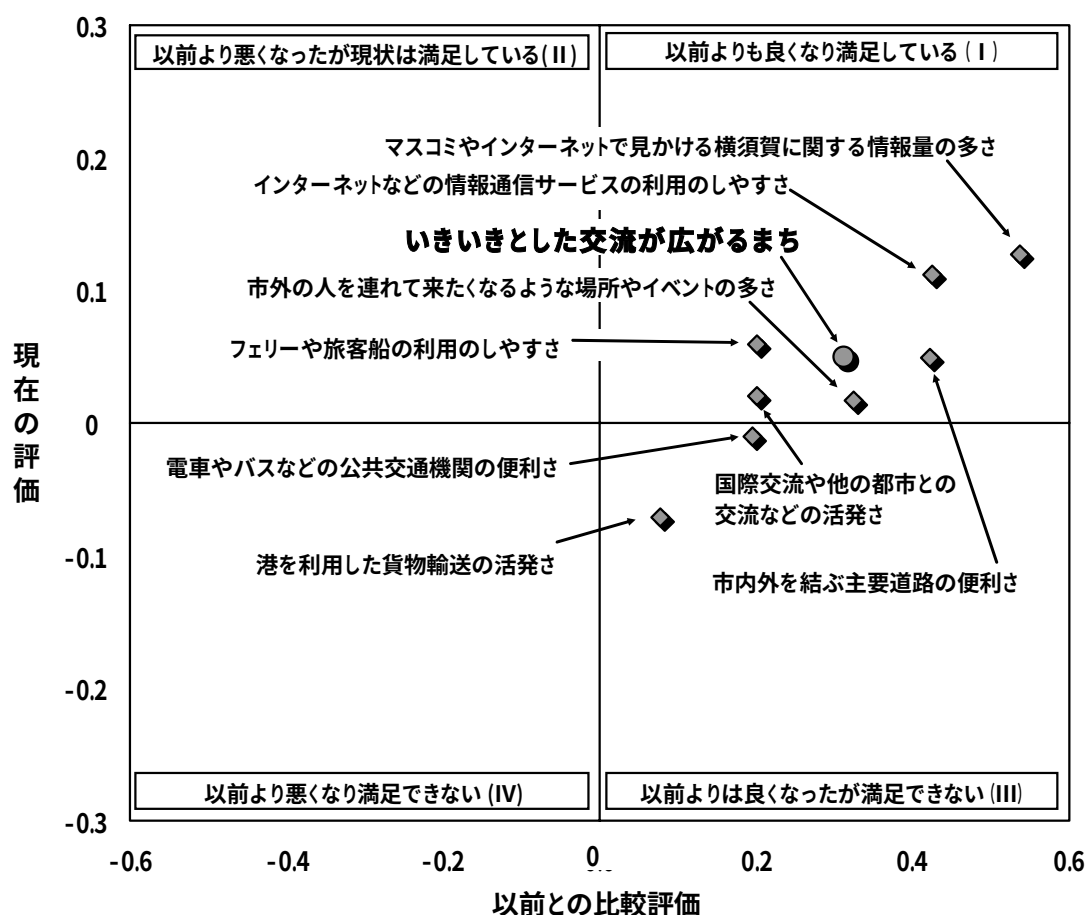
※「地方分権と広域連携の推進」は、総合評価のみであるため、比較はできない。

a) いきいきとした交流が広がるまち

総合評価は「以前よりもよくなり満足している（Ⅰ）」となっている。個別の施策評価8項目中6項目が「以前よりもよくなり満足している（Ⅰ）」に位置しており、総合評価と個別の施策評価はおおむね一致している。

「電車やバスなどの公共交通機関の便利さ」は、現在の評価がやや低下し「以前よりもよくなり満足している（Ⅰ）」から「以前よりは良くなったが満足できない（Ⅲ）」に変わっている。

図表（Ⅳ） 1-22 総合評価と個別評価の散布図「1 いきいきとした交流が広がるまち」

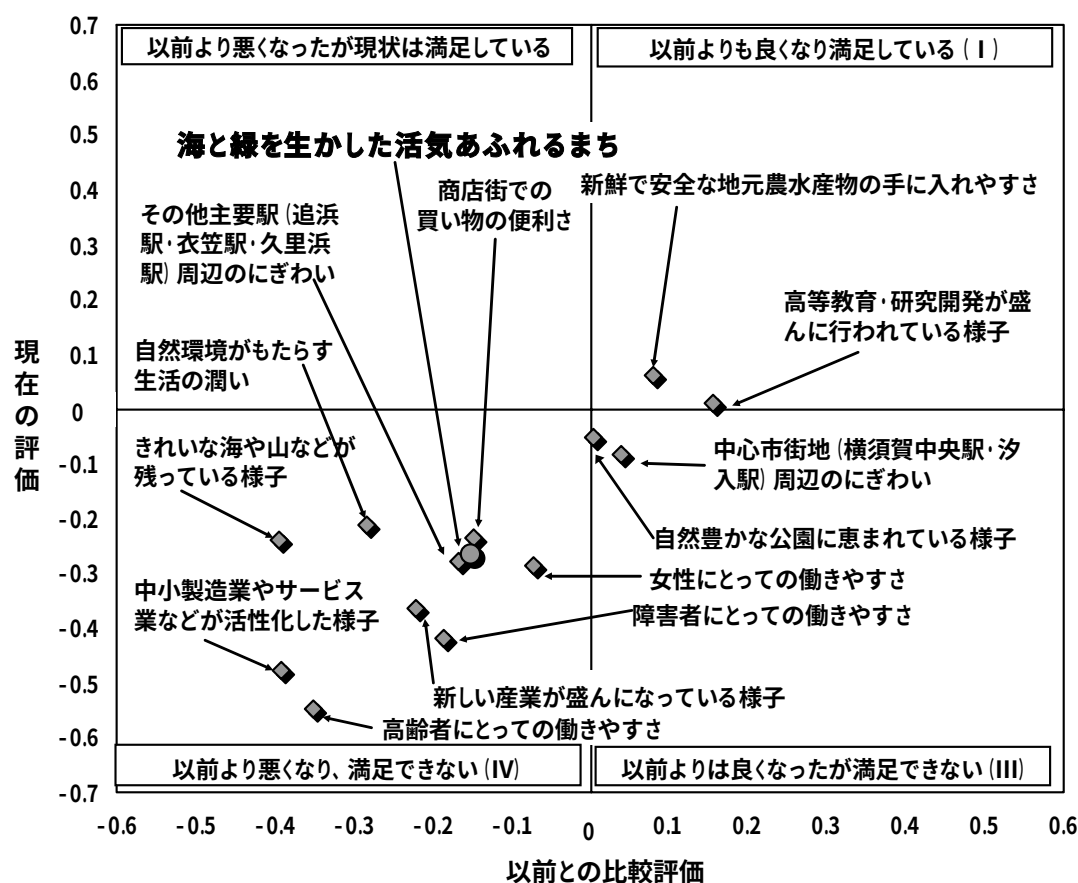


b) 海と緑を生かした活気あふれるまち

総合評価は「以前よりも悪くなり満足できない (IV)」となっている。個別の施策評価13項目中9項目が「以前よりも悪くなり満足できない (IV)」に位置しており、総合評価と個別の施策評価はおおむね一致している。

残り4項目のうち2項目は「以前よりもよくなり満足している (I)」に位置しているが「自然豊かな公園に恵まれている様子」「中心市街地 (横須賀中央駅・汐入駅) 周辺のにぎわい」は、「以前よりもよくなり満足している (I)」から「以前よりは良くなったが満足できない (III)」に変わっている。

図表 (IV) 1-23 総合評価と個別評価の散布図「2 海と緑を生かした活気あふれるまち」

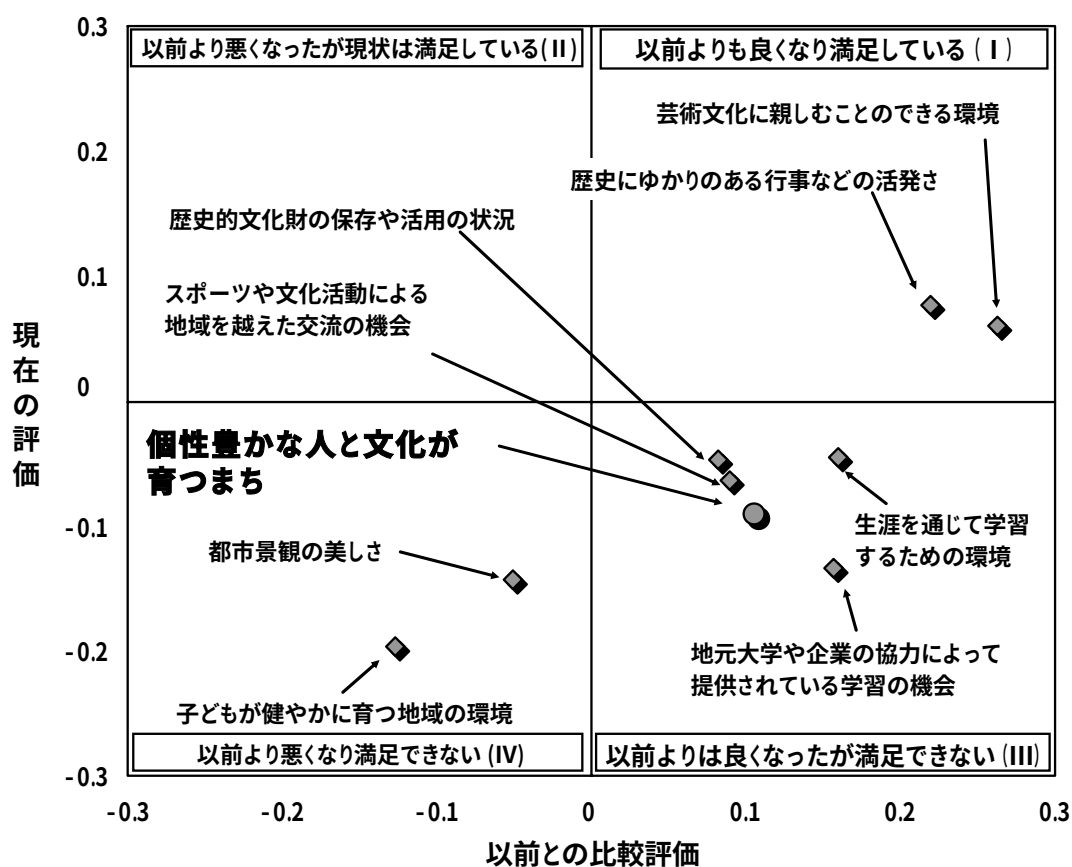


c) 個性豊かな人と文化が育つまち

総合評価は「以前よりは良くなったが満足できない (Ⅲ)」となっている。個別の施策評価8項目中4項目が「以前よりは良くなったが満足できない (Ⅲ)」に位置しているが、「以前よりもよくなり満足している (Ⅰ)」「以前より悪くなり満足できない (Ⅳ)」に2項目ずつ位置しており、個別評価が分散している。

また「歴史的文化財の保存や活用の状況」が「以前よりもよくなり満足している (Ⅰ)」から「以前よりは良くなったが満足できない (Ⅲ)」へ、「都市景観の美しさ」が「以前よりは良くなったが満足できない (Ⅲ)」から「以前より悪くなり満足できない (Ⅳ)」に変わっている。

図表 (Ⅳ) 1-24 総合評価と個別評価の散布図「3 個性豊かな人と文化が育つまち」



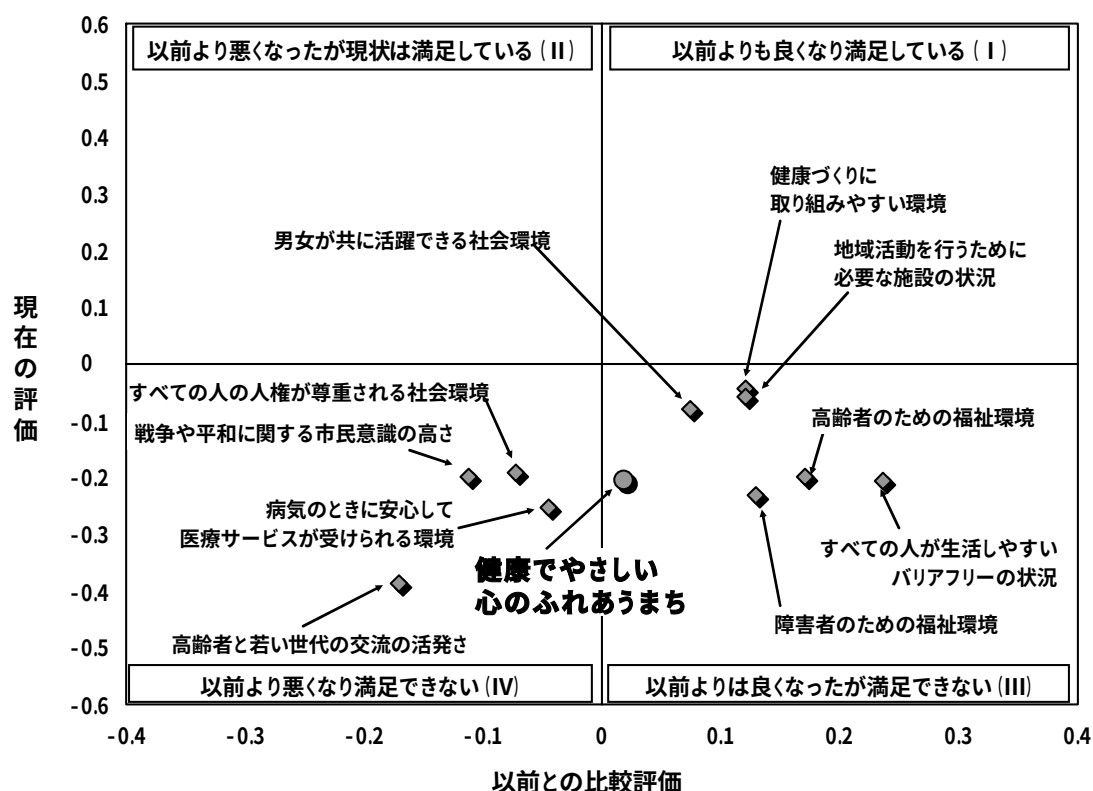
d) 健康でやさしい心のふれあうまち

総合評価は「以前よりは良くなったが満足できない (Ⅲ)」となっている。個別の施策評価 10 項目中 6 項目が「以前よりは良くなったが満足できない (Ⅲ)」に位置しているが、「以前より悪くなり満足できない (Ⅳ)」にも 4 項目位置している。

総合評価は「以前よりは良くなったが満足できない (Ⅲ)」に位置しているが、以前との比較評価の指標値は 0 に近く、総合評価と個別の施策評価はおおむね一致している。

また「病気のときに安心して医療サービスが受けられる環境」が「以前よりは良くなったが満足できない (Ⅲ)」から「以前より悪くなり満足できない (Ⅳ)」に変わっている。

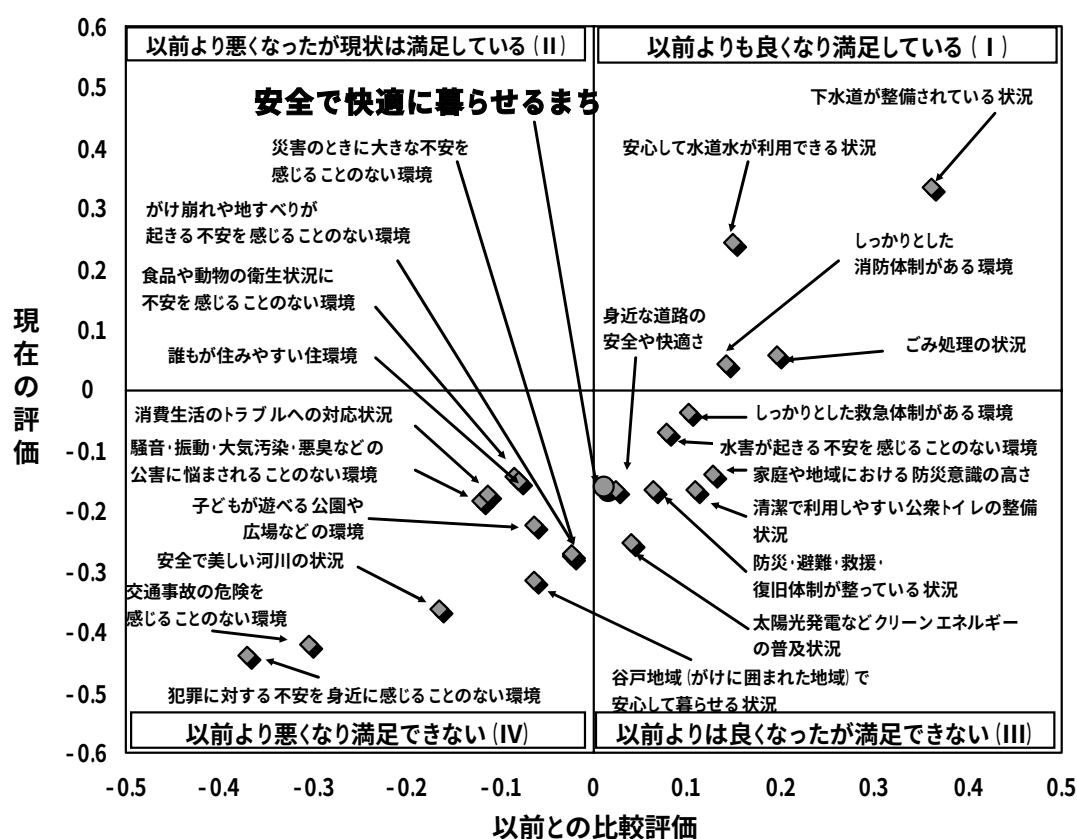
図表 (Ⅳ) 1-25 総合評価と個別評価の散布図「4 健康でやさしい心のふれあうまち」



e) 安全で快適に暮らせるまち

総合評価は「以前よりは良くなったが満足できない(Ⅲ)」となっている。個別の施策評価 22 項目中 7 項目が「以前よりは良くなったが満足できない(Ⅲ)」に位置しているが、これより多い 11 項目が「以前より悪くなり満足できない(Ⅳ)」、4 項目が「以前より良くなり満足している (Ⅰ)」に位置しており、個別の施策評価は分散している。

図表 (Ⅳ) 1-26 総合評価と個別評価の散布図「5 安全で快適に暮らせるまち」

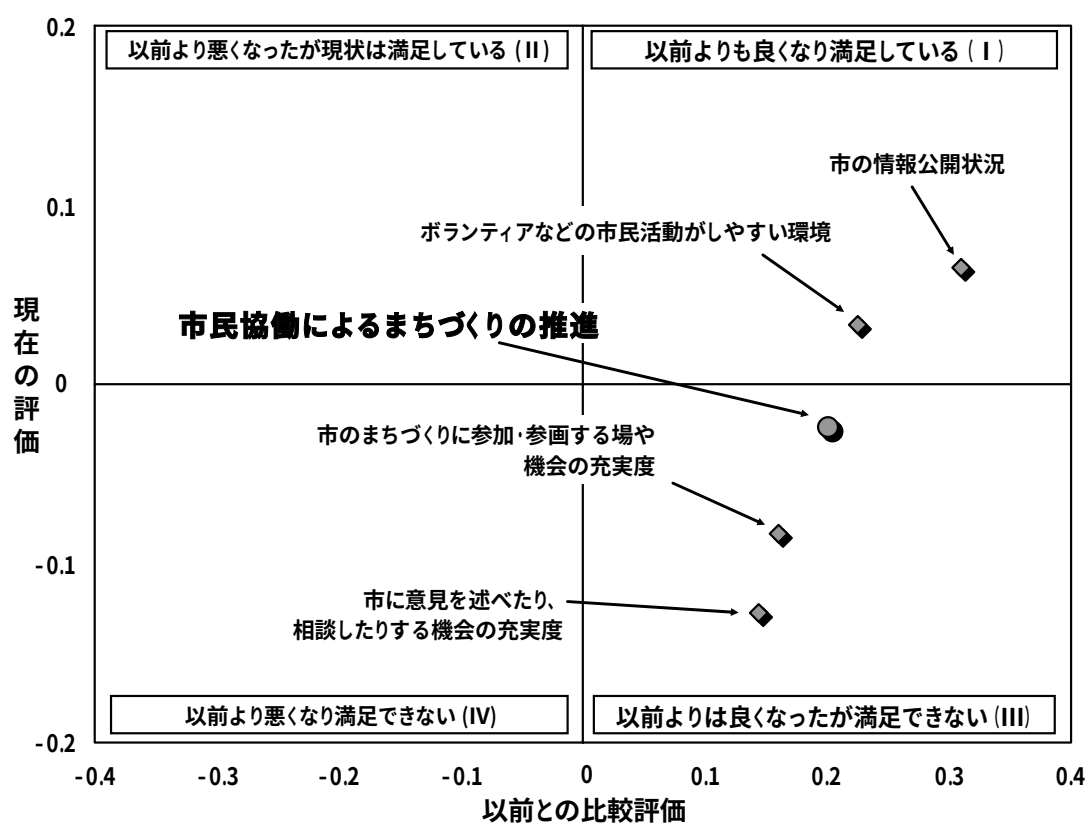


f) 市民協働によるまちづくりの推進

総合評価は「以前よりは良くなったが満足できない(Ⅲ)」となっている。個別の施策評価4項目中2項目が「以前よりは良くなったが満足できない(Ⅲ)」に位置しており、「以前より良くなり満足している(Ⅰ)」に位置している2項目も現在の評価の値が小さいことから、総合評価と個別評価はおおむね一致している。

なお、総合評価は「現在の状況」の数値がやや悪化し、「以前よりも良くなり満足している(Ⅰ)」から「以前より良くなったが満足できない(Ⅲ)」に変わっている。

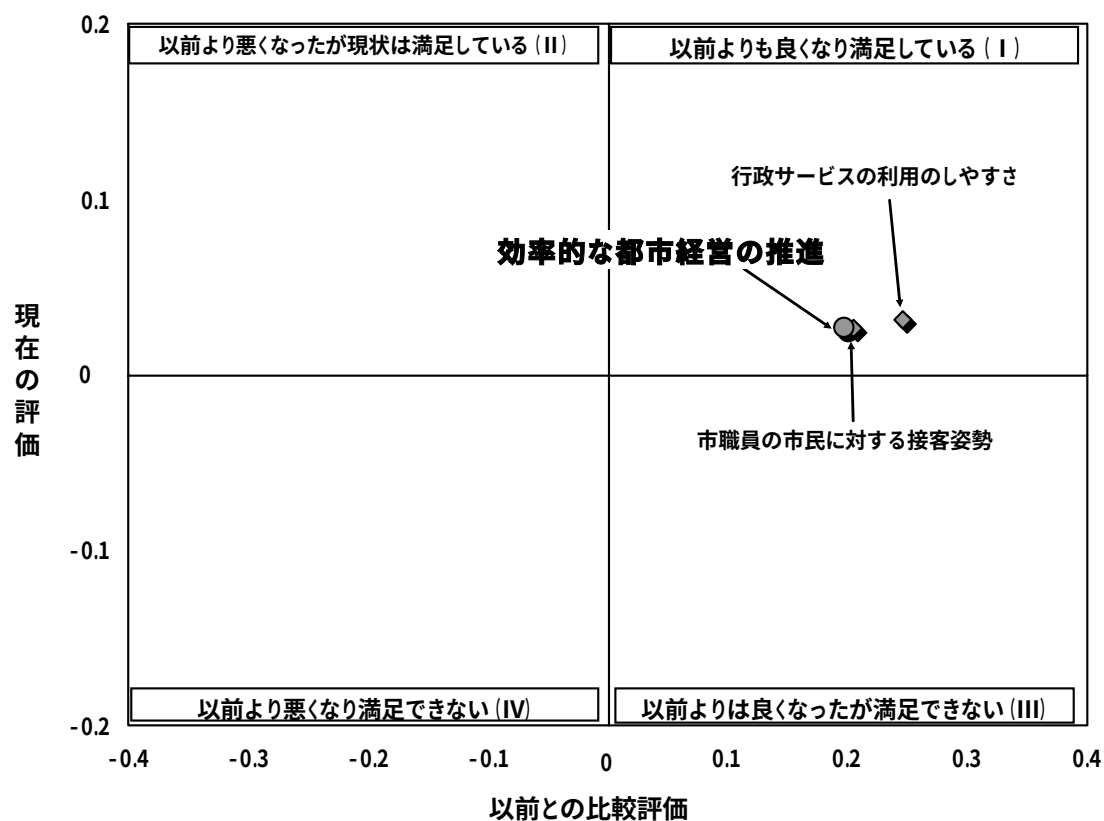
図表(Ⅳ) 1-27 総合評価と個別評価の散布図「6 市民協働によるまちづくりの推進」



g) 効率的な都市経営の推進

総合評価は「以前よりも良くなり満足している（Ⅰ）」となっており、個別の施策評価2項目も同一の分類に位置している。

図表（Ⅳ）1－28 総合評価と個別評価の散布図「7 効率的な都市経営の推進」



図表 (IV) 1-29 「以前との比較」「現在の評価」からみた各項目の位置づけ

以前よりも良くなり 満足している (I) [20項目]	1. マスコミやインターネットで見かける横須賀に関する情報量の多さ 2. 国際交流や他の都市との交流などの活発さ 3. 市外の人を連れて来たいような場所やイベントの多さ 4. フェリーや旅客船の利用のしやすさ 6. 市内外を結ぶ主要道路の便利さ 8. インターネットなどの情報通信サービスの利用のしやすさ 9. いきいきとした交流が広がるまち<総合評価> 13. 新鮮で安全な地元農水産物の手に入れやすさ 14. 高等教育・研究開発が盛んに行われている様子 28. 歴史にゆかりのある行事などの活発さ 30. 芸術文化に親しむことのできる環境 50. しっかりとした消防体制がある環境 57. 安心して水道水が利用できる状況 58. 下水道が整備されている状況 63. ごみ処理の状況 67. 市の情報公開状況 69. ボランティアなどの市民活動がしやすい環境 72. 市職員の市民に対する接客姿勢 73. 行政サービスの利用のしやすさ 74. 効率的な都市経営の推進<総合評価>
以前よりは良くなったが 満足できない (III) [28項目]	5. 港を利用した貨物輸送の活発さ 7. 電車やバスなどの公共交通機関の便利さ 12. 自然豊かな公園に恵まれている様子 20. 中心市街地 (横須賀中央駅・汐入駅) 周辺のにぎわい 25. 生涯を通じて学習するための環境 26. スポーツや文化活動による地域を越えた交流の機会 27. 地元大学や企業の協力によって提供される学習の機会 29. 歴史的文化財の保存や活用の状況 32. 個性豊かな人と文化が育つまち<総合評価> 34. 男女が共に活躍できる社会環境 36. すべての人が生活しやすいバリアフリーの状況 37. 高齢者のための福祉環境 38. 障害者のための福祉環境 40. 健康づくりに取り組みやすい環境 41. 地域活動を行うために必要な施設の状況 43. 健康でやさしい心のふれあうまち<総合評価> 46. 水害が起きる不安を感じることはない環境 48. 家庭や地域における防災意識の高さ 49. 防災・避難・救援・復旧体制が整っている状況 51. しっかりとした救急体制がある環境 59. 身近な道路の安全や快適さ 64. 清潔で利用しやすい公衆トイレの整備状況 65. 太陽光発電などクリーンエネルギーの普及状況 66. 安全で快適に暮らせるまち<総合評価> 68. 市に意見を述べたり、相談したりする機会の充実度 70. 市のまちづくりに参加・参画する場や機会の充実度 71. 市民協働によるまちづくりの推進<総合評価> 75. 地方分権と広域連携の推進状況<総合評価>

以前よりも悪くなり 満足できない (IV) [27項目]	10. きれいな海や山などが残っている様子 11. 自然環境がもたらす生活の潤い 15. 新しい産業が盛んになっている様子 16. 中小製造業やサービス業などが活性化した様子 17. 高齢者にとっての働きやすさ 18. 障害者にとっての働きやすさ 19. 女性にとっての働きやすさ 21. その他主要駅 (追浜駅・衣笠駅・久里浜駅) 周辺のにぎわい 22. 商店街での買い物の便利さ 23. 海と緑を生かした活気あふれるまち<総合評価> 24. 子どもが健やかに育つための地域の環境 31. 都市景観の美しさ 33. 戦争や平和に関する市民意識の高さ 35. すべての人の人権が尊重される社会環境 39. 病気のときに安心して医療サービスが受けられる環境 42. 高齢者と若い世代の交流の活発さ 44. 災害のときに大きな不安を感じることはない環境 45. がけ崩れや地すべりが起きる不安を感じることはない環境 47. 谷戸地域 (がけに囲まれた地域) で安心して暮らせる状況 52. 騒音・振動・大気汚染・悪臭などの公害に悩まされることはない環境 53. 犯罪に対する不安を身近に感じることはない環境 54. 交通事故の危険を感じることはない環境 55. 消費生活のトラブルへの対応状況 56. 食品や動物の衛生状況に不安を感じることはない環境 60. 子どもが遊べる公園や広場などの環境 61. 安全で美しい河川の状況 62. だれもが住みやすい住環境
--	---

以前より悪くなったが 現状は満足している (II) [0項目]	該当なし
---	-------------

③ 前回調査（平成 18 年度）との比較

前回調査と設問項目に変化はなく、全 75 項目のうち位置づけが変化した項目は以下のとおりである。

前回と比較して、5 項目が「Ⅰ」から「Ⅲ」に、2 項目が「Ⅲ」から「Ⅳ」に変わっており、全体として評価は厳しくなっている。

図表（Ⅳ） 1－30 前回調査（平成 18 年度）との比較

	18年度	19年度
	25項目	(Ⅰ) 20項目
以前よりも良くなり 満足している(Ⅰ)	 	(Ⅲ) 5項目 7. 電車やバスなどの公共交通機関の便利さ 12. 自然豊かな公園に恵まれている様子 20. 中心市街地（横須賀中央駅・汐入駅）周辺のにぎわい 29. 歴史的文化財の保存や活用の状況 71. 市民協働によるまちづくりの推進＜総合評価＞
以前より悪くなったが 現状は満足している(Ⅱ)	18年度	19年度
	0項目	0項目
	18年度	19年度
	25項目	(Ⅲ) 23項目
以前よりは良くなったが 満足できない(Ⅲ)	 	(Ⅳ) 2項目 31. 都市景観の美しさ 39. 病気のときに安心して医療サービスが受けられる環境
	18年度	19年度
	25項目	(Ⅳ) 25項目
以前より悪くなり 満足できない(Ⅳ)		

2 施策の優先度（問2）

横須賀市が優先的に取り組むべきと考える項目を、グループごとに1つずつ選んで番号を回答紙に記入してください。

問2 調査票イメージ（一部抜粋）

※実際の調査票は、P82 参照

グループ1

いきいきとした交流が広がるまち

- (1) マスコミやインターネットを通じて得られる横須賀に関する情報量を多くすること
- (2) 国際交流や他の都市との交流などを活発にすること
- (3) 市外の人を連れて来たくなるような場所やイベントを多くすること
- (4) フェリーや旅客船を利用しやすくすること
- (5) 港を利用した貨物輸送を活発にすること
- (6) 市内外を結ぶ主要道路を便利にすること
- (7) 電車やバスなどの公共交通機関を便利にすること
- (8) インターネットなどの情報通信サービスを利用しやすくすること

(1) 施策の優先度 調査結果

前回調査に引き続き「きれいな海や山などを残していくこと」「子どもが健やかに育つ地域の環境を充実させること」「病気のときに安心して医療サービスが受けられるようにすること」の優先度は、大柱ごとのグループの中で突出して高くなっている。

その他の大柱では「電車やバスなどの公共交通機関を便利にすること」「犯罪に対する不安を身近に感じることはない環境にすること」「市に意見を述べたり、相談したりする機会を充実させること」「行政サービスをより利用しやすくすること」の優先度が高くなっている。

図表（IV）2-1 各施策の大柱（グループ）で最も優先度の高い項目

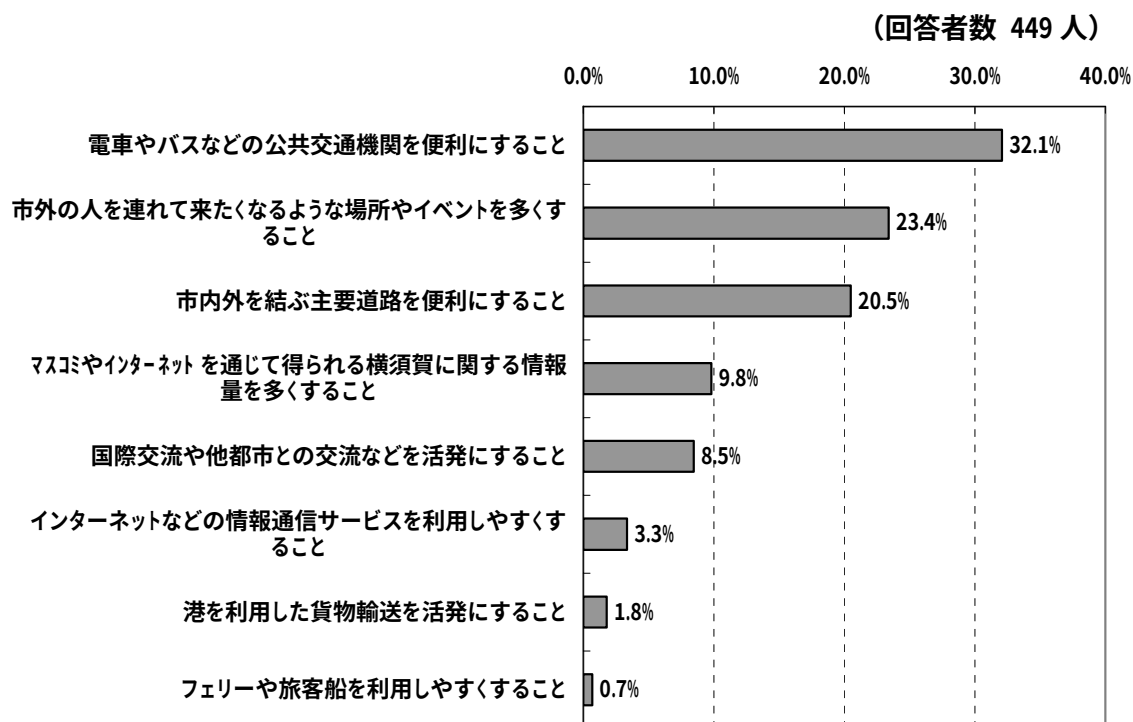
施策の大柱	項目	回答率
1 いきいきとした交流が広がるまち	7. 電車やバスなどの公共交通機関を便利にすること	32.1%
2 海と緑を生かした活気あふれるまち	10. きれいな海や山などを残していくこと	40.3%
3 個性豊かな人と文化が育つまち	24. 子どもが健やかに育つための地域の環境を充実させること	43.7%
4 健康でやさしい心のふれあいまち	39. 病気のときに安心して医療サービスが受けられるようにすること	34.9%
5 安全で快適に暮らせるまち	53. 犯罪に対する不安を身近に感じることはない環境にすること	24.3%
6 市民協働によるまちづくりの推進	68. 市に意見を述べたり、相談したりする機会を充実させること	45.6%
7 効率的な都市経営の推進	73. 行政サービスをより利用しやすくすること	72.4%

注）大柱8については、項目数が1問のため、優先度の設問を設定していない。

a) いきいきとした交流が広がるまち

「電車やバスなどの公共交通機関を便利にすること」(32.1%)「市外の人を連れて来たいくなるような場所やイベントを多くすること」(23.4%)の優先度が高くなっており、前回調査でもこれらの項目が上位に挙げられている。

図表 (IV) 2-2 優先すべき項目 「1 いきいきとした交流が広がるまち」

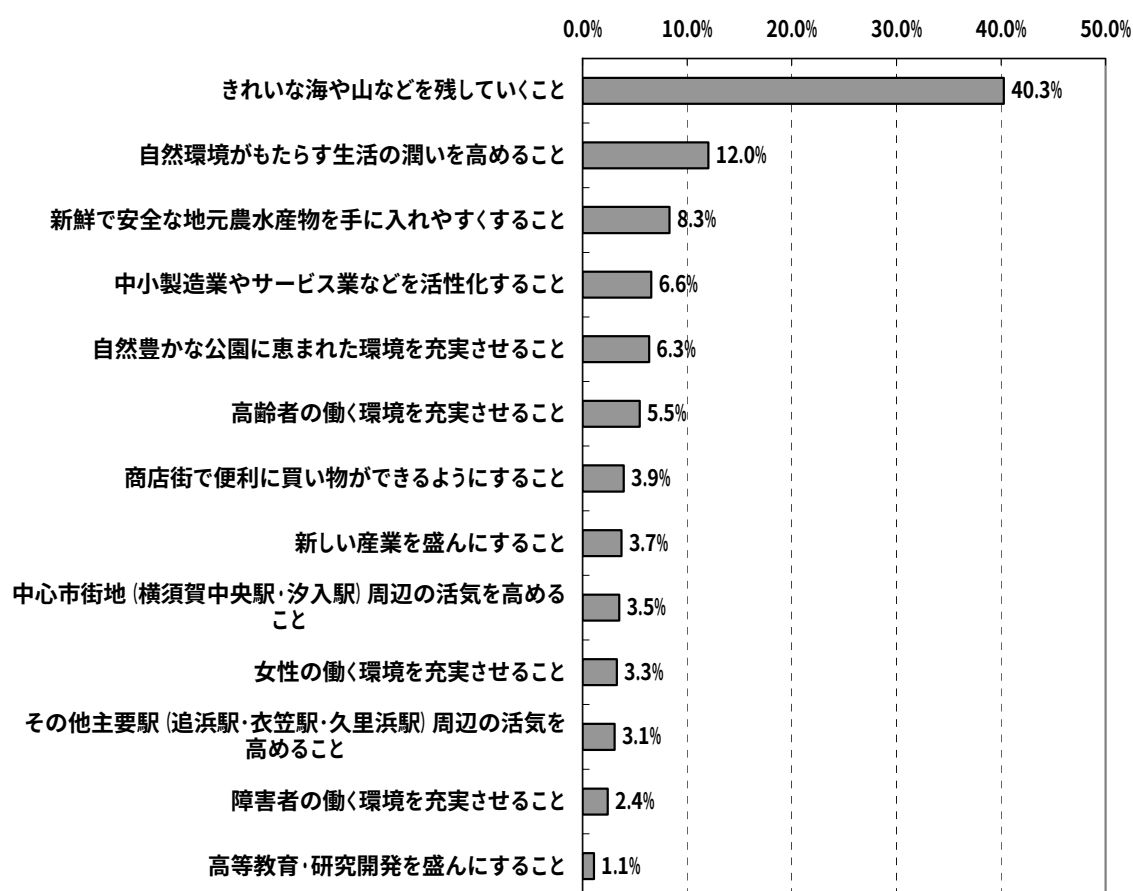


b) 海と緑を生かした活気あふれるまち

前回調査と同様に「きれいな海や山を残していくこと」が 40.3%と突出して高く「自然環境がもたらす生活の潤いを高めること」(12.0%)とともに、自然環境に関する項目が上位に位置している。

図表 (IV) 2-3 優先すべき項目 「2 海と緑を生かした活気あふれるまち」

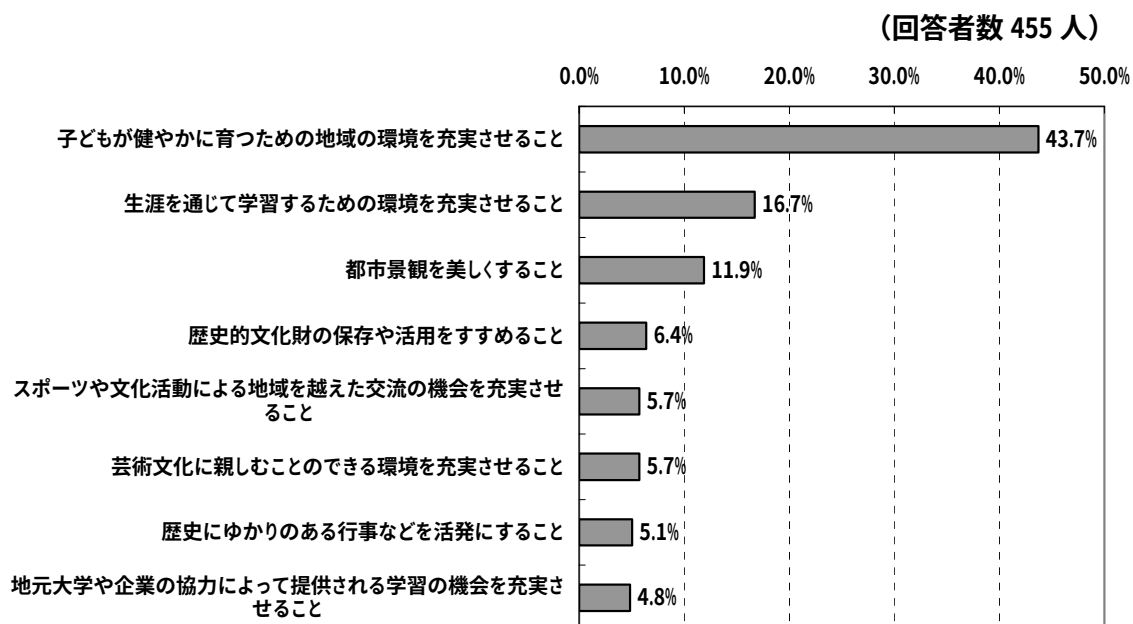
(回答者数 457 人)



c) 個性豊かな人と文化が育つまち

前回調査と同様に「子どもが健やかに育つ地域の環境を充実させること」が 43.7%と突出して高い。これに次いで「生涯を通じて学習するための環境を充実させること」(16.7%)、「都市景観を美しくすること」(11.9%) となっている。

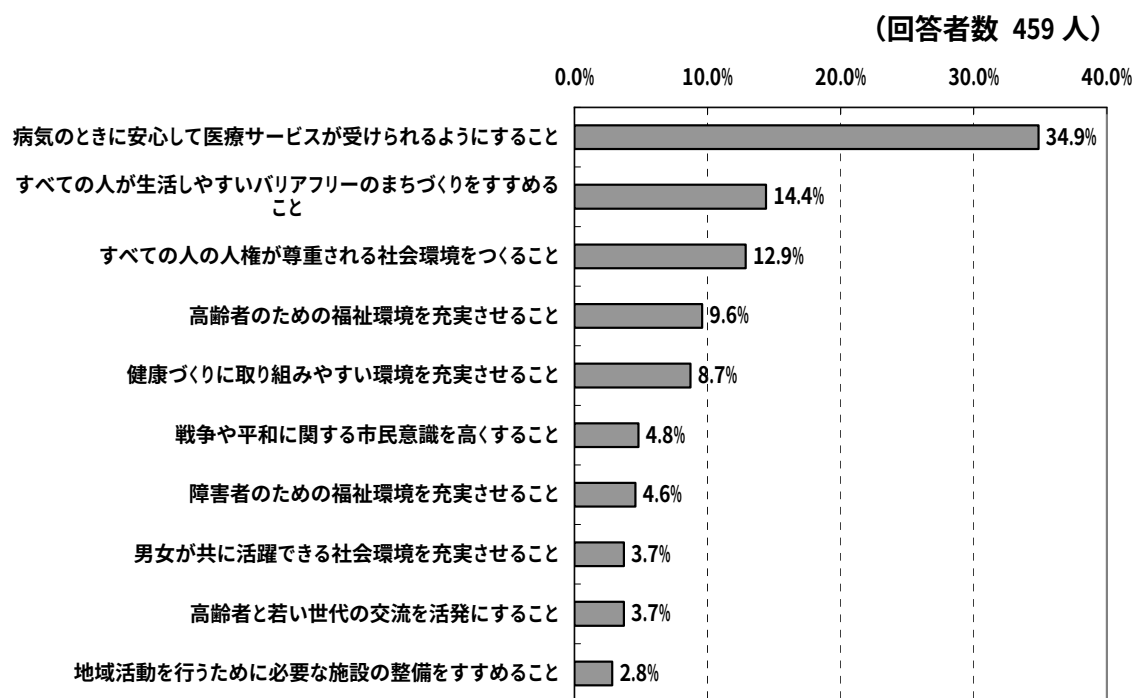
図表 (IV) 2-4 優先すべき項目 「3 個性豊かな人と文化が育つまち」



d) 健康でやさしい心のふれあうまち

前回調査と同様に「病気のときに安心して医療サービスが受けられるようにすること」が 34.9%と、他と比較しても非常に高い。これに次いで「すべての人が生活しやすいバリアフリーのまちづくりをすすめること」(14.4%)「すべての人の人権が尊重される社会環境をつくること」(12.9%)となっている。

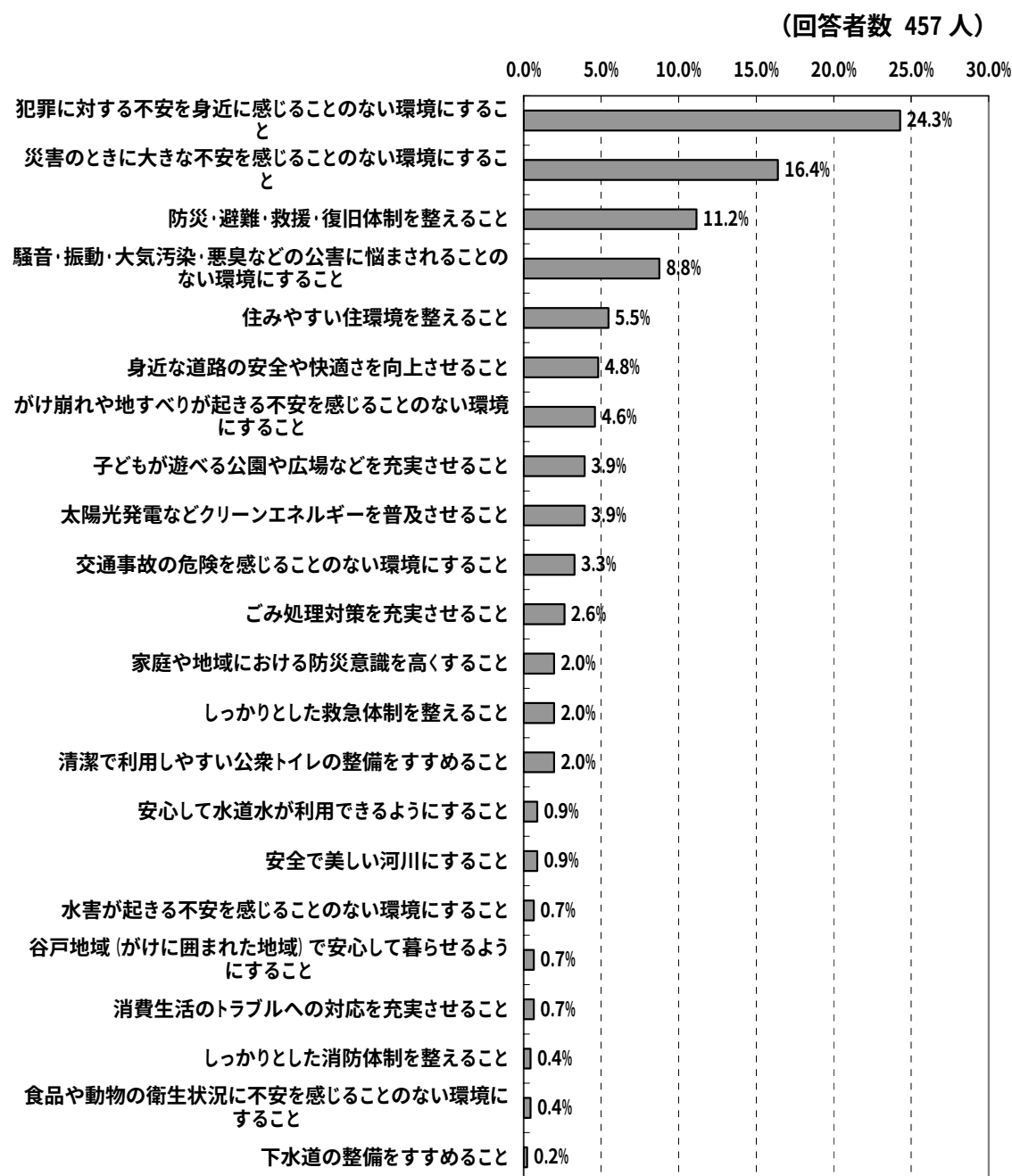
図表 (IV) 2-5 優先すべき項目 「4 健康でやさしい心のふれあうまち」



e) 安全で快適に暮らせるまち

「犯罪に対する不安を身近に感じることもない環境にすること」が24.3%と最も高く、これに次いで「災害のときに大きな不安を感じることもない環境にすること」(16.4%)「防災・避難・救援・復旧体制を整えること」(11.2%)となっており、治安対策や自然災害対策に対する期待が高いことが伺える。

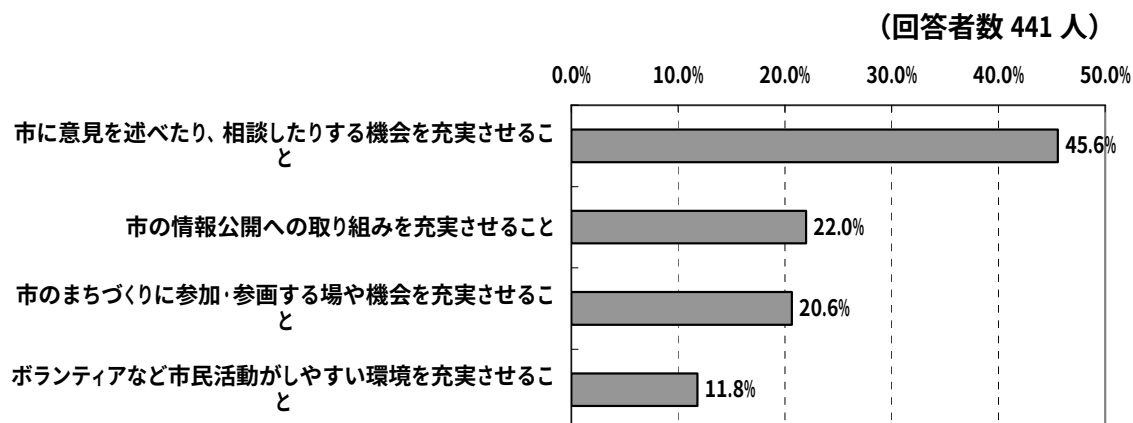
図表 (IV) 2-6 優先すべき項目 「5 安全で快適に暮らせるまち」



f) 市民協働によるまちづくりの推進

「市に意見を述べたり、相談したりする機会を充実させること」が 45.6%と突出しており、次いで「市の情報公開への取り組みを充実させること」（22.0%）となっている。

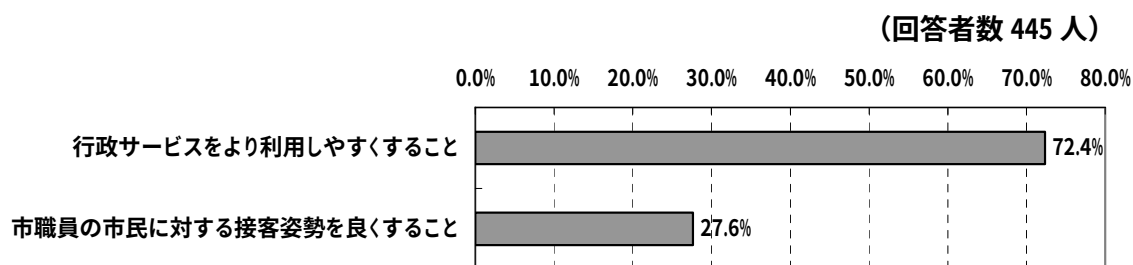
図表（IV）2-7 優先すべき項目 「6 市民協働によるまちづくりの推進」



g) 効率的な都市経営の推進

大柱7については項目が2項目しかないが「行政サービスをより利用しやすくすること」が72.4%と「市職員の市民に対する接客姿勢を良くすること」（27.6%）を圧倒している。

図表（IV）2-8 優先すべき項目 「7 効率的な都市経営の推進」



※大柱8については、項目数が1問のため、優先度の設問を設定していない。

(2) 満足度と優先度の関係

個別の質問項目について、満足度（現在の状況について）と施策の優先度の関係性を評価対象とした。

なお、各項目は、以下の通り、数値化して評価を試みた。

<数値化の方法>

満足度は、「良い」1点、「どちらともいえない」0点、「悪い」－1点とし、各回答数を乗じた数値を合計し、総回答数で除した数値に100を乗じて数値化した。

(例)

現在の状況についてのある質問項目の結果、「良い」と回答した人が200人、「どちらともいえない」と回答した人が200人、「悪い」と回答した人が100人（総回答数500）であった場合、

満足度＝ $\{1 \times 200 + 0 \times 200 + (-1) \times 100\} \div 500 \times 100 = 20$ となる。

優先度については、1番目に優先すべきとした回答割合（％）に100を乗じて数値化した。

なお、大柱に含まれる各項目の優先度を平均で算出した数値を「平均優先度」として優先度の高低の基準としている。

また、評価にあたっては、現在の状況の満足度のプラス・マイナス（＋－）、優先度と平均優先度との大小関係により、「現在の満足度は高いが、他の項目と比べた優先度も高い（Ⅰ）」「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い（Ⅱ）」「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い（Ⅲ）」「現在の満足度は低いが、他の項目と比べた優先度も低い（Ⅳ）」に分類して行った。

図表（Ⅳ） 2-9 満足度と優先度による分類類型

現在の満足度は高いが、他の項目と比べた優先度も高い（Ⅰ）	現在の状況 プラス（＋） 優先度＞平均優先度
現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い（Ⅱ）	現在の状況 プラス（＋） 優先度＜平均優先度
現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い（Ⅲ）	現在の状況 マイナス（－） 優先度＞平均優先度
現在の満足度は低いが、他の項目と比べた優先度も低い（Ⅳ）	現在の状況 プラス（－） 優先度＜平均優先度

注）優先度の数値は、設問の中で優先度が高いものを選択する方式のため、全てプラスの数値となっている。

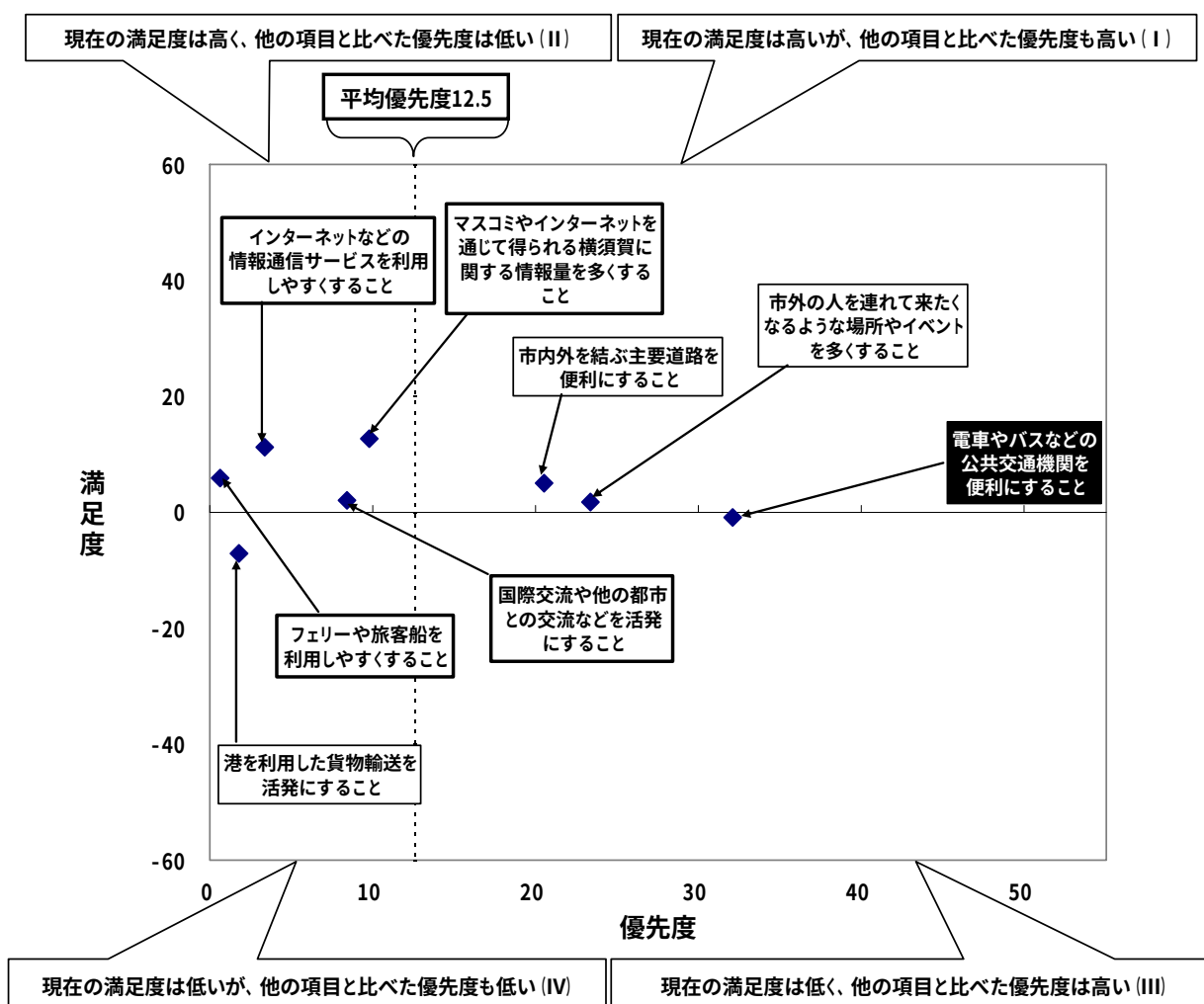
○満足度と優先度からみた大柱ごとの評価

a) いきいきとした交流が広がるまち

8項目中4項目が「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い（Ⅱ）」に位置しており、最も多くなっている。「現在の満足度は高いが、他の項目と比べた優先度も高い（Ⅰ）」に2項目が位置しているほか「電車やバスなどの公共交通機関を便利にすること」は「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い（Ⅲ）」となっている。

「港を利用した貨物輸送を活発にすること」は「現在の満足度は低い、他の項目と比べた優先度も低い（Ⅳ）」に位置している。

図表（Ⅳ）2-10 満足度と優先度の散布図「1 いきいきとした交流が広がるまち」



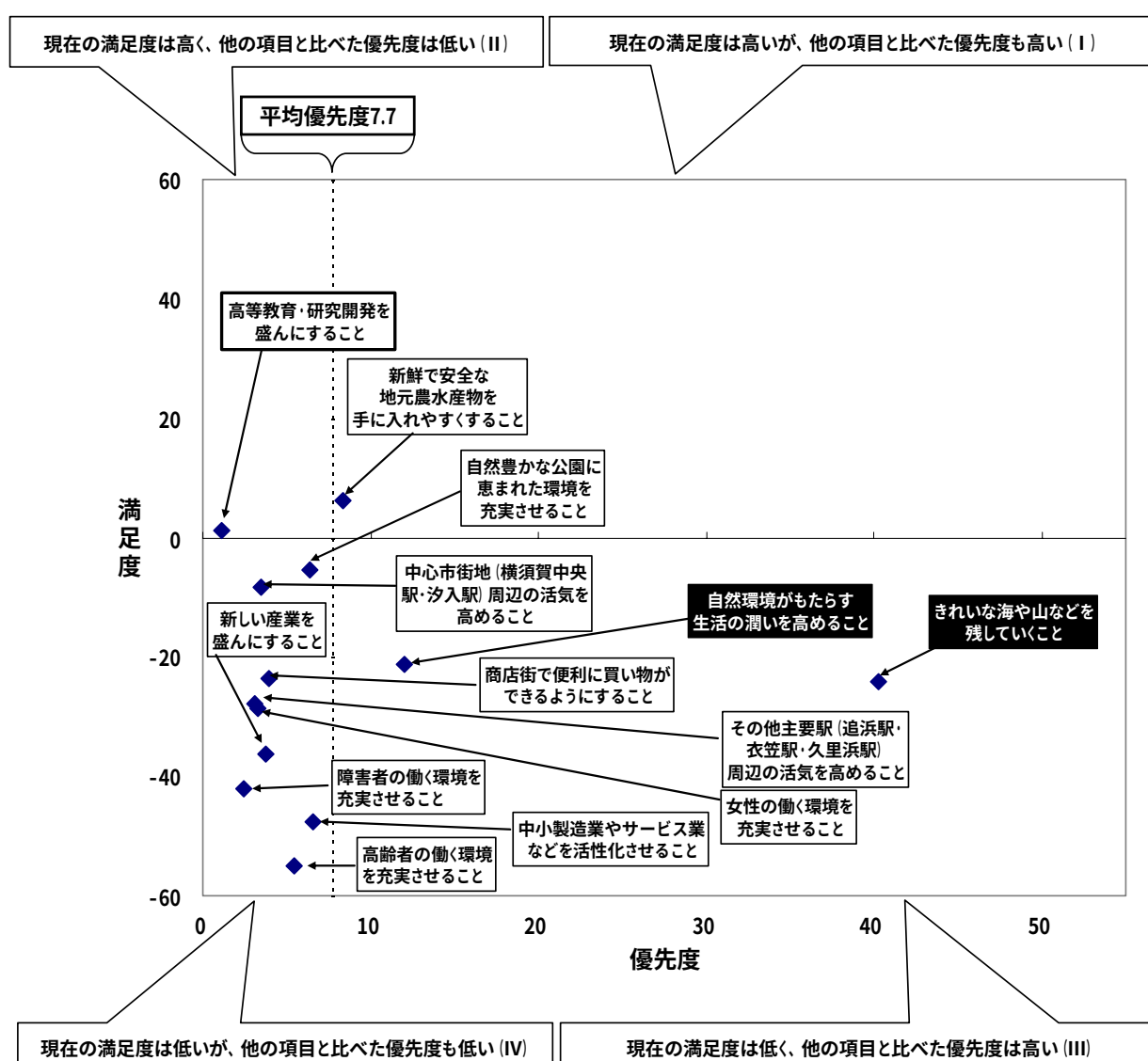
※太枠は分類Ⅱ「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、塗りつぶしは分類Ⅲ「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

b) 海と緑を生かした活気あふれるまち

13 項目中 9 項目が「現在の満足度は低い、他の項目と比べた優先度も低い (IV)」に位置しており、最も多くなっている。

「きれいな海や山などを残していくこと」「自然環境がもたらす生活の潤いを高めること」の 2 項目が「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い (III)」となり、「高等教育・研究開発を盛んにすること」は「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い (II)」に位置している。

図表 (IV) 2-11 満足度と優先度の散布図「2 海と緑を生かした活気あふれるまち」



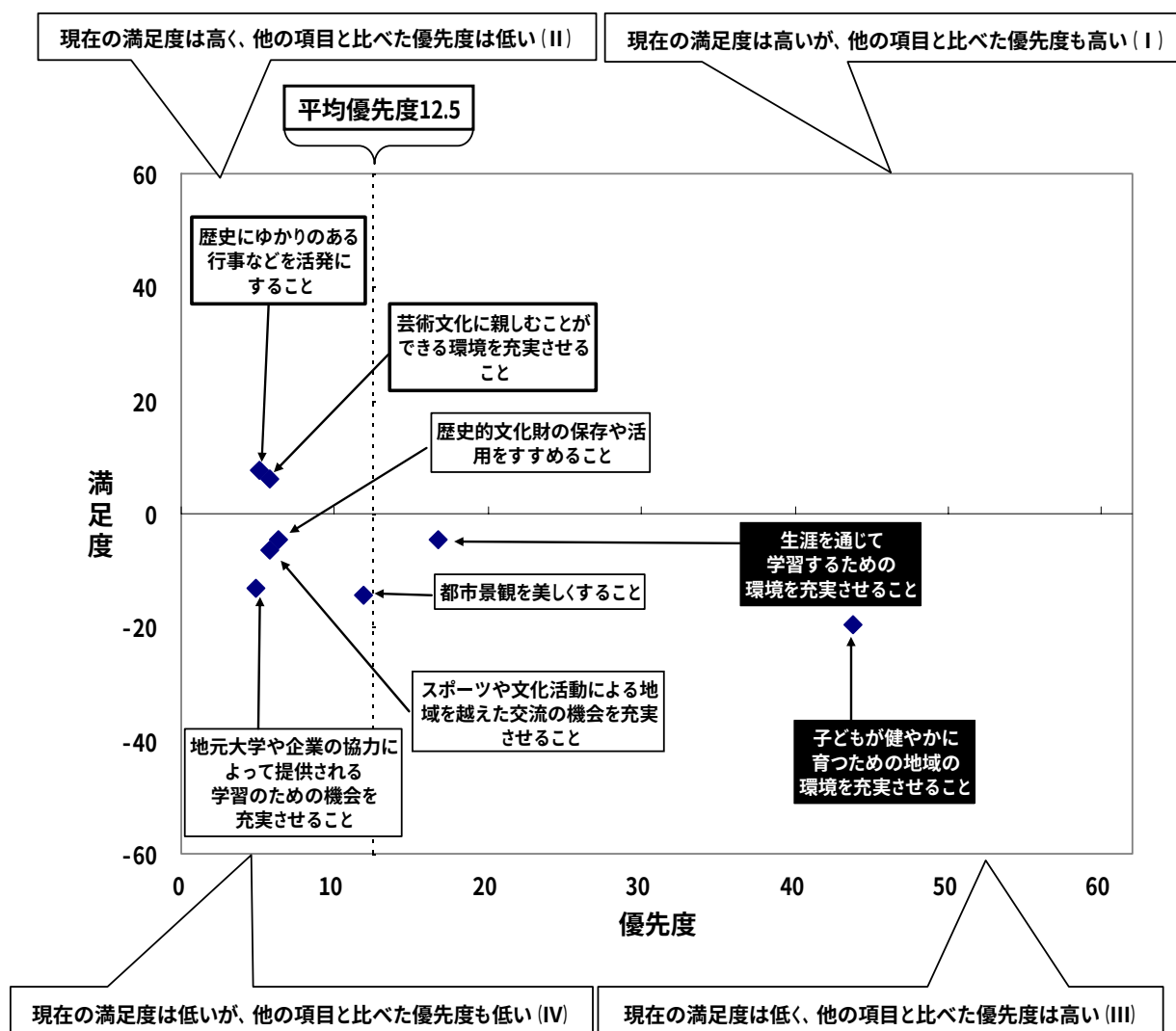
※太枠は分類II「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、塗りつぶしは分類III「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

c) 個性豊かな人と文化が育つまち

8項目中4項目が「現在の満足度は低い、他の項目と比べた優先度も低い（Ⅳ）」に位置しており、最も多くなっている。

「子どもが健やかに育つための地域の環境を充実させること」「生涯を通じて学習するための環境を充実させること」の2項目が「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い（Ⅲ）」となっており、「歴史にゆかりのある行事などを活発にすること」「芸術文化に親しむことができる環境を充実させること」は「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い（Ⅱ）」に位置している。

図表（Ⅳ） 2-12 満足度と優先度の散布図「3 個性豊かな人と文化が育つまち」



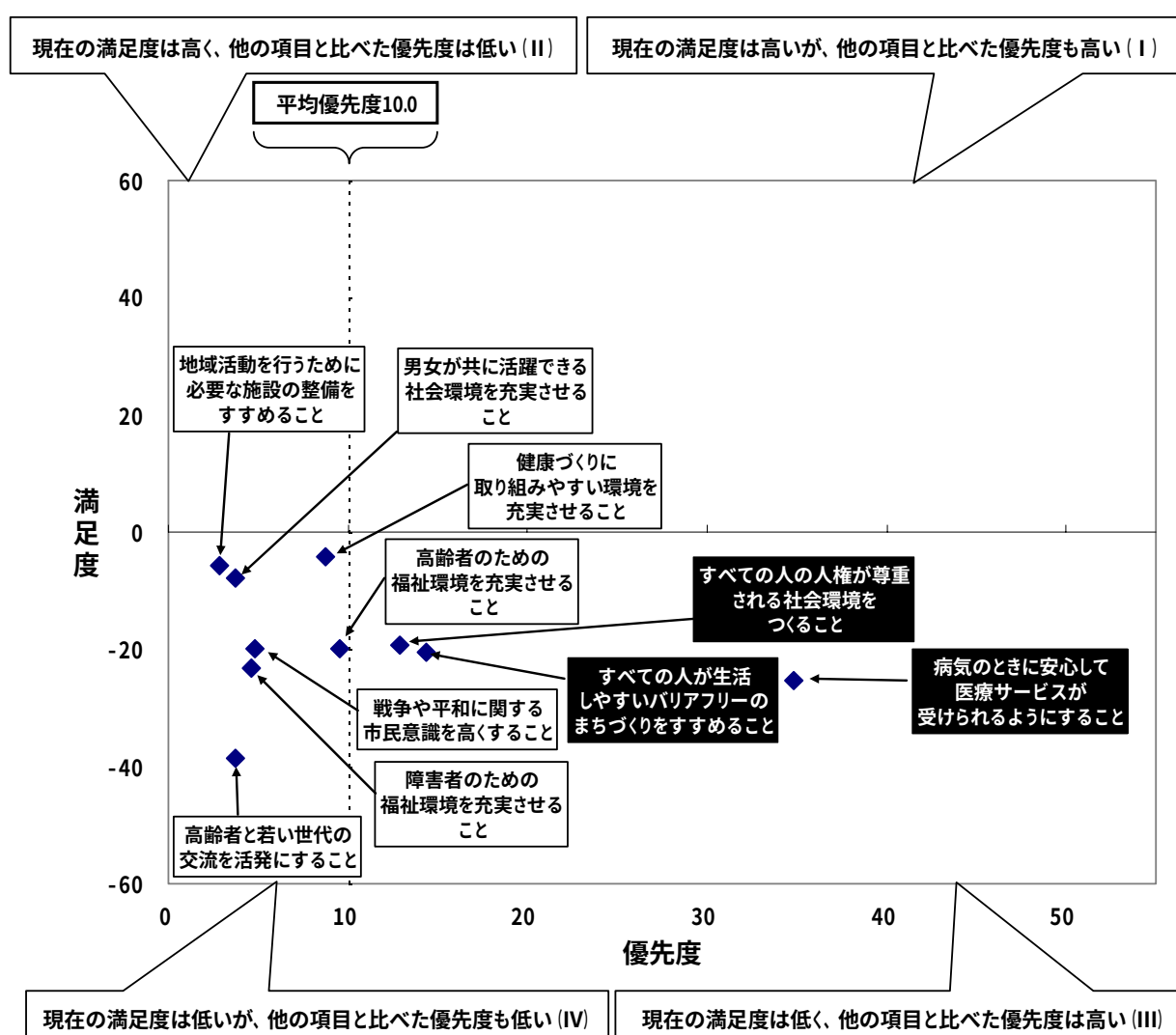
※太枠は分類Ⅱ「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、塗りつぶしは分類Ⅲ「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

d) 健康でやさしい心のふれあうまち

10 項目中 7 項目が「現在の満足度は低い、他の項目と比べた優先度も低い (IV)」に位置しており、最も多くなっている。

また「病気のときに安心して医療サービスが受けられるようにすること」「すべての人が生活しやすいバリアフリーのまちづくりをすすめること」「すべての人の人権が尊重される社会環境をつくること」は「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い (III)」に位置している。

図表 (IV) 2-13 満足度と優先度の散布図「4 健康でやさしい心のふれあうまち」

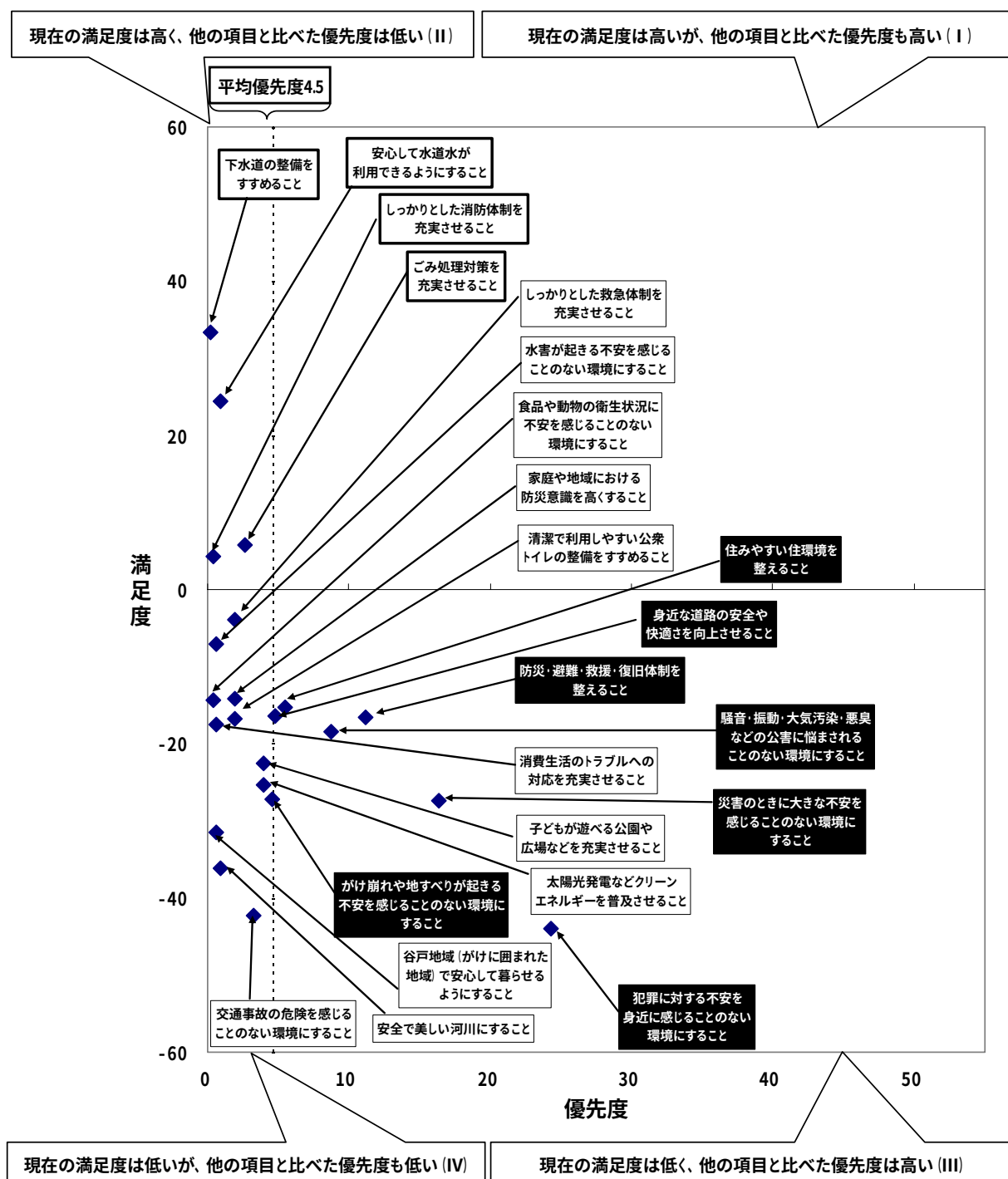


※太枠は分類II「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、塗りつぶしは分類III「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

e) 安全で快適に暮らせるまち

22 項目中半分の 11 項目が「現在の満足度は低い、他の項目と比べた優先度も低い (IV)」に位置しており、最も多くなっている。次いで「犯罪に対する不安を身近に感じることのない環境にすること」「災害のときに大きな不安を感じることはない環境にすること」「防災・避難・救援・復旧体制を整えること」など 7 項目が「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い (III)」となっており、「下水道の整備をすすめること」「しっかりとした消防体制を充実させること」など 4 項目が「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い (II)」に位置している。

図表 (IV) 2-14 満足度と優先度の散布図「5 安全で快適に暮らせるまち」



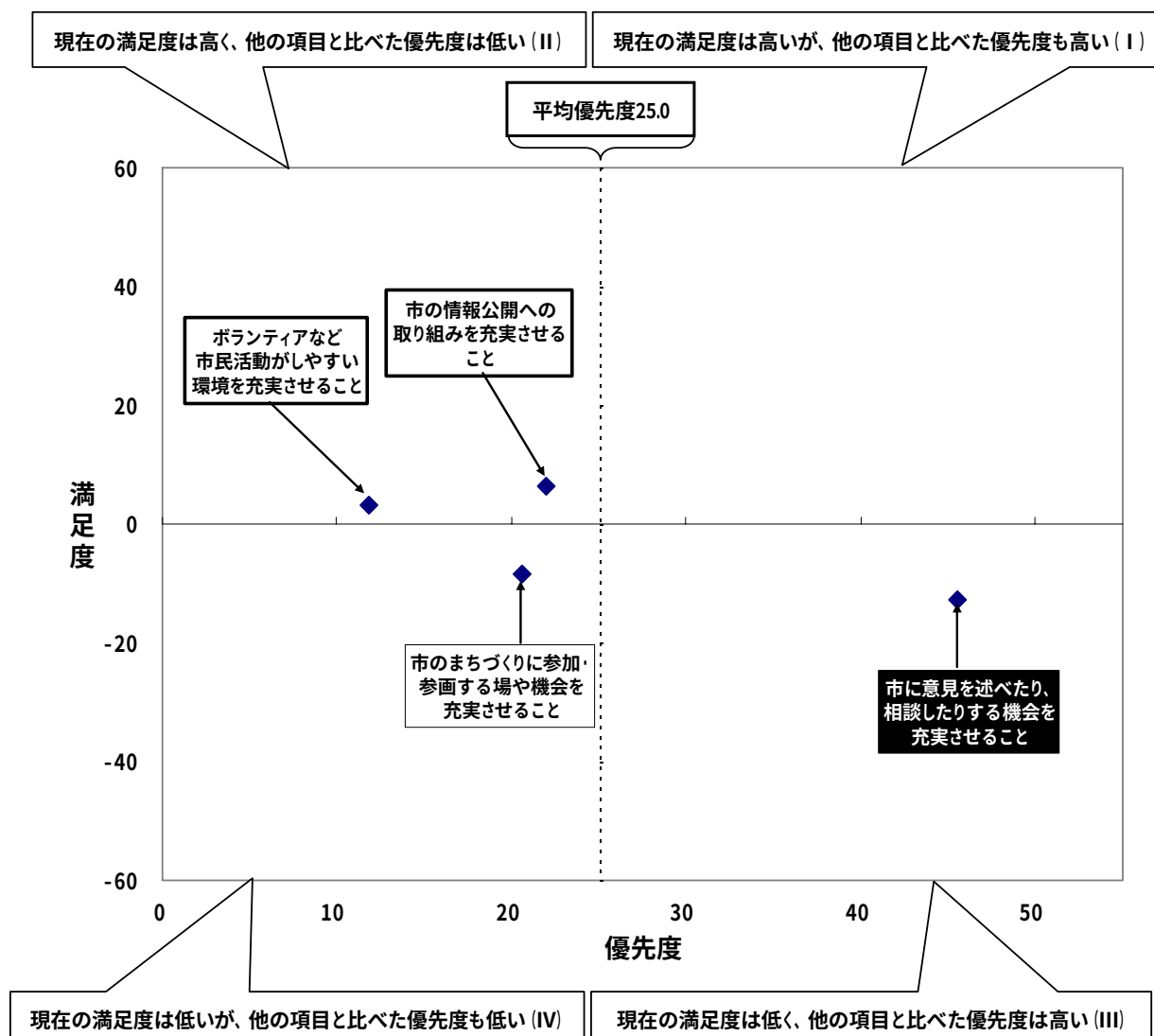
※太枠は分類II「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、塗りつぶしは分類III「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

f) 市民協働によるまちづくりの推進

4項目中「ボランティアなど市民活動がしやすい環境を充実させること」「市の情報公開への取り組みを充実させること」の2項目が「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い(Ⅱ)」に位置している。

「市に意見を述べたり、相談したりする機会を充実させること」は「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い(Ⅲ)」となっている。

図表(Ⅳ) 2-15 満足度と優先度の散布図「6 市民協働によるまちづくりの推進」

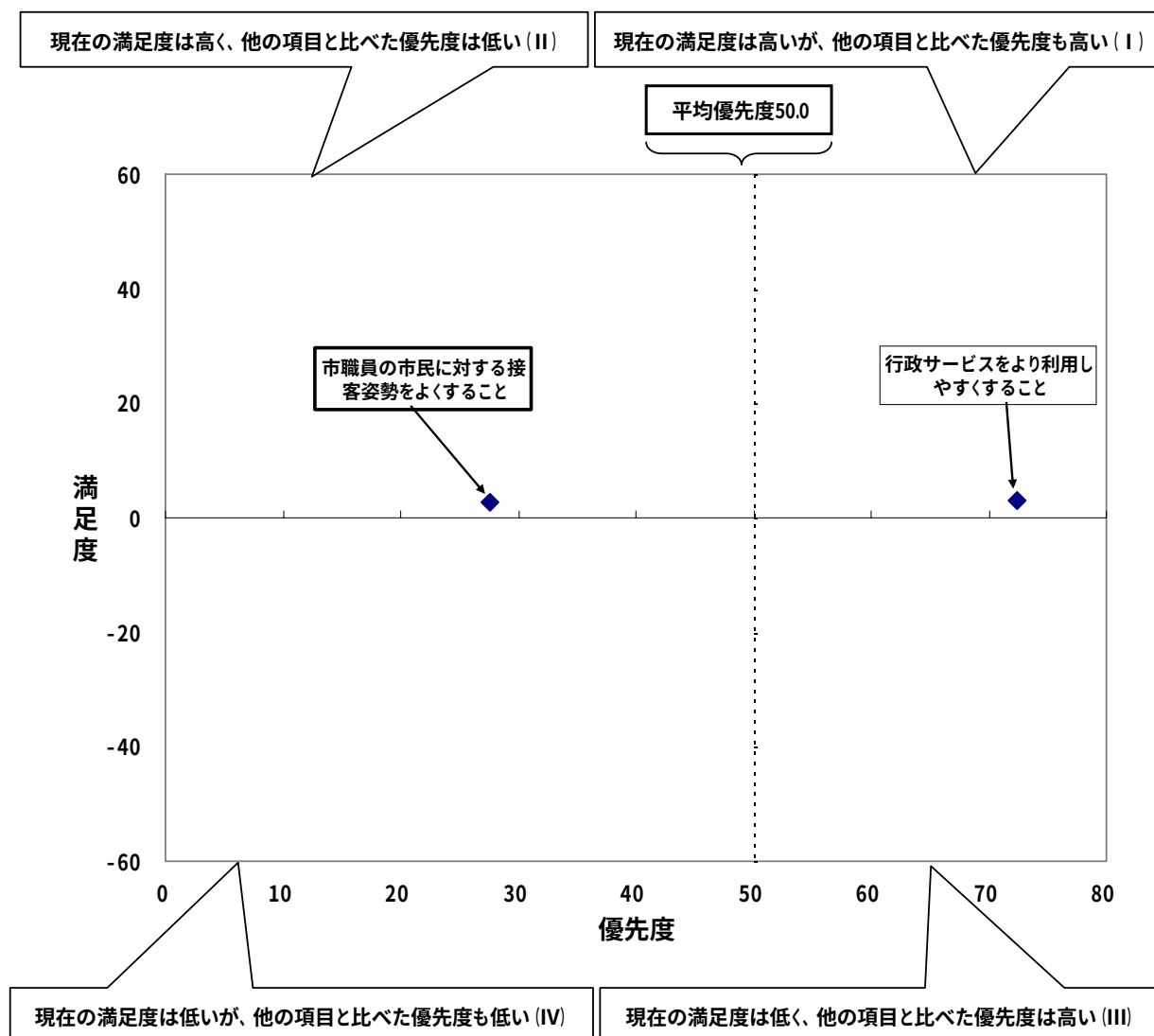


※太枠は分類Ⅱ「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、塗りつぶしは分類Ⅲ「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

g) 効率的な都市経営の推進

2項目のうち「市職員の市民に対する接客姿勢をよくすること」は「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い（Ⅱ）」に、「行政サービスをより利用しやすくすること」は「現在の満足度は高いが、他の項目と比べた優先度も高い（Ⅰ）」に位置している。

図表（Ⅳ）2-16 満足度と優先度の散布図「7 効率的な都市経営の推進」



※太枠は分類Ⅱ「現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い」、塗りつぶしは分類Ⅲ「現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い」に属する項目。

※大柱8については、項目数が1問のため、優先度の設問を設定していない。

図表 (IV) 2-17 「現在の満足度」「優先度」からみた各項目の位置づけ

現在の満足度は高いが、他の項目と比べた優先度も高い (I) [4項目]	3. 市外の人を連れて来たいような場所やイベントを多くすること 6. 市内外を結ぶ主要道路を便利にすること 13. 新鮮で安全な地元農水産物を手に入れやすくすること 73. 行政サービスをより利用しやすくすること
現在の満足度は高く、他の項目と比べた優先度は低い (II) [14項目]	1. マスコミやインターネットを通じて得られる横須賀に関する情報量を多くすること 2. 国際交流や他都市との交流などを活発にすること 4. フェリーや旅客船を利用しやすくすること 8. インターネットなどの情報通信サービスを利用しやすくすること 14. 高等教育・研究開発を盛んにすること 28. 歴史にゆかりのある行事などを活発にすること 30. 芸術文化に親しむことのできる環境を充実させること 50. しっかりとした消防体制を整えること 57. 安心して水道水が利用できるようにすること 58. 下水道の整備をすすめること 63. ごみ処理対策を充実させること 67. 市の情報公開への取り組みを充実させること 69. ボランティアなど市民活動がしやすい環境を充実させること 72. 市職員の市民に対する接客姿勢を良くすること
現在の満足度は低く、他の項目と比べた優先度は高い (III) [16項目]	7. 電車やバスなどの公共交通機関を便利にすること 10. きれいな海や山などを残していくこと 11. 自然環境がもたらす生活の潤いを高めること 24. 子どもが健やかに育つための地域の環境を充実させること 25. 生涯を通じて学習するための環境を充実させること 35. すべての人の人権が尊重される社会環境をつくること 36. すべての人が生活しやすいバリアフリーのまちづくりをすすめること 39. 病気のときに安心して医療サービスが受けられるようにすること 44. 災害のときに大きな不安を感じることはない環境にすること 45. がけ崩れや地すべりが起きる不安を感じることはない環境にすること 49. 防災・避難・救援・復旧体制を整えること 52. 騒音・振動・大気汚染・悪臭などの公害に悩まされることはない環境にすること 53. 犯罪に対する不安を身近に感じることはない環境にすること 59. 身近な道路の安全や快適さを向上させること 62. 住みやすい住環境を整えること 68. 市に意見を述べたり、相談したりする機会を充実させること

現在の満足度は低い が、他の項目と比べた 優先度も低い (IV) [33項目]	5. 港を利用した貨物輸送を活発にすること 12. 自然豊かな公園に恵まれた環境を充実させること 15. 新しい産業を盛んにすること 16. 中小製造業やサービス業などを活性化すること 17. 高齢者の働く環境を充実させること 18. 障害者の働く環境を充実させること 19. 女性の働く環境を充実させること 20. 中心市街地 (横須賀中央駅・汐入駅) 周辺の活気を高めること 21. その他主要駅 (追浜駅・衣笠駅・久里浜駅) 周辺の活気を高めること 22. 商店街で便利に買い物ができるようにすること 26. スポーツや文化活動による地域を越えた交流の機会を充実させること 27. 地元大学や企業の協力によって提供される学習の機会を充実させること 29. 歴史的文化財の保存や活用をすすめること 31. 都市景観を美しくすること 33. 戦争や平和に関する市民意識を高くすること 34. 男女が共に活躍できる社会環境を充実させること 37. 高齢者のための福祉環境を充実させること 38. 障害者のための福祉環境を充実させること 40. 健康づくりに取り組みやすい環境を充実させること 41. 地域活動を行うために必要な施設の整備をすすめること 42. 高齢者と若い世代の交流を活発にすること 46. 水害が起きる不安を感じることはない環境にすること 47. 谷戸地域 (がけに囲まれた地域) で安心して暮らせるようにすること 48. 家庭や地域における防災意識を高くすること 51. しっかりとした救急体制を整えること 54. 交通事故の危険を感じることはない環境にすること 55. 消費生活のトラブルへの対応を充実させること 56. 食品や動物の衛生状況に不安を感じることはない環境にすること 60. 子どもが遊べる公園や広場などを充実させること 61. 安全で美しい河川にすること 64. 清潔で利用しやすい公衆トイレの整備をすすめること 65. 太陽光発電などクリーンエネルギーを普及させること 70. 市のまちづくりに参加・参画する場や機会を充実させること
---	--

3 住み良さの総合評価（問3）

あなたにとって横須賀市はどの程度住み良いですか。次のうちあてはまるものを1つだけ選んで番号を回答用紙に記入してください。

問3 調査票イメージ

※実際の調査票は、P85 参照

- | | |
|------------|---------|
| ①住みよい | ②まあ住みよい |
| ③あまり住み良くない | ④住みにくい |
| | ⑤分からない |

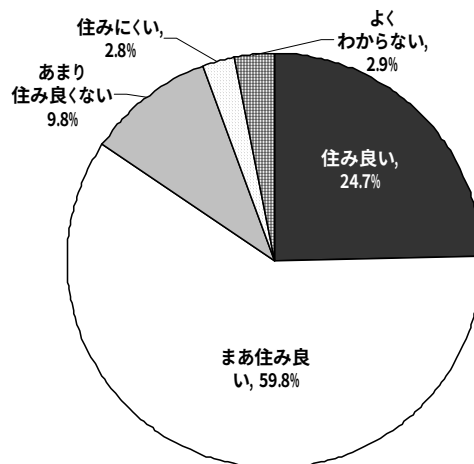
(1) 住み良さの総合評価 調査結果

約 85%の人が「住み良い」「まあ住み良い」と感じており、前回調査から大きな変化はなく、高い割合を維持している。

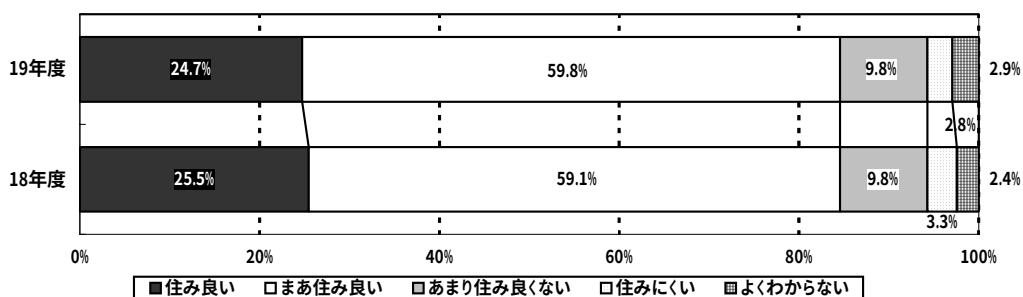
「住み良い」「住みにくい」と感じている人の割合は、両者ともやや減少している。

- ・ 「まあ住み良い」と回答した人の割合が、59.8%と最も高く、「住み良い」と回答した24.7%を合わせると、84.5%の人が住み良いと感じている。
- ・ 昨年度調査と比較すると「住み良い」「まあ住み良い」と回答した人の割合が0.1ポイント減少しているものの、引き続き高い割合を維持している「住みにくい」と回答した人の割合は、0.5ポイント減少し、2.8%となっている。

図表 (IV) 3-1 住み良さ
(回答数 615 人)



図表 (IV) 3-2 住み良さ 前回調査との比較



「住み良さ」について属性別に見ると次のような傾向が見られる。

① 男女別

- ・ 男性・女性とも回答者全体とおおむね同様の傾向を示しているが「住み良い」「まあ住み良い」を合わせると、女性の方が住み良いと感じている人がやや多い。
- ・ 「住みにくい」と回答した人の割合は女性（2.1%）より男性（3.7%）の方が多くなっている。

図表（Ⅳ）3-3 住み良さ 男女別

	回答数	住み良い	まあ住み良い	あまり住み良くない	住みにくい	よくわからない
回答者全体	615	24.7%	59.8%	9.8%	2.8%	2.9%
男性	272	23.5%	59.6%	10.3%	3.7%	2.9%
女性	339	25.4%	60.2%	9.4%	2.1%	2.9%
不明	4	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

② 年齢別

- ・ 「住み良い」「まあ住み良い」を合わせると、15～19 歳、45～49 歳、65～69 歳、で住み良いと感じている人の割合が高くなっている。
- ・ 60～64 歳、75 歳以上では「住み良い」と回答した人の割合が高い。
- ・ 「住みにくい」と回答した人の割合は、20～34 歳が高くなっている。

図表（Ⅳ）3-4 住み良さ 年齢別

	回答数	住み良い	まあ住み良い	あまり住み良くない	住みにくい	よくわからない
回答者全体	615	24.7%	59.8%	9.8%	2.8%	2.9%
15～19歳	27	18.5%	74.1%	3.7%	0.0%	3.7%
20～24歳	31	19.4%	54.8%	9.7%	9.7%	6.5%
25～29歳	29	17.2%	65.5%	10.3%	6.9%	0.0%
30～34歳	39	23.1%	53.8%	7.7%	10.3%	5.1%
35～39歳	43	20.9%	65.1%	9.3%	0.0%	4.7%
40～44歳	57	26.3%	50.9%	12.3%	5.3%	5.3%
45～49歳	42	21.4%	69.0%	4.8%	0.0%	4.8%
50～54歳	45	8.9%	71.1%	20.0%	0.0%	0.0%
55～59歳	71	15.5%	69.0%	12.7%	1.4%	1.4%
60～64歳	68	41.2%	47.1%	5.9%	4.4%	1.5%
65～69歳	63	30.2%	60.3%	7.9%	1.6%	0.0%
70～74歳	58	24.1%	60.3%	10.3%	0.0%	5.2%
75歳以上	37	40.5%	45.9%	10.8%	0.0%	2.7%
年齢不詳	5	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%

③ 居住地域別

- ・ 「住み良い」「まあ住み良い」を合わせると、浦賀地域、大津地域で住み良いと感じている人の割合が9割を超えているが、田浦地域では70%に達していない。
- ・ 「あまり住みよくない」「住みにくい」を合わせると、田浦地域、追浜地域、本庁地域で住みにくいと感じている人の割合が高くなっている。
- ・ 「住みにくい」と回答した人の割合は、久里浜地域、追浜地域、逸見地域で高くなっている。

図表 (IV) 3-5 住み良さ 地域別

	回答数	住み良い	まあ 住み良い	あまり 住み良くない	住みにくい	よく わからない
回答者全体	615	24.7%	59.8%	9.8%	2.8%	2.9%
本庁地域	91	20.9%	57.1%	14.3%	4.4%	3.3%
追浜地域	45	8.9%	68.9%	13.3%	6.7%	2.2%
田浦地域	23	34.8%	34.8%	26.1%	0.0%	4.3%
逸見地域	15	26.7%	60.0%	0.0%	6.7%	6.7%
衣笠地域	95	26.3%	60.0%	8.4%	0.0%	5.3%
大津地域	75	34.7%	56.0%	5.3%	1.3%	2.7%
浦賀地域	66	19.7%	72.7%	7.6%	0.0%	0.0%
久里浜地域	83	25.3%	59.0%	4.8%	7.2%	3.6%
北下浦地域	54	33.3%	51.9%	13.0%	0.0%	1.9%
西地域	62	17.7%	66.1%	11.3%	3.2%	1.6%
無回答	6	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

④ 世帯状況別

- ・ 回答者全体と比べて、0～14歳の子どもがいる家庭では、「住み良い」「まあ住み良い」を合わせた住み良いと感じている人の割合が低く、「あまり住みよくない」「住みにくい」を合わせた住みにくいと感じている人の割合が高い。

図表 (IV) 3-6 住み良さ 世帯状況別

	回答数	住み良い	まあ 住み良い	あまり 住み良くない	住みにくい	よく わからない
回答者全体	615	24.7%	59.8%	9.8%	2.8%	2.9%
0歳～14歳の 子供がいる	66	13.6%	54.5%	22.7%	4.5%	4.5%
65歳以上の 高齢者がいる	366	22.1%	62.0%	10.9%	2.2%	2.7%
単身世帯	39	28.2%	53.8%	7.7%	5.1%	5.1%
無回答	195	29.7%	57.4%	7.2%	3.1%	2.6%

⑤ 居住年数別

- ・ 14 年以内の居住年数層の回答数が少なく、結果の安定性が確保できないが、前回調査と同様に、居住年数が長い方が住み良いと感じている傾向が見られる。

図表 (IV) 3-7 住み良さ 居住年数別

	回答数	住み良い	まあ 住み良い	あまり 住み良くない	住みにくい	よく わからない
回答者全体	615	24.7%	59.8%	9.8%	2.8%	2.9%
3年以内	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
4～9年	5	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
10～14年	7	0.0%	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%
15～19年	35	20.0%	74.3%	2.9%	0.0%	2.9%
20～24年	46	13.0%	54.3%	19.6%	8.7%	4.3%
25年以上	514	26.1%	59.9%	8.9%	2.3%	2.7%
不明	6	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%

⑥ 居住形態別

- ・ 住み良さの総合評価に、居住形態による大きな差は見られない。

図表 (IV) 3-8 住み良さ 居住形態別

	回答数	住み良い	まあ 住み良い	あまり 住み良くない	住みにくい	よく わからない
回答者数全体	615	24.7%	59.8%	9.8%	2.8%	2.9%
持ち家：一戸建て	491	23.8%	60.7%	9.8%	2.6%	3.1%
持ち家： 集合住宅・その他	62	25.8%	59.7%	11.3%	3.2%	0.0%
借 家	56	30.4%	53.6%	8.9%	3.6%	3.6%
不明	6	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%

4 現在の定住意向（問4）

(1) 現在の定住意向 調査結果

あなたは現在の横須賀市に住み続けたいと思いますか。次のうちあてはまるものを1つだけ選んで番号を回答用紙に記入してください。

問4 調査票イメージ

※実際の調査票は、P85 参照

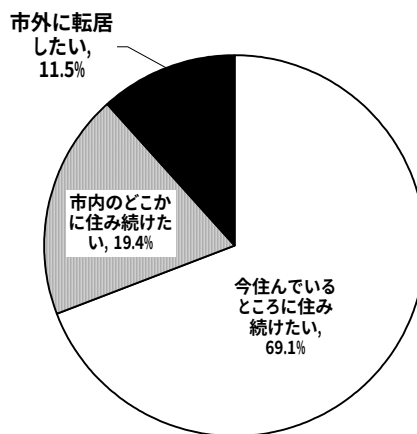
- ①今住んでいるところに住み続けたい
- ②横須賀市内のどこかに住み続けたい
- ③市外に転居したい

9割近くの人が市内に住み続けたいとしており、前回調査よりその割合は大きくなっている。一方、市外に転居したいとする人の割合は低下している。

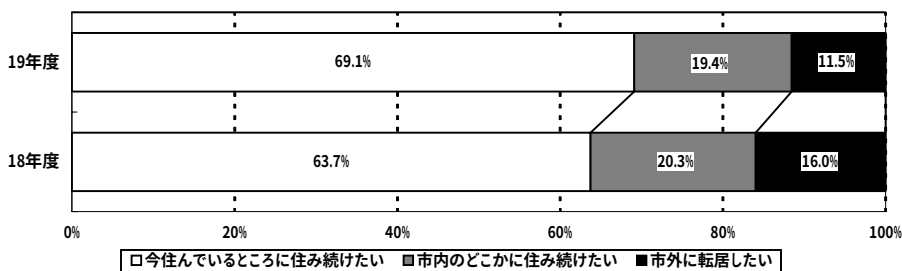
- ・ 「今住んでいるところに住み続けたい」とした人が、69.1%と最も多く、前回調査の割合より、5.4ポイント増加している。
- ・ 「市内のどこかに住み続けたい」とした人は前回調査と比較して 0.9ポイント減少しているが、「今住んでいるところに住み続けたい」「市内のどこかに住み続けたい」とした市内に住み続けたい人の割合は、4.5ポイント増加し、88.5%となっている。
- ・ 「市外に転居したい」とした人の割合は、前回調査から 4.5ポイント減少し、11.5%であった。

図表 (IV) 4-1 定住意向

(回答者数 589 人)



図表 (IV) 4-2 前回調査との比較



「定住意向」について属性別にみると、次のような傾向が見られる。

① 男女別

- 男女ともにおおむね回答者全体と同様の傾向を示している。

図表 (IV) 4-3 定住意向 男女別

	回答数	今住んでいるところに 住み続けたい	市内のどこかに 住み続けたい	市外に転居したい
回答者全体	589	69.1%	19.4%	11.5%
男性	267	71.5%	18.0%	10.5%
女性	319	67.1%	20.7%	12.2%
不明	3	66.7%	0.0%	33.3%

② 年齢別

- 横須賀市に住み続けたいと考える人の割合は、35～39 歳、45 歳以上でおおむね 90%を超えている。
- 「市外に転居したい」とする人の割合は、15～34 歳、40～44 歳で 10%台後半から 20%台とやや高くなっている。

図表 (IV) 4-4 定住意向 年齢別

	回答数	今住んでいるところに 住み続けたい	市内のどこかに 住み続けたい	市外に転居したい
回答者全体	589	69.1%	19.4%	11.5%
15～19 歳	26	50.0%	30.8%	19.2%
20～24 歳	29	51.7%	24.1%	24.1%
25～29 歳	28	35.7%	42.9%	21.4%
30～34 歳	39	46.2%	25.6%	28.2%
35～39 歳	42	66.7%	23.8%	9.5%
40～44 歳	52	55.8%	19.2%	25.0%
45～49 歳	42	71.4%	21.4%	7.1%
50～54 歳	46	80.4%	13.0%	6.5%
55～59 歳	66	69.7%	19.7%	10.6%
60～64 歳	65	76.9%	13.8%	9.2%
65～69 歳	63	82.5%	15.9%	1.6%
70～74 歳	53	83.0%	15.1%	1.9%
75 歳以上	34	94.1%	5.9%	0.0%
年齢不詳	4	75.0%	0.0%	25.0%

③ 居住地域別

- ・ 「今住んでいるところに住みたい」と回答した人の割合が高いのが、田浦地域（75.0%）大津地域（74.0%）、低いのは浦賀地域（63.3%）西地域（63.3%）衣笠地域（64.8%）である。
- ・ 北下浦地域（94.2%）浦賀地域（91.6%）西地域（91.6%）衣笠地域（90.9%）田浦地域（90.0%）では「今住んでいるところに住みたい」「市内のどこかに住みたい」と回答した人の割合が90%を超えている。
- ・ 「市外に転居したい」と回答した人の割合は、逸見地域で26.7%と突出して高く、久里浜地域、追浜地域もやや高くなっている。

図表（Ⅳ）4-5 定住意向 居住地域別

	回答数	今住んでいるところに 住みたい	市内のどこかに 住みたい	市外に転居したい
回答者全体	589	69.1%	19.4%	11.5%
本庁地域	88	72.7%	14.8%	12.5%
追浜地域	44	70.5%	13.6%	15.9%
田浦地域	20	75.0%	15.0%	10.0%
逸見地域	15	66.7%	6.7%	26.7%
衣笠地域	88	64.8%	26.1%	9.1%
大津地域	77	74.0%	14.3%	11.7%
浦賀地域	60	63.3%	28.3%	8.3%
久里浜地域	81	71.6%	12.3%	16.0%
北下浦地域	52	69.2%	25.0%	5.8%
西地域	60	63.3%	28.3%	8.3%
無回答	4	75.0%	0.0%	25.0%

④ 住み良さの総合評価別（問3の回答別）

- ・ 問3で「住み良い」と回答した人では「今住んでいるところに住みたい」が8割強となっている一方で、「住みにくい」と回答した人の約7割が「市外に転居したい」としており、住み良さの総合評価が高い人ほど、横須賀市での定住意向が高くなっている。

図表（Ⅳ）4-6 定住意向 住み良さの総合評価別

	回答数	今住んでいるところに 住みたい	市内のどこかに 住みたい	市外に転居したい
回答者数全体	589	69.1%	19.4%	11.5%
住み良い	145	82.8%	13.1%	4.1%
まあ住み良い	351	70.4%	20.8%	8.8%
あまり住み良くない	55	41.8%	29.1%	29.1%
住みにくい	16	6.3%	25.0%	68.8%
よくわからない	16	75.0%	6.3%	18.8%
無回答	6	66.7%	16.7%	16.7%

(2) 住み続けたい意向を変化させる要因（問４－１）

問４で①あるいは②を選んだ方に伺います。横須賀市に住み続けたいというあなたの気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで番号を回答用紙に記入してください。

問４－１ 調査票イメージ

※実際の調査票は、P85 参照

- ①教育・文化環境が今よりも悪くなる
- ②子育て環境が今よりも悪くなる
- ③都市基盤が今よりも整備されず、生活環境が悪くなる
- ④交通の便が今よりも向上しない
- ⑤自然環境が今よりも豊かでなくなる
- ⑥市内での自分の商売が繁盛しなくなる
- ⑦通勤時間が大幅に長くなるところに転勤（就職・転職）になる
- ⑧望ましい持ち家が取得できない
- ⑨望ましい借家の供給が減少する
- ⑩その他（回答欄にお書きください）

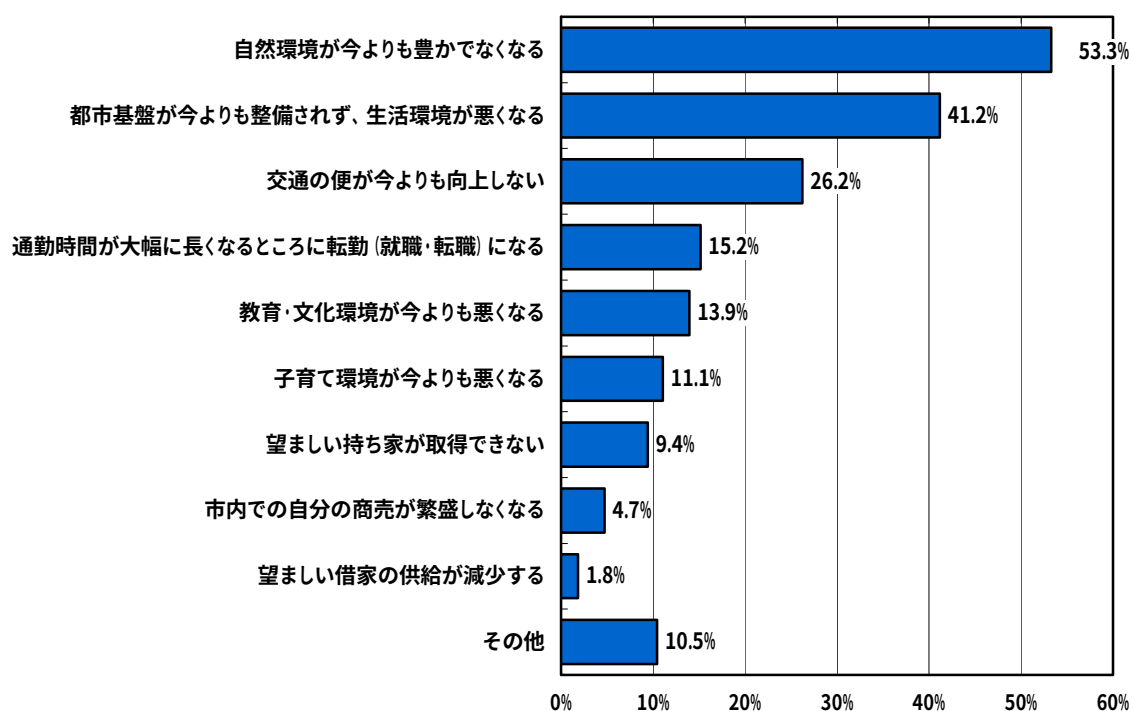
住み続けたい意向を変化させる要因として、前回調査と同様に、自然環境の豊かさ、都市基盤を挙げる人が多い

- ・ 住み続けたい意向を変化させる要因としては「自然環境が今よりも豊かでなくなる」とした人が最も多く 53.3%となっており、昨年度より 5.7 ポイント増加している。続いて「都市基盤が今よりも整備されず、生活環境が悪くなる」(41.2%)「交通の便が今よりも向上しない」(26.2%)となっており、この傾向は前回調査と変わっていない。
- ・ 「子育て環境が今よりも悪くなる」(11.1%)は、前回調査と比べて割合が減少している。

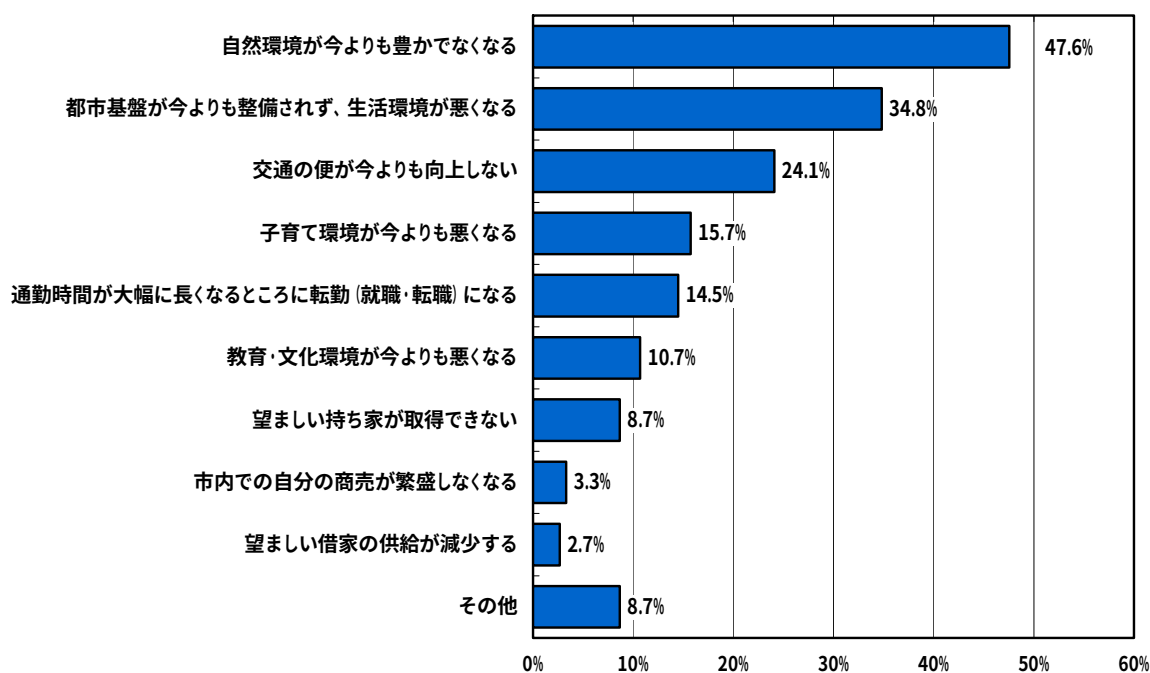
図表（Ⅳ）4-7 住み続けたい意向を変化させる要因

回答者数	平成19年度	平成18年度
	488人	574人
自然環境が今よりも豊かでなくなる	53.3%	47.6%
都市基盤が今よりも整備されず、生活環境が悪くなる	41.2%	34.8%
交通の便が今よりも向上しない	26.2%	24.1%
通勤時間が大幅に長くなるところに転勤（就職・転職）になる	15.2%	14.5%
教育・文化環境が今よりも悪くなる	13.9%	10.7%
子育て環境が今よりも悪くなる	11.1%	15.7%
望ましい持ち家が取得できない	9.4%	8.7%
市内での自分の商売が繁盛しなくなる	4.7%	3.3%
望ましい借家の供給が減少する	1.8%	2.7%
その他	10.5%	8.7%
無回答	33人	26人

図表（Ⅳ）4-8 住み続けたい意向を変化させる要因 平成19年度調査（回答数 488人）



図表（Ⅳ）4-9 住み続けたい意向を変化させる要因 平成18年度調査（回答数 574人）



(3) 市外に移りたいという意向を変化させる要因（問４－２）

問４で③を選んだ方に伺います。市外に移りたいというあなたの気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで番号を回答用紙に記入してください。

問４－２ 調査票イメージ

※実際の調査票は、P85 参照

- ①教育・文化環境が今よりも良くなる
- ②子育て環境が今よりも良くなる
- ③都市基盤が今よりも整備され、生活環境が良くなる
- ④交通の便が今よりも良くなる
- ⑤自然環境が今よりも豊かになる
- ⑥市内での自分の商売が繁盛する
- ⑦通勤に便利なところに転勤（就職・転職）になる
- ⑧望ましい持ち家が取得しやすくなる
- ⑨望ましい借家が今よりも供給される
- ⑩その他（回答欄にお書きください）

市外に移りたいという意向を変化させる要因として、交通の便を挙げる人が多い

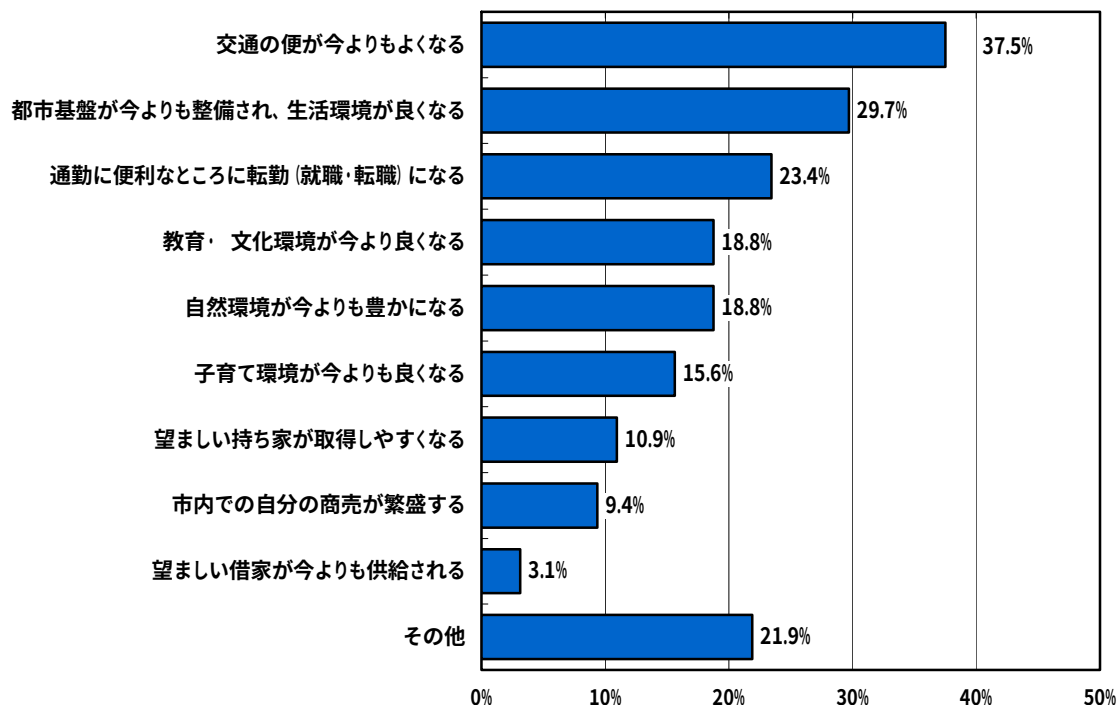
- ・ 市外に移りたいという意向を変化させる要因としては「交通の便が今よりも良くなる」（37.5%）が最も高いが、前回調査よりその割合は3.0ポイント減少している。
- ・ 第2位の「都市基盤が今よりも整備され、生活環境が良くなる」（29.7%）は前回調査より7.3ポイント増加しており、第3位の「通勤に便利なところに転勤（就職・転職）になる」（23.4%）も4.4ポイント増加している。
- ・ 市外に移りたい意向を変化させる要因の順位は、おおむね前回調査と変わっていない。
- ・ 「望ましい持ち家が取得しやすくなる」「望ましい借家が今よりも供給される」の住宅関係の要因が低下する一方「市内での自分の商売が繁盛する」の割合が増加している。

図表（Ⅳ）4-10 市外に移りたいという意向を変化させる要因

回答者数	平成19年度	平成18年度
	64人	109人
交通の便が今よりもよくなる	37.5%	40.5%
都市基盤が今よりも整備され、生活環境が良くなる	29.7%	22.4%
通勤に便利なところに転勤（就職・転職）になる	23.4%	19.0%
教育・文化環境が今よりも良くなる	18.8%	18.1%
自然環境が今よりも豊かになる	18.8%	17.2%
子育て環境が今よりも良くなる	15.6%	14.7%
望ましい持ち家が取得しやすくなる	10.9%	13.8%
市内での自分の商売が繁盛する	9.4%	1.7%
望ましい借家が今よりも供給される	3.1%	6.9%
その他	21.9%	26.7%
無回答	4人	5人

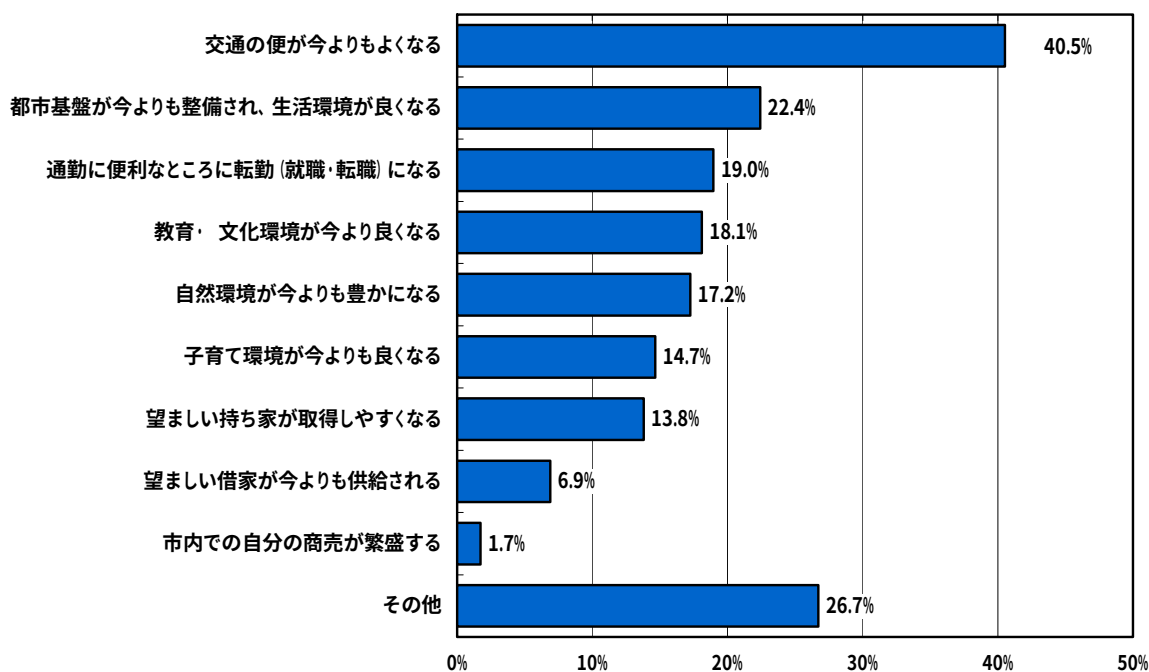
図表（Ⅳ）4-11 市外に移りたいという意向を変化させる要因 平成 19 年度調査

（回答数 64 人）



図表（Ⅳ）4-12 市外に移りたいという意向を変化させる要因 平成 18 年度調査

（回答数 109 人）



5 横須賀市コールセンターの認知度等（問5）

（1）コールセンターの認知度（問5）

横須賀市コールセンターをご存知でしたか。次のうちあてはまるものを1つだけ選んで番号を回答用紙に記入してください。

問5 調査票イメージ

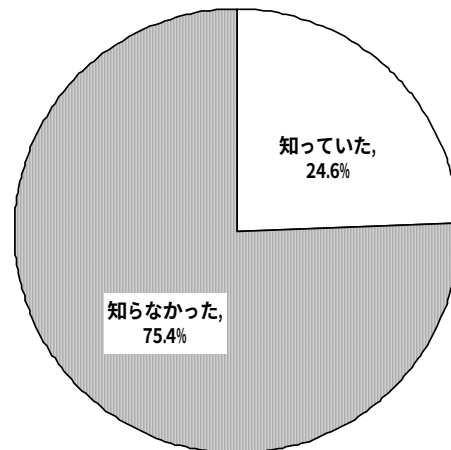
※実際の調査票は、P86 参照

- ①知っていた
- ②知らなかった（このアンケートで初めて知った）

コールセンターについて「知っていた」とした人の割合は約 25%となっている。

図表（IV）5-1 コールセンターの認知度

（回答数 586 人）



（2）コールセンターの利用経験（問5－1）

問5で①を選んだ方に伺います。横須賀市コールセンターを利用したことがありますか。次のうちあてはまるものを1つだけ選んで番号を回答用紙に記入してください。

問5－1 調査票イメージ

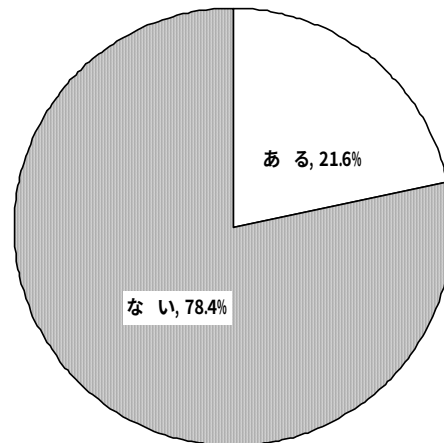
※実際の調査票は、P86 参照

- ①ある
- ②ない

コールセンターについて「知っていた」とした人のうち、コールセンターを利用したことがある人は、約2割である。

図表 (IV) 5-2 コールセンターの利用経験

(回答数 139 人)



(3) コールセンターの利用意向 (問 5 - 2)

今後、困った時にはコールセンターを利用したいと思いますか。次のうちあてはまるものを 1つだけ選んで番号を回答用紙に記入してください。

問 5 - 2 調査票イメージ

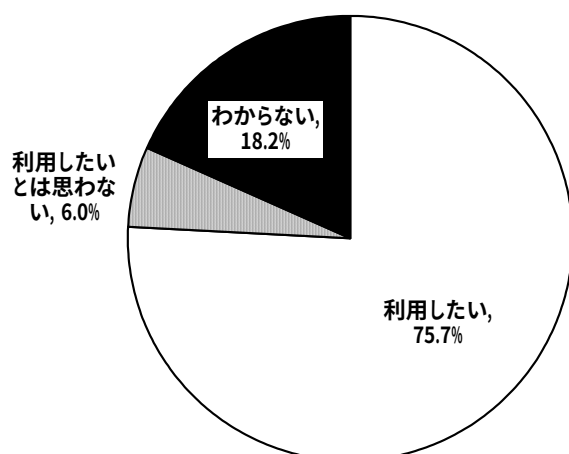
※実際の調査票は、P86 参照

- ①利用したい
- ②利用したいとは思わない
- ③わからない

コールセンターについて、今後利用したいという人は 75%であり、利用したいとは思わないという人は 6%に止まっている。

図表 (IV) 5-3 コールセンターの利用意向

(回答数 581 人)



(4) コールセンターを利用したくない理由（問5－3）

問5－2で②か③を選んだ方に伺います。「利用したいと思わない」「わからない」理由を回答用紙に記入してください。

- ・ コールセンターを「利用したいと思わない」「わからない」理由としては、コールセンターの活用方法が分からないという意見が最も多く、続いて、利用するときにならなければ分からない、利用する必要性が生じていないという意見も多く見られた。

図表（IV）5-4 コールセンターを利用したくない理由

意見内容	意見数	割合
コールセンターの内容がよく分からない。 どのようなことに答えてくれるのか分からない。	46	44.2%
利用するときにならなければ分からない。 (今のところ) 利用する必要性がない。	22	21.2%
自分で調べる。直接、(電話・窓口で) 聞く。	11	10.6%
コールセンターでは、問題が解決しない。 役に立つとは思わない。良い対応が期待できない。	11	10.6%
その他 (電話利用できる状況にない。別趣旨の回答。)	14	13.5%
件数計	104	100.0%

6 横須賀市が変わったと感じる点（問6）

横須賀市は、より一層の市民サービスの向上、個性豊かなまちづくりをめざし、さまざまな取り組みを行っています。

あなたが日々暮らしている中で、最近「横須賀市が変わったな」と感じる点（横須賀市が良くなったこと、悪くなったこと）やそれに関連して取り組みをもっと進めてほしいことなどについて、回答欄にご自由にお書きください。

(1) 横須賀市が変わったと感じる点 調査結果

「行政の姿勢」に関する意見が多く、続いて「自然環境」「交通」に関する意見も多く見られた。

記述による自由回答について、横須賀市基本計画の柱に沿って分類した。大柱に掲げられている項目にあてはめて、内容としてある程度のまとまりがある項目として提示した。

- ・ 意見が多かった項目は、「行政の姿勢（18.7%）」「自然環境（10.7%）」「交通（9.8%）」であった。前回調査で意見が多かった「市街地整備（昨年度 9.2%）」は 3.1 ポイント減少している。
- ・ 「行政の姿勢」に関しては、納税者が納得できるような市政運営と財政の健全化を求める意見が多くみられるとともに、市職員の対応について以前よりよくなったことを評価する意見もみられた。
- ・ 「自然環境」に関しては、マンション建設や宅地開発などによる緑地の減少に対する指摘が多くみられ、自然を残してほしいという意見がみられた。
- ・ 「交通」に関しては、渋滞道路の改善や道路整備を求める意見が多くみられるとともに、道路環境が改善されたという意見もみられた。

図表 (IV) 6-1 横須賀市が変わったと感じる点 (大柱別に分類)

大柱				回答数	割合	
I	いきいきとした交流が 広がるまち	1 交流・観光	良くなったこと	14	34	4.7%
			悪くなったこと	10		
			もっと進めて欲しいことなど	10		
		2 国際交流	良くなったこと	2	11	1.5%
			悪くなったこと	2		
			もっと進めて欲しいことなど	7		
		3 公園	良くなったこと	10	31	4.3%
			悪くなったこと	5		
			もっと進めて欲しいことなど	16		
		4 情報化	良くなったこと	6	17	2.4%
			悪くなったこと	1		
			もっと進めて欲しいことなど	10		
II	海と緑を生かした活気 あふれるまち	1 自然環境	良くなったこと	6	77	10.7%
			悪くなったこと	47		
			もっと進めて欲しいことなど	24		
		2 産業支援・高等教育	良くなったこと	0	4	0.6%
			悪くなったこと	2		
			もっと進めて欲しいことなど	2		
		3 まちの活気	良くなったこと	1	17	2.4%
			悪くなったこと	12		
			もっと進めて欲しいことなど	4		
		4 買い物環境	良くなったこと	5	22	3.1%
			悪くなったこと	15		
			もっと進めて欲しいことなど	2		
		5 就業環境	良くなったこと	1	8	1.1%
			悪くなったこと	4		
			もっと進めて欲しいことなど	3		
III	個性豊かな人と文化 が育つまち	1 子育て	良くなったこと	0	18	2.5%
			悪くなったこと	5		
			もっと進めて欲しいことなど	13		
		2 文化・芸術	良くなったこと	8	20	2.8%
			悪くなったこと	2		
			もっと進めて欲しいことなど	10		
		3 景観	良くなったこと	5	11	1.5%
			悪くなったこと	4		
			もっと進めて欲しいことなど	2		
		4 学校教育	良くなったこと	1	8	1.1%
			悪くなったこと	4		
			もっと進めて欲しいことなど	3		
		5 生涯学習	良くなったこと	2	4	0.6%
			悪くなったこと	1		
			もっと進めて欲しいことなど	1		
IV	健康でやさしい心のふ れあうまち	1 福祉	良くなったこと	11	50	6.9%
			悪くなったこと	7		
			もっと進めて欲しいことなど	32		
		2 保健・医療	良くなったこと	3	23	3.2%
			悪くなったこと	4		
			もっと進めて欲しいことなど	16		

大柱				回答数	割合	
V	安全で快適に暮らせるまち	1 市街地整備	良くなったこと	13	44	6.1%
			悪くなったこと	11		
			もっと進めて欲しいことなど	20		
		2 住宅	良くなったこと	0	0	0.0%
			悪くなったこと	0		
			もっと進めて欲しいことなど	0		
		3 交通	良くなったこと	16	71	9.8%
			悪くなったこと	25		
			もっと進めて欲しいことなど	30		
		4 米軍基地	良くなったこと	1	6	0.8%
			悪くなったこと	2		
			もっと進めて欲しいことなど	3		
		5 治安・公衆道徳	良くなったこと	3	32	4.4%
			悪くなったこと	19		
			もっと進めて欲しいことなど	10		
		6 防災	良くなったこと	2	15	2.1%
			悪くなったこと	5		
			もっと進めて欲しいことなど	8		
		7 公害	良くなったこと	0	0	0.0%
			悪くなったこと	0		
			もっと進めて欲しいことなど	0		
		8 ごみ処理	良くなったこと	9	40	5.5%
			悪くなったこと	23		
			もっと進めて欲しいことなど	8		
		9 日常生活	良くなったこと	2	19	2.6%
			悪くなったこと	15		
			もっと進めて欲しいことなど	2		
VI	市民協働によるまちづくりの推進	1 市民協働	良くなったこと	0	1	0.1%
			悪くなったこと	1		
			もっと進めて欲しいことなど	0		
		2 地域コミュニティ	良くなったこと	0	3	0.4%
			悪くなったこと	0		
			もっと進めて欲しいことなど	3		
VII	効率的な都市運営の推進	1 行政の姿勢	良くなったこと	35	135	18.7%
			悪くなったこと	19		
			もっと進めて欲しいことなど	81		
VIII	地方分権と広域連携の推進	1 -	良くなったこと	0	0	0.0%
			悪くなったこと	0		
			もっと進めて欲しいことなど	0		
件 数 計			良くなったこと	156	721	100.0%
			悪くなったこと	245		
			もっと進めて欲しいことなど	320		

7 基本的な属性（F 1～F 7）

(1) 性別（F 1）

回答数	625人
男性	44.6%
女性	55.4%

無回答	31人
-----	-----

(2) 年齢（F 2）

回答数	625人
15～19歳	4.3%
20～24歳	5.1%
25～29歳	4.6%
30～34歳	6.2%
35～39歳	6.9%
40～44歳	9.3%
45～49歳	6.7%
50～54歳	7.4%
55～59歳	11.7%
60～64歳	10.9%
65～69歳	10.4%
70～74歳	10.1%
75歳以上	6.4%

無回答	31人
-----	-----

(3) 居住地域 (F 3)

回答数	624人
本庁地域	14.9%
追浜地域	7.7%
田浦地域	4.0%
逸見地域	2.4%
衣笠地域	15.4%
大津地域	12.5%
浦賀地域	10.6%
久里浜地域	13.8%
北下浦地域	8.7%
西地域	10.1%
無回答	32人

(4) 職業 (F 4)

回答数	621人
農林漁業	0.6%
会社員	25.3%
自営業	7.6%
自由業	2.1%
公務員・教員	3.5%
アルバイト・パートタイマー・派遣社員	11.3%
家事専業	14.3%
学 生	6.0%
無 職	25.6%
その他	3.7%
無回答	35人

(5) 世帯の状況（F 5）

回答数	656人
0歳～14歳の子どもがいる	10.2%
65歳以上の高齢者がいる	57.0%
単身世帯（一人暮らし）	6.3%
無回答（その他世帯）	34.5%

※本問における「無回答」は選択肢以外の世帯に属すると判断されるため、
全数を「回答数」とした。

(6) 市内居住年数（F 6）

回答数	624人
3年以内	0.3%
4～9年	0.8%
10～14年	1.1%
15～19年	5.9%
20～24年	7.5%
25年以上	84.3%

無回答	32人
-----	-----

(7) 現在の住宅形態（F 7）

回答数	624人
持ち家（一戸建て）	80.1%
持ち家（中高層集合住宅）	7.2%
持ち家（その他）	3.0%
借家（一戸建て）	3.8%
借家（民間のアパート）	1.3%
借家（民間のマンション）	1.4%
借家（公団・公社）	0.6%
借家（公営）	1.6%
借家（社宅・官舎）	0.2%
借家（間借り）	0.5%
借家（その他）	0.2%

無回答	32人
-----	-----

調 査 票

まちづくり市民アンケート調査票

< 調査にあたって >

- ・この調査は無記名で行います。
- ・回答は、同封の回答用紙に記入してください。
- ・回答が判断しにくい項目については、空欄でも結構です。

あなたの生活周辺環境について伺います

問1 回答用紙のA欄（以前と比べて）、B欄（現在の状況）それぞれの項目について、あてはまるところに1つつつ○をつけてください。

回答用紙の1ページから3ページに記入してください。

注) A欄の「以前と比べて」は、4～5年前、それ以降に横須賀市に住んだ方は転入当時と比べて、お答えください。

横須賀市が優先的に取り組むべき項目について伺います

問2 横須賀市が優先的に取り組むべきと考える項目を、グループごとに1つつつ選んで番号を回答用紙に記入してください。

回答用紙の4ページに記入してください。

グループ1

いきいきとした交流が広がるまち

- (1) マスコミやインターネットを通じて得られる横須賀に関する情報量を多くすること
- (2) 国際交流や他の都市との交流などを活発にすること
- (3) 市外の人を連れて来たいような場所やイベントを多くすること
- (4) フェリーや旅客船を利用しやすくすること
- (5) 港を利用した貨物輸送を活発にすること
- (6) 市内外を結ぶ主要道路を便利にすること
- (7) 電車やバスなどの公共交通機関を便利にすること
- (8) インターネットなどの情報通信サービスを利用しやすくすること

グループ2

海と緑を生かした活気あふれるまち

- (1) きれいな海や山などを残していくこと
- (2) 自然環境がもたらす生活の潤いを高めること
- (3) 自然豊かな公園に恵まれた環境を充実させること
- (4) 新鮮で安全な地元農水産物を手に入れやすくすること
- (5) 高等教育・研究開発を盛んにすること
- (6) 新しい産業を盛んにすること
- (7) 中小製造業やサービス業などを活性化すること
- (8) 高齢者の働く環境を充実させること
- (9) 障害者の働く環境を充実させること
- (10) 女性の働く環境を充実させること
- (11) 中心市街地（横須賀中央駅・汐入駅）周辺の活気を高めること
- (12) その他主要駅（追浜駅・衣笠駅・久里浜駅）周辺の活気を高めること
- (13) 商店街で便利に買い物ができるようにすること

グループ3

個性豊かな人と文化が育つまち

- (1) 子どもが健やかに育つための地域の環境を充実させること
- (2) 生涯を通じて学習するための環境を充実させること
- (3) スポーツや文化活動による地域を越えた交流の機会を充実させること
- (4) 地元大学や企業の協力によって提供される学習の機会を充実させること
- (5) 歴史にゆかりのある行事などを活発にすること
- (6) 歴史的文化財の保存や活用をすすめること
- (7) 芸術文化に親しむことのできる環境を充実させること
- (8) 都市景観を美しくすること

グループ4

健康でやさしい心のふれあうまち

- (1) 戦争や平和に関する市民意識を高くすること
- (2) 男女が共に活躍できる社会環境を充実させること
- (3) すべての人の人権が尊重される社会環境をつくること
- (4) すべての人が生活しやすいバリアフリーのまちづくりをすすめること
- (5) 高齢者のための福祉環境を充実させること
- (6) 障害者のための福祉環境を充実させること
- (7) 病気のときに安心して医療サービスが受けられるようにすること
- (8) 健康づくりに取り組みやすい環境を充実させること
- (9) 地域活動を行うために必要な施設の整備をすすめること
- (10) 高齢者と若い世代の交流を活発にすること

グループ5

安全で快適に暮らせるまち

- (1) 災害のときに大きな不安を感じることをない環境にすること
- (2) がけ崩れや地すべりが起きる不安を感じることをない環境にすること
- (3) 水害が起きる不安を感じることをない環境にすること
- (4) 谷戸地域（がけに囲まれた地域）で安心して暮らせるようにすること
- (5) 家庭や地域における防災意識を高くすること
- (6) 防災・避難・救援・復旧体制を整えること
- (7) しっかりとした消防体制を整えること
- (8) しっかりとした救急体制を整えること
- (9) 騒音・振動・大気汚染・悪臭などの公害に悩まされることをない環境にすること
- (10) 犯罪に対する不安を身近に感じることをない環境にすること
- (11) 交通事故の危険を感じることをない環境にすること
- (12) 消費生活のトラブルへの対応を充実させること
- (13) 食品や動物の衛生状況に不安を感じることをない環境にすること
- (14) 安心して水道水が利用できるようにすること
- (15) 下水道の整備をすすめること
- (16) 身近な道路の安全や快適さを向上させること
- (17) 子どもが遊べる公園や広場などを充実させること
- (18) 安全で美しい河川にすること
- (19) 住みやすい住環境を整えること
- (20) ごみ処理対策を充実させること
- (21) 清潔で利用しやすい公衆トイレの整備をすすめること
- (22) 太陽光発電などクリーンエネルギーを普及させること

グループ6

市民協働によるまちづくりの推進

- (1) 市の情報公開への取り組みを充実させること
- (2) 市に意見を述べたり、相談したりする機会を充実させること
- (3) ボランティアなど市民活動がしやすい環境を充実させること
- (4) 市のまちづくりに参加・参画する場や機会を充実させること

グループ7

効率的な都市経営の推進

- (1) 市職員の市民に対する接客姿勢を良くすること
- (2) 行政サービスをより利用しやすくすること

現在の横須賀市での住み良さについて伺います

問3 あなたにとって横須賀市はどの程度住み良いですか。次のうちあてはまるものを1つだけ選んで番号を回答用紙に記入してください。

回答用紙の4ページに記入してください。

- ①住み良い ②まあ住み良い
③あまり住み良くない ④住みにくい ⑤よくわからない

問4 あなたは現在の横須賀市に住み続けたいと思いますか。次のうちあてはまるものを1つだけ選んで番号を回答用紙に記入してください。

回答用紙の4ページに記入してください。

- ①今住んでいるところに住み続けたい ☐ 問4－1へ
②横須賀市内のどこかに住み続けたい ☐ 問4－1へ
③市外に転居したい ☐ 問4－2へ

問4－1

問4で①か②を選んだ方に伺います。横須賀市に住み続けたいというあなたの気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで番号を回答用紙に記入してください。

- ①教育・文化環境が今よりも悪くなる
②子育て環境が今よりも悪くなる
③都市基盤が今よりも整備されず、生活環境が悪くなる
④交通の便が今よりも向上しない
⑤自然環境が今よりも豊かでなくなる
⑥市内での自分の商売が繁盛しなくなる
⑦通勤時間が大幅に長くなるところに転勤（就職・転職）になる
⑧望ましい持ち家が取得できない
⑨望ましい借家の供給が減少する
⑩その他（回答欄に具体的にお書きください）

問4－2

問4で③を選んだ方に伺います。市外に移りたいというあなたの気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで番号を回答用紙に記入してください。

- ①教育・文化環境が今よりも良くなる
②子育て環境が今よりも良くなる
③都市基盤が今よりも整備され、生活環境が良くなる
④交通の便が今よりも良くなる
⑤自然環境が今よりも豊かになる
⑥市内での自分の商売が繁盛する
⑦通勤に便利なところに転勤（就職・転職）になる
⑧望ましい持ち家が取得しやすくなる
⑨望ましい借家が今よりも供給される
⑩その他（回答欄に具体的にお書きください）

横須賀市コールセンターについて伺います

横須賀市では、市役所の手続きやイベント、病院などに関する問い合わせに対応する「横須賀市コールセンター」を午前7時から午後11時まで年中無休で運営しています。

問5 横須賀市コールセンターをご存知でしたか。次のうちあてはまるものを1つだけ選んで番号を回答用紙に記入してください。

回答用紙の4ページに記入してください。

- ①知っていた → 問5-1へ
②知らなかった（このアンケートで初めて知った） → 問5-2へ

問5-1

問5で①を選んだ方に伺います。横須賀市コールセンターを利用したことがありますか。次のうちあてはまるものを1つだけ選んで番号を回答用紙に記入してください。

- ①ある → 問5-2へ
②ない

問5-2

今後、困った時にはコールセンターを利用したいと思いますか。次のうちあてはまるものを1つだけ選んで番号を回答用紙に記入してください。

- ①利用したい
②利用したいとは思わない → 問5-3へ
③わからない

問5-3

問5-2で②か③を選んだ方に伺います。「利用したいとは思わない」「わからない」理由を回答用紙に記入してください。

横須賀市が変わったと感じる点について伺います

問6 横須賀市は、より一層の市民サービスの向上、個性豊かなまちづくりをめざし、さまざまな取り組みを行っています。

あなたが日々暮らしている中で、最近「横須賀市が変わったな」と感じる事（横須賀市が良くなったこと、悪くなったこと）やそれに関連して取り組みをもっと進めてほしいことなどについて、回答欄にご自由にお書きください。

回答用紙の5ページに記入してください。

あなた自身のことについて伺います

【統計処理のために必要な情報ですので、全員の方がお答えください。】

次の各項目において、あなたにあてはまるものについて、選んで番号を回答用紙に記入してください。

回答用紙の5ページに記入してください。

F 1 **<性別>**

- ① 男性 ② 女性

F 2 <年齢>

- ① 15～19 歳 ② 20～24 歳 ③ 25～29 歳 ④ 30～34 歳
⑤ 35～39 歳 ⑥ 40～44 歳 ⑦ 45～49 歳 ⑧ 50～54 歳
⑨ 55～59 歳 ⑩ 60～64 歳 ⑪ 65～69 歳 ⑫ 70～74 歳
⑬ 75 歳以上

F 3 **＜お住まいの地域＞** **（次ページに地域別一覧表がありますのでご参照ください。）**

- ① 本庁地域 ② 追浜地域 ③ 田浦地域 ④ 逸見地域 ⑤ 衣笠地域
⑥ 大津地域 ⑦ 浦賀地域 ⑧ 久里浜地域 ⑨ 北下浦地域 ⑩ 西地域

F 4 **<職業>**

- ① 農林漁業
③ 自営業（商・工業・建設業・サービス業など）
⑤ 公務員・教員
⑦ 家事専業
⑨ 無職
- ② 会社員
④ 自由業
⑥ アルバイト・パートタイマー・派遣社員
⑧ 学生
⑩ その他（ ）

F 5 <世帯の状況> (複数回答可) (該当がない場合は、回答欄は空欄をお願いします。)

- ① 0歳～14歳の子どもがいる
② 65歳以上の高齢者がいる
③ 単身世帯（一人暮らし）

F 6 ＜横須賀市に住んでいる年数＞

- ① 3年以内 ② 4～9年 ③ 10～14年
④ 15～19年 ⑤ 20～24年 ⑥ 25年以上

F 7 **＜現在の住宅の形態＞**

- | | | | |
|-------|------------|-----------|------------|
| 〈持ち家〉 | ① 一戸建て | ② 中高層集合住宅 | ③ その他の持ち家 |
| 〈借 家〉 | ④ 一戸建て | ⑤ 民間のアパート | ⑥ 民間のマンション |
| | ⑦ 公団・公社の借家 | ⑧ 公営の借家 | ⑨ 社宅・官舎 |
| | ⑩ 間借り | ⑪ その他の借家 | |

《 調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。 》

地域別一覧表

(町名)	(地域別)
稲岡町、不入斗町、上町、小川町、大滝町、楠ヶ浦町、坂本町、佐野町、猿島、汐入町、汐見台、新港町、田戸台、鶴が丘、泊町、日の出町、深田台、富士見町、平成町、平和台、望洋台、本町、緑が丘、三春町、安浦町、米が浜通、若松町	➡ <u>①本庁地域</u>
浦郷町、追浜町、追浜東町、追浜本町、追浜南町、湘南鷹取、鷹取、夏島町、浜見台	➡ <u>②追浜地域</u>
田浦町、田浦泉町、田浦大作町、田浦港町、長浦町、箱崎町、船越町、港が丘	➡ <u>③田浦地域</u>
安針台、西逸見町、東逸見町、逸見が丘、山中町、吉倉町	➡ <u>④逸見地域</u>
阿部倉、池上、大矢部、金谷、衣笠町、衣笠栄町、公郷町、小矢部、平作、森崎	➡ <u>⑤衣笠地域</u>
池田町、大津町、桜が丘、根岸町、走水、馬堀町、馬堀海岸	➡ <u>⑥大津地域</u>
浦賀、浦賀丘、浦上台、小原台、鴨居、光風台、西浦賀町、東浦賀町、二葉、南浦賀、吉井	➡ <u>⑦浦賀地域</u>
岩戸、内川、内川新田、久比里、久村、久里浜、久里浜台、佐原、神明町、長瀬、ハイランド、舟倉、若宮台	➡ <u>⑧久里浜地域</u>
栗田、グリーンハイツ、津久井、長沢、野比、光の丘	➡ <u>⑨北下浦地域</u>
秋谷、芦名、太田和、荻野、子安、佐島、佐島の丘、湘南国際村、須軽谷、武、長井、長坂、林、御幸浜、山科台	➡ <u>⑩西地域</u>

横須賀市実施計画
(第3次まちづくり3カ年計画)
3カ年総括

1 総括表

(1) 事業費

区 分	項 目	事業費 (単位:円)				
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	合計	
まちづくり政策 (169事業)	計画額(a)	28,926,469,000	33,755,333,000	24,230,023,000	86,911,825,000	
	決算額(b)	26,060,243,103	32,229,926,431	25,440,378,382	83,730,547,916	
	計画執行率(b/a)	90.1%	95.5%	105.0%	96.3%	
	1 いきいきとした交流が広がるまち (12事業)	計画額(a)	1,272,170,000	1,335,271,000	1,338,437,000	3,945,878,000
		決算額(b)	1,079,442,574	1,188,713,093	972,660,080	3,240,815,747
		計画執行率(b/a)	84.9%	89.0%	72.7%	82.1%
	2 海と緑を生かした活気あふれるまち (28事業)	計画額(a)	4,501,085,000	3,614,113,000	2,370,890,000	10,486,088,000
		決算額(b)	4,372,331,931	6,011,265,086	3,358,366,601	13,741,963,618
		計画執行率(b/a)	97.1%	166.3%	141.7%	131.0%
	3 個性豊かな人と文化が育つまち (27事業)	計画額(a)	3,636,135,000	5,828,864,000	1,707,395,000	11,172,394,000
		決算額(b)	3,326,104,775	3,432,707,296	3,314,842,457	10,073,654,528
		計画執行率(b/a)	91.5%	58.9%	194.1%	90.2%
	4 健康でやさしい心のふれあうまち (34事業)	計画額(a)	3,249,582,000	5,580,213,000	4,035,568,000	12,865,363,000
		決算額(b)	2,757,350,687	4,439,910,784	3,571,704,314	10,768,965,785
		計画執行率(b/a)	84.9%	79.6%	88.5%	83.7%
	5 安全で快適に暮らせるまち (68事業)	計画額(a)	16,267,497,000	17,396,872,000	14,777,733,000	48,442,102,000
		決算額(b)	14,525,013,136	17,157,330,172	14,222,804,930	45,905,148,238
		計画執行率(b/a)	89.3%	98.6%	96.2%	94.8%
	まちづくりの推進姿勢 (11事業)	計画額(a)	354,005,000	576,252,000	382,667,000	1,312,924,000
		決算額(b)	335,965,131	547,985,789	394,999,834	1,278,950,754
		計画執行率(b/a)	94.9%	95.1%	103.2%	97.4%
6 市民協働によるまちづくりの推進 (5事業)		計画額(a)	63,401,000	61,573,000	62,300,000	187,274,000
		決算額(b)	56,045,374	56,618,898	58,857,168	171,521,440
		計画執行率(b/a)	88.4%	92.0%	94.5%	91.6%
7 効率的な都市経営の推進 (6事業)		計画額(a)	290,604,000	514,679,000	320,367,000	1,125,650,000
		決算額(b)	279,919,757	491,366,891	336,142,666	1,107,429,314
		計画執行率(b/a)	96.3%	95.5%	104.9%	98.4%
8 地方分権と広域連携の推進 (0事業)		計画額(a)	0	0	0	0
		決算額(b)	0	0	0	0
		計画執行率(b/a)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合 計 (180事業)		計画額(a)	29,280,474,000	34,331,585,000	24,612,690,000	88,224,749,000
		決算額(b)	26,396,208,234	32,777,912,220	25,835,378,216	85,009,498,670
		計画執行率(b/a)	90.1%	95.5%	105.0%	96.4%

(2) 計画執行率

(単位:件)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	3カ年計
50%未満	23	31	37	24
50～150%	137	110	94	143
150%超	9	17	17	13
その他	11	22	32	0
計	180	180	180	180

(3) 事業結果量目標達成率

(単位:件)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	3カ年計
80%未満	29	31	36	32
80～120%	113	96	75	113
120%超	24	26	33	33
その他	14	27	36	2
計	180	180	180	180

(4) 事業効果量目標達成率

(単位:件)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	3カ年計
80%未満	9	17	18	18
80～120%	64	68	64	75
120%超	22	22	26	31
その他	85	73	72	56
計	180	180	180	180

※「その他」は、当該年度計画がない事業、目標が定性指標・後年度に把握する指標・率として表せない指標等

2 実施計画事業

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量 (アウトプット)		事業効果量 (アウトカム)		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
1	2	1	国際化推進事業	74,115,000	76,607,680	103.4	各種交流事業を支える 国際交流ボランティア の活動件数	496.9	横須賀国際交流協会 委託行事への市民参 加者数	139.0	企画調整 部国際交 流課
							(仮称) 国際化推進プランの策定	100.0			
1	2	1	都市間交流関係業務	66,214,000	55,092,043	83.2	各研修等への受け入れ・派遣件数	100.0	各研修員等の交流人数	108.2	企画調整 部国際交 流課
1	3	2	市制100周年記念推進事業	233,915,000	147,676,452	63.1	事業計画等の策定状況	100.0	「100周年記念事業ロゴデザイン・シンボルキャラクター」の使用件数	183.7	企画調整 部企画調 整課
							基本的な計画に定められた事業に占める実施事業数の割合	100.0			
1	3	2	よこすか開国祭開催事業	286,164,000	285,284,360	99.7	魅力あるイベント(開国Dancin'、開国パレード、開国花火大会、開国大ハレス(H18はまちなかイベントに変更))の開催数	100.0	当該イベントへの来場者数	106.7	経済部観 光課
1	3	2	国際式典事業	43,020,000	31,339,308	72.8	各年度における式典開催数	100.0	各式典の来場者数	188.2	企画調整 部国際交 流課
1	3	2	交流都市推進プラン検討事業	12,502,000	17,423,444	139.4	提言のまとめ状況	100.0	主要集客施設の観光 入込客数	96.9	企画調整 部企画調 整課
							プランの策定状況	100.0			
							セミナー受講者数(職員)	30.8			
1	4	2	次期横須賀港湾計画策定事業	68,122,000	36,405,448	53.4	港湾計画策定進捗率	100.0	横須賀港の13の地区において、将来像が示され、整備・保全・転換の施策が位置づけられた地区の比率	100.0	港湾部港 湾企画課
1	4	2	深浦地区港湾施設整備事業	17,300,000	15,120,858	87.4	施設整備率(栈橋数)	100.0	栈橋整備による収容可能隻数(累計)	100.0	港湾部港 湾建設課
1	4	2	走水・大津地区港湾施設整備事業	1,268,000,000	1,457,985,689	115.0	港湾施設の整備進捗率	65.2	各施設別船舶配置可能率	0.0	港湾部港 湾建設課
1	4	2	久里浜地区港湾施設整備事業	1,804,150,000	1,066,705,286	59.1	港湾施設の整備進捗率	46.5	各施設への目的別船舶の配置割合	149.3	港湾部港 湾建設課
1	5	1	東京湾環状道路推進事業	16,628,000	15,413,536	92.7	促進団体の総会等開催数、要望回数及びフォーラム等開催回数	97.0	東京湾環状道路の整備促進(定性指標)	-	土木みどり 部交通計 画課

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量 (アウトプット)		事業効果量 (アウトカム)		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
1	6	1	情報フロンティア都市推進事業	55,748,000	35,761,643	64.1	研修受講者数	111.8	YRPへの進出企業等数	85.3	経済部企業誘致推進課
							ベンチャー企業への助成件数	33.3			
							情報基盤整備状況	-			
2	1	1	港湾環境計画策定事業	11,500,000	10,523,235	91.5	沿岸環境検討の進捗率	100.0	環境対策が行われている比率	97.5	港湾部港湾企画課
2	1	1	風致地区指定事業	14,047,000	9,504,679	67.7	風致地区の制度、計画素案に係る説明会の開催回数	0.0	風致地区の都市計画決定件数	0.0	都市部都市計画課
2	2	1	北下浦漁港海岸侵食対策事業	389,609,000	171,245,774	44.0	基本設計・実施計画の進捗状況	100.0	砂浜の幅	-	港湾部港湾建設課
							海岸侵食対策工の整備延長	70.8			
2	2	1	花いっぱい推進事業	92,576,000	71,333,224	77.1	花のボランティアの活動回数	125.5	花のボランティア参加者数	125.7	都市部景観推進課
2	3	1	長井海の手公園整備等事業	2,969,559,000	2,179,971,843	73.4	PFI事業による長井海の手公園の整備進捗率	100.0	来園者数	99.6	土木みどり部公園建設課
							PFI事業による整備後の施設買取進捗率	103.3			
2	3	1	猿島公園整備事業	288,253,000	316,336,832	109.7	全体事業進捗率	100.0	来園者数	101.5	土木みどり部公園建設課
2	3	1	くりはま花の国整備事業	40,060,000	30,399,574	75.9	全体工事進捗率	100.0	来園者数	145.3	土木みどり部公園建設課
2	3	1	(仮称) 佐島の丘公園整備事業	389,000,000	357,157,500	91.8	全体事業進捗率	100.0	来園者の満足度	-	土木みどり部公園建設課
2	3	1	(仮称) 久里浜1丁目公園整備事業	14,900,000	0	0.0	全体事業進捗率	0.0	来園者の満足度	-	土木みどり部公園建設課
2	3	1	ヴェルニー公園整備事業	35,522,000	37,578,226	105.8	全体事業進捗率	100.0	カフェレストランの利用者数	94.8	土木みどり部公園建設課
2	3	1	(仮称) 破崎公園整備事業	8,100,000	0	0.0	全体事業進捗率	0.0	来園者の満足度	-	土木みどり部公園建設課
2	3	1	北下浦漁港海岸環境整備事業	109,000,000	66,936,000	61.4	遊歩道整備延長	100.0	海岸利用者等の満足度	0.0	港湾部港湾建設課
							緑地広場の整備面積	31.2			
							便益施設の整備数	31.2			

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量 (アウトプット)		事業効果量 (アウトカム)		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
2	4	1	佐島漁港施設整備事業	451,000,000	128,600,000	28.5	防波堤の整備延長 (本港地区)	162.3	佐島漁港施設整備の完成後の漁獲高	-	港湾部港湾建設課
							防波堤の整備延長 (芦名地区)	0.0			
2	4	1	長井漁港施設整備事業	590,000,000	235,717,034	40.0	防波堤の整備延長	60.6	長井漁港施設整備の完成後の漁獲率	-	港湾部港湾建設課
							護岸の整備延長	0.0			
							係留施設の整備延長	51.8			
2	5	1	産学官連携研究推進事業	328,883,000	236,775,072	72.0	産学官交流センターの入居者数	77.8	共同研究実績数	121.3	経済部企業誘致推進課
2	5	2	企業等立地促進事業	403,044,000	980,636,076	243.3	企業等立地促進制度を利用した企業等数	200.0	誘致企業等の雇用者数	91.5	経済部企業誘致推進課
2	5	3	ベンチャー支援事業	62,578,000	45,344,557	72.5	ベンチャー認定事業数	183.3	認定事業の年間売上高の増加量	238.0	経済部商工振興課
2	6	1	中小企業金融対策事業	3,211,372,000	8,202,112,677	255.4	制度融資実行状況	171.3	市内企業の倒産件数	135.9	経済部商工振興課
2	6	1	中小企業振興対策事業	72,990,000	43,806,509	60.0	協同組合等設立促進補助交付団体数及び中小企業団体共同施設補助交付団体数	61.9	新たに設置される中小企業団体に参加している中小企業者数。共同施設を整備した中小企業団体に組合員として加入している中小企業者数	614.3	経済部商工振興課
2	6	1	工業振興対策事業	31,753,000	25,668,064	80.8	工業技術研修における受講者数	100.0	工業技術研修に参加した受講者の講義における満足度	103.0	経済部商工振興課
2	6	1	産業PR営業支援事業	34,440,000	34,194,561	99.3	元気情報発行部数	101.1	よこすか元気情報掲載事業者及びよこすか産業まつり参加事業者の満足度	116.3	経済部商工振興課
							産業まつり参加企業数	90.4			
2	7	1	障害者雇用促進事業	231,654,000	274,529,050	118.5	知的障害者雇用奨励金支給事業所数	97.1	知的障害者雇用奨励金支給延人数	104.0	健康福祉部障害福祉課
							精神障害者雇用奨励金支給事業所数	163.0	精神障害者雇用奨励金支給延人数	216.8	

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量 (アウトプット)		事業効果量 (アウトカム)		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
2	8	1	横須賀中央駅周辺地区 まちづくり促進事業	81,866,000	3,791,307	4.6	検討委員会の開催回 数	100.0	導入する公益施設のう ち、新中央図書館の利 用者数	-	都市部都 市計画課
							都市計画決定資料の 作成	100.0			
							設計者選定	-			
							基本設計達成度	-			
							実施設計達成度	-			
2	8	1	中心市街地活性化事業	59,444,000	29,884,735	50.3	商店街振興事業補助 金及びTMO事業補助 金の交付件数	90.9	中心市街地の活性化 (満足度) 率	145.2	経済部商 工振興課
2	8	2	浦賀港周辺地区再整備 事業 ((仮称) ミュージア ムパーク整備)	146,199,000	62,166,957	42.5	平成16年度 (仮称) ミュージアム・パーク推 進センター開設進ちょく 率	100.0	(仮称) ミュージアム・ パーク整備へ向けたイ ベントの参加者数	100.0	都市部都 市計画課
							イベントの開催回数	100.0			
							検討委員会の開催回 数	0.0			
2	8	2	浦賀港周辺地区再整備 事業 (水際線プロムナード 整備)	271,808,000	21,144,138	7.8	事業スケジュールに基 づく各年度ごとの進 ちょく率	37.5	西岸プロムナード供用 時 (平成21年度) にお ける地域住民満足度	-	港湾部港 湾企画課
							水際線プロムナード整 備の延長	0.0			
2	8	2	久里浜駅前公益施設建 設準備事業	278,000	153,264	55.1	本案件に関する「久里 浜まちづくり推進協議 会」活動回数	133.3	久里浜行政センターか ら移設する公益施設の 利用者数	-	都市部都 市計画課
2	8	3	商業振興対策事業	146,653,000	166,452,730	113.5	商店街振興事業補助 金の交付件数	106.6	商店街 (会) の活性化 (満足度) 率	137.5	経済部商 工振興課
3	1	1	市立横須賀総合高等学 校建設事業	2,987,012,000	2,423,238,992	81.1	市立横須賀総合高等 学校建設の第2期工事 進ちょく率	100.0	生徒の学校施設・設備 を利用に対する満足度	92.5	教育委員 会事務局 教職員課
3	1	1	(仮称)佐原小学校建設 事業	71,996,000	978,600	1.4	事業スケジュールに基 づく各年度業務の進 ちょく率	33.3	明浜小学校及び佐原 小学校の学級数	-	教育委員 会事務局 学校管理 課
3	1	1	学校空調設備整備事業	564,979,000	450,747,598	79.8	普通教室及び特別教 室への冷房機の設置 校数	96.2	児童・生徒の集中力の 向上、健康への不安が 解消されている様子 教職員の校務の効率 向上(定性指標)	-	教育委員 会事務局 総務課・学 校管理課
							空調設備のリース契約 件数	100.0			
3	1	1	よこすか教育ネットワ ークセンター事業	478,051,000	475,836,255	99.5	学習素材 (デジタルコ ンテンツ) の提供数	105.1	提供コンテンツへのア クセス件数	101.3	教育委員 会教育研 究所

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量(アウトプット)		事業効果量(アウトカム)		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
3	1	1	不登校対策事業	59,498,000	74,100,312	124.5	適応指導教室2教室合計の年間通室利用人数	73.8	2教室の通室利用人数に占める学校復帰者の割合	108.2	教育委員会教育研究所
3	1	1	小学校ふれあい相談事業	23,083,000	24,178,600	104.7	ふれあい相談員の配置人数	110.0	不登校未然防止率	95.0	教育委員会事務局学校教育課
3	1	1	外国人英語教員活用事業	1,940,000	1,389,277	71.6	外国人英語教員の配置人数	100.0	研究指定校(拠点校)における卒業時の英語検定3級以上の合格者の割合	301.8	教育委員会事務局学校教育課
3	1	1	国際教育指導事業	54,570,000	51,723,818	94.8	国際教育指導助手の訪問回数	101.1	英語によるコミュニケーション活動の満足度	110.0	教育委員会事務局学校教育課
3	1	1	スクールデジタルコンテンツ事業	1,701,000	1,572,062	92.4	年間応募作品数	169.8	応募作品数の前年度比増加率	120.4	教育委員会教育研究所
3	1	1	特別支援教育推進事業	2,106,000	1,822,723	86.5	相談支援チーム活動回数	100.0	特別支援教育コーディネーターの配置率	97.2	教育委員会事務局学校教育課
							特別支援教育コーディネーター養成講座修了者数	100.0			
3	1	1	障害児童生徒介助員配置事業	83,349,000	101,059,357	121.2	特殊学級介助員の配置数	116.7	特殊学級介助員の配置率	85.8	教育委員会事務局学校教育課
3	1	1	芸術鑑賞会	86,550,000	78,700,070	90.9	芸術鑑賞会公演回数	100.0	鑑賞した子どもの満足度	114.3	教育委員会事務局学校教育課
3	1	1	子ども読書活動推進事業	39,166,000	33,869,410	86.5	ブックリストの配布冊数	99.3	児童図書館の貸出冊数	104.5	教育委員会中央図書館
3	1	2	よこすか青少年プラン策定事業	7,540,000	2,535,664	33.6	(仮称)よこすか青少年プラン策定の進ちょく率	100.0	次代を担う青少年が、今を充実して生き、心豊かに夢と希望を持って健やかに育ち、自立した責任感のある大人に成長する環境が実現されている様子(定性指標)	-	こども育成部青少年課
3	1	2	学童クラブ助成事業	223,977,000	251,558,059	112.3	助成している学童クラブ数	102.1	市立小学校に対する学童クラブの比率	103.4	こども育成部子育て支援課
3	1	2	子ども虐待防止事業	26,206,000	15,093,145	57.6	相談件数	120.8	虐待の重症化率	158.0	こども育成部こども健康課
3	2	1	不入斗公園整備事業	147,898,000	108,556,800	73.4	全体事業進ちょく率	100.0	施設利用率	-	土木みどり部公園建設課
3	2	1	(仮称)佐原2丁目公園整備事業	1,400,000	0	0.0	全体事業進捗率	0.0	来園者の満足度	-	土木みどり部公園建設課
3	2	1	新中央図書館開設準備事業	33,228,000	26,746,062	80.5	新中央図書館の開設準備進ちょく率	100.0	新中央図書館完成後の利用者数	-	企画調整部情報政策課

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量 (アウトプット)		事業効果量 (アウトカム)		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
3	2	1	学校開放事業	24,588,000	16,058,541	65.3	和室等開放実施校数	113.3	学校開放施設の利用者数	160.2	教育委員会事務局生涯学習課
							図書室開放実施校数	100.0			
							横須賀わいわいスクールを運営する学校数	33.3	横須賀わいわいスクール利用児童数	167.0	こども育成部子育て支援課
3	4	1	市史編さん事業	266,494,000	224,442,693	84.2	「横須賀市史」の刊行巻数(資料編、通史編及び別編並びに市史研究)	85.7	市史の頒布数(市内各図書館への配布数、民間団体への配布数(有償・無償含む))	81.8	総務部総務課
3	5	1	美術館建設事業	4,863,354,000	4,578,581,164	94.1	美術館建設整備の全体工事進捗率	96.8	美術館建設完了後の入場者数	-	教育委員会美術館運営課
3	5	1	美術館開設準備事業	668,308,000	750,500,971	112.3	展覧会等の開催回数(平成18年度はワークショップ)	107.1	展覧会等入場者数(平成18年度はワークショップ)	92.9	教育委員会美術館運営課
3	6	1	街並み景観形成推進事業	14,400,000	3,197,825	22.2	地区景観協議会設立を支援する出前トーク及び住民の説明回数	127.8	地区景観協議会の認定数	0.0	都市部景観推進課
3	6	1	公園通り歩車道整備事業	271,000,000	249,400,945	92.0	電線共同溝及び歩車道整備の全体工事進捗率	100.0	無電柱化の進捗状況	100.0	土木みどり部道路建設課
3	6	1	大滝通り歩車道整備事業	84,000,000	38,903,087	46.3	電線共同溝及び歩車道整備の全体工事進捗率	32.5	無電柱化の進捗状況	0.0	土木みどり部道路建設課
3	6	1	横須賀共済病院通り歩車道整備事業	86,000,000	88,862,498	103.3	電線共同溝及び歩車道整備の全体工事進捗率	100.0	無電柱化の進捗状況	100.0	土木みどり部道路建設課
4	1	2	学校人権・同和教育指導事業	7,640,000	5,176,178	67.8	人権教育指導者養成講座受講修了者数	100.0	人権指導者養成講座(2年間継続)修了者数による実践事例集発行冊数	100.0	教育委員会事務局学校教育課
4	1	3	男女平等パートナーシップ事業	5,199,000	2,418,579	46.5	調査・研究の委託件数	0.0	当課で実施する市民意識調査のうち「本市の女性政策に対する関心」の項目への肯定的回答の比率	75.8	市民部人権・男女共同参画課
							広報紙の年間発行回数	100.0			
4	2	1	駅舎エレベーター等整備補助事業	116,662,000	249,990,000	214.3	エレベーターを設置した駅舎数	128.6	エレベーター等の設置駅の割合	110.0	健康福祉部障害福祉課
4	2	1	大津行政センター等建設事業	353,000	41,576	11.8	事業スケジュールにもとづく各年度業務進捗率	90.0	来客者満足度	-	市民部大津行政センター
4	2	1	追浜行政センター等駐車場整備事業	67,793,000	61,758,885	91.1	駐車場等の全体工事進捗率	100.0	駐車場不足及び路上駐車に関する苦情の件数	53.1	市民部追浜行政センター
4	2	1	逸見行政センターエレベーター整備事業	47,021,000	41,694,755	88.7	エレベーター設置完了	100.0	エレベーター設置後の利用者の満足度	100.0	市民部逸見行政センター

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量 (アウトプット)		事業効果量 (アウトカム)		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
4	2	1	バリアフリー事業	57,000,000	55,818,836	97.9	歩道切下げ及び点字 ブロックの整備箇所数	101.7	段差改善及び点字ブ ロック整備済地区の割 合	100.0	土木みどり 部道路補 修課
4	2	1	やさしいまちづくり(公園) 事業	31,500,000	24,492,468	77.8	背伸ベンチ・手摺・ス ロープ舗装等の工事数	100.0	周辺住民 (公園利用 者) の満足度	114.2	土木みどり 部緑地管 理課
4	2	2	福祉バス運行事業	86,532,000	87,725,769	101.4	福祉バスの運行回数	105.0	福祉バスの利用者数	83.5	健康福祉 部保健所 健康づくり 課
4	3	1	高齢者虐待防止事業	3,804,000	5,743,522	151.0	相談件数	170.5	高齢者虐待防止ネット ワークミーティング開催 回数	104.2	健康福祉 部長寿社 会課
4	3	1	障害者在宅支援相談事 業	2,583,000	1,328,166	51.4	相談事業の実施施設 数	100.0	療育相談・指導の利用 件数	53.8	健康福祉 部障害福 祉課
4	3	2	ヘルプメイトサービス事 業	91,671,000	115,570,867	126.1	ヘルプメイトサービス年 間延利用件数	69.9	年間利用延時間数	82.6	健康福祉 部長寿社 会課
4	3	2	ふれあいお弁当事業	329,181,000	297,191,400	90.3	利用延べ食数	90.3	ふれあいお弁当配達 時の高齢者の異変発 見率	1,000.0	健康福祉 部長寿社 会課
4	3	2	療育相談事業	71,438,000	75,852,138	106.2	保健師及び臨床心理 士等の配置数	103.1	個別早期療育相談	124.4	こども育 成部子育 て支援課
4	3	2	身体障害者生活支援事 業	90,060,000	87,020,870	96.6	相談センターを利用し た人数	97.9	障害者が情報の提供 を受け、自らサービス を選択し、利用できる 環境が確保されている 様子(定性指標)	-	健康福祉 部障害福 祉課
4	4	1	福祉の輪推進事業	2,435,000	1,549,890	63.7	周知啓発活動の実施 回数	116.7	周知啓発活動への参 加者数	57.6	健康福祉 部健康福 祉総務課
4	4	1	ボランティア活動推進事 業	77,958,000	73,579,758	94.4	各種ボランティア情報 誌発行部数	101.5	ボランティアの活動人 数	154.2	健康福祉 部健康福 祉総務課
							小中高ボランティアス クール参加者数	164.9			
							各種ボランティア講座 数	105.6			
4	4	1	おはなし聴き隊派遣事 業	1,422,000	526,381	37.0	おはなし聴き隊がふれ あった高齢者数	27.8	介護家族等の満足度	114.3	健康福祉 部長寿社 会課
4	4	2	社会福祉施設等整備補 助事業	1,527,337,000	825,936,966	54.1	各年度毎の開設ベッ ト数	50.0	要介護者1人当りの特 別養護老人ホーム及 び介護老人保健施設 の整備床数	50.0	健康福祉 部長寿社 会課
							補助金の交付件数	50.0			
4	4	2	生活支援ハウス運営事 業	39,192,000	39,591,000	101.0	生活支援ハウス入所 者数	97.8	特別養護老人ホーム 入所者の平均介護度	102.9	健康福祉 部長寿社 会課
4	4	2	身体障害者グループ ホーム助成事業	20,470,000	17,722,500	86.6	グループホーム設置数	133.3	身体障害者グループ ホーム入居者数	133.3	健康福祉 部障害福 祉課

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量 (アウトプット)		事業効果量 (アウトカム)		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
4	4	2	知的障害者グループホーム助成事業	89,267,000	101,610,191	113.8	グループホームの設置箇所数	121.6	知的障害者グループホーム入居者数	117.1	健康福祉部障害福祉課
4	4	2	精神障害者グループホーム助成事業	90,706,000	62,953,000	69.4	精神障害者グループホーム数	118.2	精神障害者グループホーム入居者数	118.2	健康福祉部障害福祉課
4	4	2	障害者地域作業所助成事業	1,284,664,000	1,266,505,762	98.6	身体・知的障害者地域作業所の数	92.3	身体・知的障害者地域作業所利用者数	88.7	健康福祉部障害福祉課
							精神障害者地域作業所の数	102.6	精神障害者地域作業所利用者数	102.0	
4	4	2	(仮称)こどもセンター整備事業	1,421,378,000	315,680,719	22.2	検討委員会の開催回数	80.0	療育相談センターの利用率	-	こども育成部子育て支援課
							基本設計・実施設計の達成度	100.0			
							建築工事進捗率	100.0			
4	5	1	うわまち病院療養病棟建設事業	3,291,910,000	3,075,875,595	93.4	工事の進捗率	100.0	療養病床の病床利用率	73.9	病院管理部総務課
4	5	1	市民病院駐車場整備事業	156,600,000	115,595,656	73.8	駐車場拡充整備工事の進捗率	100.0	国道134号線にはみ出し駐車9台からの減少台数	77.8	病院管理部総務課
4	5	1	骨髄提供希望者登録推進事業	445,000	247,602	55.6	年間登録機会提供数	89.2	年間登録受付者数	150.9	健康福祉部保健所健康づくり課
4	5	2	精神保健対策事業	213,382,000	192,863,931	90.4	電話相談の開設延べ時間数	74.9	市民のこころの健康度(ストレスを感じる人の割合)	70.9	健康福祉部保健所健康づくり課
							ホームヘルパーの派遣時間数	138.6			
							支援センターの開所日数	101.2			
							こころの健康づくり教室の実施回数	144.4			
							ひきこもりデイケアの実施回数	100.0			
4	5	2	小児医療費助成事業	1,835,790,000	1,829,743,083	99.7	助成件数	101.8	1回当たりの入院日数	112.9	こども育成部子育て支援課
4	5	2	市民健診事業	1,582,884,000	1,581,867,448	99.9	個別成人健康診査受診者数	111.0	生活習慣病の早期発見者数(要精検者の発見数)	104.4	健康福祉部保健所健康づくり課
							集団成人健康診査受診者数	85.5	生活習慣病の早期発見者数(要精検者の発見数)	101.7	

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量 (アウトプット)		事業効果量 (アウトカム)		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
4	5	2	健康よこすか21推進事業	71,454,000	61,464,774	86.0	ウェルシティまつりの参加者数	106.8	「健康よこすか21」の認知度	55.6	健康福祉部保健所健康づくり課
							各健康教室の開催回数	129.6	各教室の総出席者数	119.8	
							年度の健康運動指導士の養成人数	100.0	健康増進センターの利用者数	105.7	
4	5	2	転ばぬ先の筋トレ教室事業	43,397,000	9,607,810	22.1	実施した町内会・自治会の件数	25.3	筋トレ教室参加者の体力チェックの維持向上率	98.1	健康福祉部長寿社会課
4	6	1	鴨居地域自治活動センター整備事業	106,235,000	84,219,710	79.3	鴨居地域自治活動センターの整備工事進捗率	100.0	鴨居地域自治活動センター利用者数	117.1	市民部市民生活課
5	1	1	追浜駅前歩道橋改良事業	280,249,000	229,811,869	82.0	当該年度改良工事の進捗率	100.0	近隣住民・商店街等の満足度	-	土木みどり部道路補修課
5	1	1	橋りょう耐震対策事業	96,050,000	49,847,573	51.9	橋りょう耐震対策工事の実施箇所数	100.0	橋りょう耐震対策工事の実施率	100.0	土木みどり部道路補修課
5	1	1	トンネル補強対策事業	74,437,000	80,158,053	107.7	トンネル補強対策工事の実施箇所数	100.0	トンネル補強対策工事の実施率	100.0	土木みどり部道路補修課
5	1	2	市民病院中央棟耐震補強工事	544,594,000	726,100,771	133.3	設計の進捗率	100.0	耐震基準	100.0	病院管理部総務課
							工事の進捗率	100.0			
5	1	2	小学校校舎等耐震補強事業	1,906,126,000	1,694,105,524	88.9	耐震補強工事の実施校数	107.7	耐震性を有している学校の比率	104.4	教育委員会事務局学校管理課
							耐震補強工事の実施校数 (体育館)	77.8			
5	1	2	中学校校舎等耐震補強事業	641,534,000	527,433,864	82.2	耐震補強工事の実施校数	100.0	耐震性を有している学校の比率	104.4	教育委員会事務局学校管理課
							耐震補強工事の実施校数 (体育館)	100.0			
5	1	2	ろう学校校舎等耐震補強事業	80,783,000	60,930,071	75.4	校舎の耐震診断及び耐震補強設計の実施校数	100.0	耐震性を有している学校の比率	100.0	教育委員会事務局学校管理課
							体育館の耐震診断及び耐震補強設計の実施校数	100.0			
							耐震補強工事の実施校数	100.0			
							耐震補強工事の実施校数 (体育館)	100.0			

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量 (アウトプット)		事業効果量 (アウトカム)		担当部署
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
5	1	2	住宅の簡易型耐震補強工事助成事業	61,170,000	51,729,905	84.6	耐震診断の簡易現地診断件数	94.5	簡易型耐震補強工事への補助金交付件数	57.8	都市部建築指導課
5	2	1	急傾斜地崩壊対策事業	1,383,336,000	1,305,063,393	94.3	急傾斜地崩壊対策工事の実施件数	123.4	未指定地域における指定の拡大と指定区域の急傾斜地崩壊対策工事の促進によるかけ地の安全確保 (定性指標)	-	土木みどり部 傾斜地保全課
5	2	1	既成宅地防災工事等助成事業	408,614,000	473,168,576	115.8	既成宅地防災工事等助成件数	139.0	かけ地の安全確保 (急傾斜地崩壊対策事業で実施されない箇所) (定性指標)	-	土木みどり部 傾斜地保全課
5	2	2	雨水排水施設整備事業	357,300,000	567,485,727	158.8	雨水排水施設の整備延長	233.0	下水道による都市浸水対策達成率	99.9	上下水道局 下水道整備課
5	2	2	馬堀地区港湾海岸施設整備事業	1,213,514,000	1,546,090,000	127.4	国直轄事業のためなし	-	国直轄事業のためなし	-	港湾部 港湾企画課
5	3	1	馬堀町3丁目谷戸線防災道路整備事業	100,300,000	0	0.0	当該道路の整備率 (事業費ベース)	0.0	防災道路の認知度	-	土木みどり部 道路建設課
5	3	1	船越4丁目谷戸線防災道路整備事業	31,033,000	72,718,950	234.3	当該道路の道路整備延長	190.0	防災道路の認知度	100.0	土木みどり部 道路建設課
							当該道路の用地買収面積	100.0			
5	4	1	中央消防署大津出張所建設事業	184,800,000	160,667,557	86.9	出張所建設の全体工事進捗率	100.0	防災拠点機能向上 (定性指標)	-	消防局総務課
5	4	1	災害時非常用飲料水整備事業	63,629,000	71,221,327	111.9	耐震型非常用貯水槽の設置数	100.0	定性指標	-	企画調整部 市民安全課
5	4	1	地域防災計画推進事業	25,095,000	19,423,391	77.4	地域防災計画の修正版及び (仮称) 災害活動初動マニュアルの策定の進捗率	100.0	防災力の強化	-	企画調整部 市民安全課
5	4	2	高齢者安全・安心サポート事業	1,743,000	1,629,962	93.5	高齢者用講習会の開催回数	137.0	講習会受講者数	86.1	消防局 予防課
5	4	2	災害用備蓄物資等拡充事業	44,766,000	40,491,045	90.5	非常食の備蓄数	100.0	被災者の苦痛の軽減 (定性指標)	-	企画調整部 市民安全課
							毛布の備蓄数	100.0			
							シートの備蓄数	100.0			
5	5	2	救急高度化推進事業	30,720,000	27,021,288	88.0	救急救命士の病院実習実施人数	105.7	救命効果の向上 (定性指標)	-	消防局 消防・救急課
5	5	2	救急体制強化事業	31,430,000	28,522,777	90.8	救急隊配備数	100.0	救急隊1隊あたりの年間平均出場件数	108.0	消防局 消防・救急課

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量（アウトプット）		事業効果量（アウトカム）		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 （%）	指標名	目標 達成率 （%）	指標名	目標 達成率 （%）	
5	5	3	レスキュー高度化事業	76,914,000	65,723,721	85.5	圧縮空気製造施設の 整備数	100.0	救助隊装備の充実による被害の軽減(定性指標)	-	消防局消防・救急課
5	6	3	深浦地区港湾環境整備事業	838,575,000	800,097,747	95.4	栈橋の整備数	100.0	栈橋の整備による収容可能隻数	-	港湾部港湾建設課
5	6	4	消費生活相談ネットワーク事業	28,926,000	34,236,280	118.4	消費者相談の苦情受付件数	123.7	消費生活相談の苦情件数のうち、結果として斡旋及び助言などにより問題解決が図られた件数割合	110.3	市民部市民生活課
5	6	4	消費者啓発育成事業	13,928,000	11,944,970	85.8	消費生活モニター受講者数	62.0	消費生活モニターの地域への密着度	78.3	市民部市民生活課
5	6	6	衛生試験所建設事業	1,514,000,000	1,287,929,959	85.1	衛生試験所の全体工事進捗率	100.0	健康危機管理での検査機器整備率	246.9	健康福祉部健康安全科学センター
5	7	1	配水管更新整備事業	2,930,170,000	2,807,414,703	95.8	老朽管の更新延長	92.5	有効率	100.7	上下水道局水道施設課
5	7	1	配水本管整備事業	692,364,000	170,104,990	24.6	配水本管の布設延長	96.1	供給点	100.0	上下水道局水道施設課
5	7	1	鉛給水管取替事業	635,502,000	674,130,080	106.1	鉛給水管の取替件数	87.8	有効率	100.7	上下水道局水道施設課
5	7	1	浄水場整備事業	912,822,000	551,111,919	60.4	更新工事の実施件数	66.7	送水停止日数	-	上下水道局浄水課
5	7	1	配水施設電機計装設備更新事業	769,605,000	392,894,609	51.1	電機計装設備更新工事の実施件数	85.7	断水件数	-	上下水道局浄水課
5	7	2	管渠建設事業	1,920,300,000	1,441,142,469	75.0	汚水排水施設の整備面積	149.8	汚水処理人口普及率	100.1	上下水道局下水道整備課
5	7	2	合流式下水道改善事業	2,438,900,000	1,659,157,215	68.0	合流式下水道改善啓発用資料の作製数	100.0	合流式下水道改善率	-	上下水道局計画課・下水道整備課
							合流式下水道改善事業の工事着手箇所数	250.0			
5	7	2	ポンプ場建設事業	3,935,400,000	3,877,508,278	98.5	各ポンプ場の改築更新工事の件数	231.3	ポンプ場の機能停止件数	-	上下水道局下水道整備課
5	7	2	終末処理場建設事業	13,285,600,000	14,638,026,874	110.2	下町浄化センター施設の増設及び東地区の3浄化センター改築更新の執行业務進捗率	110.2	放流水の水質基準満足回数	100.0	上下水道局下水道整備課

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量 (アウトプット)		事業効果量 (アウトカム)		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
5	7	3	浦上台入口道路歩車道 整備事業	306,700,000	118,783,012	38.7	当該道路の事業費 ベース進捗率	0.0	自動車交通量	0.0	土木みどり 部道路建 設課
							当該道路の用地買収 面積	207.7			
							当該道路整備に伴う補 償軒数	200.0			
							当該道路整備に伴う委 託業務	150.0			
5	7	3	長井海の手公園歩車道 整備事業	45,900,000	172,588,284	376.0	歩車道整備の全体工 事進捗率	166.0	自動車交通量	333.0	土木みどり 部道路建 設課
5	7	3	北久里浜駅前通り歩車 道整備事業	6,000,000	3,566,850	59.4	当該道路整備に伴う委 託業務	100.0	歩道端部の段差解消	-	土木みどり 部道路建 設課
5	7	3	市民病院関連人道橋整 備事業	122,400,000	81,887,749	66.9	当該人道橋設置工事 の進捗率	100.0	第3駐車場からの平均 歩行距離の短縮	100.0	土木みどり 部道路建 設課
							当該人道橋整備に伴う 委託業務	100.0			
5	7	3	長井海の手公園関連道 路改良事業	2,185,937,000	1,741,531,647	79.7	当該道路の道路整備 延長	100.2	自動車交通量	-	土木みどり 部道路建 設課
							当該道路の用地買収 面積	327.5			
5	7	3	佐島の丘関連道路改良 事業	890,725,000	993,550,834	111.5	当該道路の道路整備 延長	0.0	自動車交通量	-	土木みどり 部道路建 設課
							当該道路の用地買収 面積	99.0			
5	7	3	長浦臨港線道路改良事 業	266,878,000	71,939,119	27.0	当該道路の道路整備 延長	20.0	自動車交通量	-	土木みどり 部道路建 設課
							当該道路の用地買収 面積	0.0			
							当該道路整備に伴う業 務委託	100.0			
5	7	3	津久井大畑線道路改良 事業	151,318,000	97,585,433	64.5	当該道路の道路整備 延長	38.1	自動車交通量	-	土木みどり 部道路建 設課
							当該道路の用地買収 面積	100.0			
5	7	3	坂本芦名線道路橋りよう 新設改良事業	85,000,000	130,576,123	153.6	当該道路整備に必要な 付帯工事	100.0	自動車交通量	54.3	土木みどり 部道路建 設課
							当該道路整備に必要な 業務委託	100.0			
5	7	3	安浦地区埋立事業関連 道路(第6号)道路改良 事業	88,500,000	72,434,401	81.8	当該道路の道路整備 延長	100.0	自動車交通量	-	土木みどり 部道路建 設課

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量 (アウトプット)		事業効果量 (アウトカム)		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
5	7	3	横須賀葉山線街路事業	683,539,000	612,009,423	89.5	当該道路の道路整備延長	100.0	自動車交通量	-	土木みどり部道路建設課
							当該道路の用地買収面積	158.8			
5	7	3	根岸東逸見線街路事業	463,418,000	735,558,645	158.7	当該道路の道路整備延長	60.0	自動車交通量	-	土木みどり部道路建設課
							当該道路の用地買収面積	192.0			
5	7	3	金谷駿河坂線街路事業	176,850,000	361,725,899	204.5	当該道路の道路整備延長	146.4	自動車交通量	182.1	土木みどり部道路建設課
							当該道路用地の買収面積	3011.6			
5	7	3	若松隧道線街路事業	106,956,000	88,556,848	82.8	当該道路の道路整備延長	34.7	自動車交通量	-	土木みどり部道路建設課
							当該道路の用地買収面積	65.0			
5	7	3	右折車両滞留ゾーン設置事業	50,000,000	43,870,314	87.7	整備箇所数	100.0	整備箇所の渋滞長	-	土木みどり部道路建設課
5	7	3	踏切改良事業	3,400,000	2,079,000	61.1	踏切の整備箇所数	-	踏切改良箇所の交通事故発生件数	-	土木みどり部道路建設課
							事業用地の買収面積	-			
							事業用地取得に伴う損出補償軒数	-			
							踏切整備に伴う委託業務	100.0			
5	7	3	セーフティーロード事業	428,100,000	500,169,276	116.8	道路照明灯の設置数	144.4	市内全域の交通事故発生件数	113.0	土木みどり部道路維持課
							道路反射鏡の設置数	166.7			
							防護柵の整備延長	86.4			
5	7	4	(仮称)秋谷1丁目第2公園整備事業	296,972,000	309,964,393	104.4	各年度の事業実施率	100.6	公園利用及び維持管理の住民(特にワークショップ参加者)意識向上割合(定性指標)	-	土木みどり部公園建設課
5	7	5	障害防止対策事業	72,455,000	60,555,639	83.6	宮前川排水路の整備延長	100.0	当該排水路の溢水回数	-	土木みどり部河川課

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量 (アウトプット)		事業効果量 (アウトカム)		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
5	8	1	(仮称)横須賀市土地利用調整条例策定事業	3,206,000	3,221,454	100.5	土地利用調整条例の制定数	100.0	「条例素案」に対するパブリック・コメント手続きに係る意見提出人数	133.0	都市部都市総務課
5	8	1	(仮称)斜面地マンション等基準条例策定事業	960,000	700,495	73.0	(仮称)斜面地マンション等基準条例の制定数	100.0	斜面地マンション建設に係る紛争発生数	-	都市部都市総務課
5	8	1	地区計画推進事業	23,049,000	7,588,481	32.9	地区計画の制度、計画素案等に係る説明会の開催回数	55.3	都市計画の都市計画決定件数	50.0	都市部都市計画課
5	8	1	鴨居住宅建替事業	2,381,250,000	1,602,889,181	67.3	建替工事の全体計画戸数に対する工期別完了戸数	100.0	当該住宅入居率	100.0	都市部住宅政策課
5	8	1	借上型市営住宅供給事業	78,274,000	68,646,362	87.7	建設補助に伴う建設戸数	104.7	当該住宅の入居率	66.7	都市部住宅政策課
5	8	1	高齢者向け優良賃貸住宅供給事業	142,065,000	53,798,348	37.9	建設費補助に伴う建設戸数	0.0	当該住宅の入居戸数	100.0	都市部住宅政策課
							入居者の家賃を減額した場合の家賃減額補助戸数 (ただし、入居者の所得が基準を超えている場合は補助しない。)	98.6			
							事業者に対する、公庫建設資金通常融資 利子補給月数	100.0			
5	8	1	住宅市街地基盤整備事業	183,946,000	220,796,929	120.0	電線類の地下埋設により無電柱化された幹線及び準幹線道路等の道路延長	108.1	整備された住宅への入居率	100.0	都市部都市計画課
							神奈川県とのヒアリング回数	100.0			
5	9	1	廃棄物広域処理検討事業	8,800,000	24,482,440	278.2	横須賀三浦ブロック構成自治体における事業の進捗率	-	広域化による廃棄物処理施設整備のイニシャルコスト削減効果割合	-	環境部環境施設課
5	9	1	集団資源回収推進事業	1,376,046,000	1,326,601,274	96.4	資源回収量	96.7	一般廃棄物 (ごみ) 処理実績量	101.9	環境部資源循環推進課
5	9	1	リサイクルプラザトライR事業	35,869,000	26,751,371	74.6	アィクルフェアの総参加者数	93.6	資源化率の向上	94.8	環境部リサイクルプラザ
							再生家具の提供個数	94.2			
							リサイクル体験教室の受講者数	98.8			
5	9	1	生ごみ減量化推進事業	53,826,000	34,665,869	64.4	生ごみ減量化処理機器の補助基数	69.8	減量化された生ごみの量	83.8	環境部資源循環推進課
5	9	1	燃せるごみ資源化事業	711,000	10,357,253	1456.7	全体スケジュールに沿った事業の進捗状況	100.0	生ごみバイオガス化の実用化の見極め	100.0	環境部環境施設課

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量 (アウトプット)		事業効果量 (アウトカム)		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
5	10	1	天然ガス自動車購入事業	150,673,000	158,712,844	105.3	ごみ収集車両における天然ガス自動車導入台数	100.0	ごみ収集車全体の走行距離に占める天然ガスごみ収集車の走行距離の割合	105.7	環境部環境総務課
5	10	1	住宅用太陽光発電システム設置費補助事業	18,150,000	21,957,611	121.0	住宅用太陽光発電システム設置費補助件数	100.9	補助対象システムの合計発電容量	97.4	環境部環境計画課
6	1	1	市政情報提供事業	24,772,000	21,958,717	88.6	情報公開条例第11条第1項に基づき、15日以内に諾否決定をした割合 (同条第4項、第5項により期間延長した場合を除く。)	100.0	不服申立ての件数	-	総務部行政管理課
6	1	1	広報紙情報携帯電話配信事業	3,213,000	3,490,200	108.6	携帯端末サイトへの記事の配信件数	142.1	携帯端末からのアクセス件数	132.3	総務部広報課
6	3	1	市民協働型まちづくり推進事業	35,028,000	26,268,343	75.0	市民協働啓発事業実施回数	100.0	市民のまちづくり意欲の醸成(定性指標)	-	市民部市民生活課
6	3	1	市民活動サポートセンター運営事業	121,872,000	117,528,050	96.4	市民活動サポートセンター利用者数	104.1	市民のまちづくり意欲の醸成(定性指標)	-	市民部市民生活課
6	3	1	歴史と文化の天津散策ルート事業	2,389,000	2,276,130	95.3	京急大津駅前案内板の設置数	100.0	大津地域内観光行事来客数	209.7	市民部大津行政センター
							史跡説明板の設置数	100.0			
7	1	2	政策研究事業	61,312,000	55,993,607	91.3	研究テーマ数	160.0	都市政策研究所が政策提言した数	126.7	企画調整部企画調整課
							政策研究誌の配布数	72.8			
							大学、大学院への職員派遣者数 (科目等履修生を含む)	91.7			
							職員政策提案・政策研究論文応募数	87.3			
							学会・研究会等での発表回数	346.7			
7	1	3	人事制度改革推進事業	19,734,000	40,199,928	203.7	人事関連諸制度 (小項目) の制定及び改廃件数	112.5	職員の意識、業務遂行意欲の伸長度合 (定性指標)	-	総務部行政管理課
7	2	1	行政経営推進事業	116,564,000	100,342,338	86.1	「行政改革推進のための実施計画」実績報告書公表回数	100.0	顧客満足度の総合評価値	96.0	企画調整部企画調整課・総務部行政管理課
							行政評価結果の公表回数	100.0			
							行政経営方針の策定	100.0			

大 柱	中 柱	小 柱	事業名	計画執行率			事業結果量 (アウトプット)		事業効果量 (アウトカム)		担当部課
				計画額	決算額	計画 執行率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	指標名	目標 達成率 (%)	
7	2	2	統合GIS整備事業	156,396,000	161,387,457	103.2	情報公開型GISで追加 公開するデータ数	122.2	情報公開型GISへのア クセス数 (地図生成数)	129.5	企画調整 部情報政 策課
							情報公開型GISで公開 しているデータの更新 回数	100.0			
7	2	2	下水道情報システム事 業	135,000,000	139,912,500	103.6	システム構築進捗率	100.0	データ利用件数	-	上下水道 局総務課
							経年変化分データ整備 進捗率	100.0			
7	2	2	戸籍情報システム事業	636,644,000	609,593,484	95.8	除籍、改製原戸籍、現 在戸籍・附票、平成改 製原戸籍・附票、平成 10年度以降除籍の電 子情報化数	100.0	戸籍届出から謄・抄本 発行までの待ち日数	100.0	市民部窓 口サービス 課

横須賀市民憲章

私たちの横須賀は、海と緑に恵まれた自然と世界に開かれた交流の歴史のもとで、魅力ある都市をめざし、常に新しいまちづくりに挑戦する気概を身につけてきました。

21 世紀を迎え、私たちは中核市としての新たな出発を機に新しい時代の先駆けとしての意欲を持ち、市民、企業、行政が共に手を携え、郷土の歴史と文化を尊重し、さらに魅力あるまちづくりをすすめるためにこの憲章を定めます。

- 1 すべての国々や人々との交流を深め、国際社会に貢献します。
- 2 海と緑の豊かな自然を守り、うるおいと活気のあるまちをつくれます。
- 3 子どもが健やかに育ち、だれもが生きがいを持てるまちをめざします。
- 4 お互いに助け合い、すべての人々が安心して生活できる地域社会を築きます。
- 5 災害に強い、安全で暮らしやすいまちを実現します。

(平成 13 年 12 月 18 日議決)

横須賀が好ま!



2007 市制100周年

横須賀市都市政策研究所

横須賀市小川町 11 番地 (〒238－8550)

TEL：046-822-8258 FAX：046-822-9285

E-mail：upi-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

URL：http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/upi